

☆ 実地指導の際は両面コピーにより提出してください

実地指導日	※市で記入
	令和 年 月 日 ( ) 午前・午後

令和5年度（2023年度）版  
指定障害福祉サービス事業者 自主点検表  
【日中活動系／訓練・就労系】

サービス種別  ※該当に○を入れて ください	該当	種 別	指定年月日
		生活介護	年 月 日
		自立訓練（生活訓練）	年 月 日
		就労移行支援	年 月 日
		就労継続支援A型	年 月 日
		就労継続支援B型	年 月 日
		就労定着支援	年 月 日

事業所	事業所番号											
	名 称											
	所 在 地	〒										
	連 絡 先	(電 話)	(FAX)									
		(メール)										
	管 理 者											
サービス 管理責任者												
事業者 (法人)	名 称											
	代 表 者 職名・氏名											
	所 在 地	※上記事業所と異なる場合に記入 〒										
記入(担当)者 職名・氏名												
記入者連絡先	※上記事業所と異なる場合に記入					記入年月日		令和 年 月 日				

問い合わせ	大津市福祉部 福祉指導監査課 【電 話】077-528-2912 【FAX】077-523-1330 【メール】otsu1439@city.otsu.lg.jp
-------	--

【点検表の見方】

- 各項目は、原則として条例・省令・報酬告示の条文に沿った形式で作成しています。
- 各項目に事業種別を略称で記載してありますので、該当する項目について記入してください。
- 根拠法令については、条例、省令では前の方に規定されている条文が準用されています。それらは、引用されている該当条文のみ記載しています。

《事業種別の略称》

生介 … 生活介護     
 自立 … 自立訓練（生活訓練）     
 就移 … 就労移行支援  
就A … 就労継続支援A型     
 就B … 就労継続支援B型     
 就定 … 就労定着支援  
共通 … 全種共通

《根拠法令の略称》

略 称	名 称
法	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）（障害者総合支援法）
条例	大津市障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成 25 年大津市条例第 7 号）
省令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準（平 18 年厚生労働省令第 171 号）
解釈通知	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準について（平成 18 年 12 月 6 日・障発第 1206001 号厚生労働省社会・援護局障害福祉部長通知）
報酬告示	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成 18 年厚生労働省告示第 523 号）
留意事項通知	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準に伴う実施上の留意事項について（平成 18 年 10 月 31 日 障発第 1031001 号）



◆ 基本方針

項目	点検のポイント	点検	根拠
2 基本方針	(1) <u>生活介護の基本方針</u> 生活介護に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 80 条 省令第 77 条
	(2) <u>自立訓練（生活訓練）の基本方針</u> 自立訓練（生活訓練）に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、2年間（長期入院等のあった者は3年間）にわたり生活能力の維持、向上等のために必要な支援、訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 153 条 省令第 165 条
	(3) <u>就労移行支援の基本方針</u> 就労移行支援に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、2年間（専らあん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゅう師の資格取得は3年又は5年）にわたり、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 163 条 省令第 174 条
	(4) <u>就労継続支援A型の基本方針</u> 就労継続支援A型に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、雇用して就労の機会を提供するとともに、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 174 条 省令第 185 条
	(5) <u>就労継続支援B型の基本方針</u> 就労継続支援B型に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 187 条 省令第 198 条
	(6) <u>就労定着支援の基本方針</u> 就労定着支援に係るサービスは、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、生活介護、自立訓練、就労移行支援及び就労継続支援を受けて通常の事業所に新たに雇用された障害者に対して、3年間にわたり、当該通常の事業所での就労の継続を図るために必要な当該通常の事業主、障害福祉サービス事業者等、医療機関その他の者との連絡調整その他の支援を適切かつ効果的に行うものとなっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 195 条の 2 省令第 206 条の 2



◆ 基本方針

項目	点検のポイント													
4 従業者の 状況	サービス種別ごとに、記入月における <u>初日時点</u> の従業者の実人数を記入してください。													
	勤務	管理者		サービス 管理責任者		医師		〔令和 年 月 日時点〕						
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務							
	常勤													
	非常勤													
サービス 種別	勤務	看護職員	理学療法士 作業療法士	生活支援員	地域移行 支援員	職業指導員	就労(定着) 支援員	賃金向上 達成指導員	目標工賃 達成指導員	その他の 従業者				
		専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	専従	兼務	
①	常勤													
	非常勤													
②	常勤													
	非常勤													
③	常勤													
	非常勤													
④	常勤													
	非常勤													
<p>&lt;用語の説明&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常勤 : 労働契約において、事業者等が(就業規則等で)定める常勤従業者の勤務時間と同じ勤務時間の者。職名等(正社員、アルバイト等)を問わない。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 職員が育児・介護休業法による育児の短時間勤務制度を利用する場合に加えて、介護の短時間勤務制度等を利用する場合にも、週30時間以上の勤務で「常勤」として扱うことを認める。</li> <li>② 人員基準や報酬算定において「常勤」での配置が求められる職員が、産前産後休業や育児・介護休業等を取得した場合に、同等の資質を有する複数の非常勤職員を常勤換算することで、人員基準を満たすことを認める。</li> <li>③ ②の場合において、常勤職員の割合を要件とする福祉専門職員配置等加算等の加算について、産前産後休業や育児・介護休業等を取得した当該職員についても常勤職員の割合に含めることを認める。</li> </ol> </li> <li>・非常勤 : 常勤の者の勤務時間に満たない者</li> <li>・専従 : 当該事業所のみ勤務する職員</li> <li>・兼務 : 専従でない職員(例:管理者とサービス管理責任者の兼務、同じ法人の他事業所の従業者との兼務)</li> <li>・常勤換算方法: 「1週間の延べ勤務時間数」÷「常勤の1週間の勤務すべき時間数」 (小数点第2位以下切り捨て)</li> </ul> <p>※ 職員が育児・介護休業法による短時間勤務制度等を利用する場合、週30時間以上の勤務で常勤換算での計算上も1(常勤)と扱うことを認める。</p>														
<p>&lt;省令第215条(解釈通知第十六の1)&gt;</p> <p>多機能型に関する特例</p> <p>○従業者の員数等に関する特例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一体的に事業を行う多機能型事業所の利用定員数の合計が20人未満である場合は、各サービス事業所ごとに置くべき常勤の従業者の員数にかかわらず、多機能型事業所に置くべき従業者(医師及びサービス管理責任者を除く。)のうち、1人以上の者を常勤としなければならない。</li> <li>② サービス管理責任者の員数は、一体的に行う多機能型事業所を一の事業所とみなす。</li> <li>③ 各サービスに配置する従業者は、管理者及びサービス管理責任者を除いて、各サービス間での兼務は認められない。</li> <li>④ 利用定員の合計数が20人未満の多機能型事業所は、サービス管理責任者その他の従業者との兼務が可能である。</li> </ol> <p>○多機能型事業所として指定を受けることができるサービス&gt;</p> <p>生活介護、自立訓練(機能訓練)(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援A型・B型 児童発達支援、医療型児童発達支援、放課後等デイサービス</p>														

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠								
5 生活介護 における 従業者の 員数  生介	<p>(1) 必要人員数の確保  <u>生活介護事業所に置くべき従業者は、次のとおりとする。</u></p> <p>一 医師            二 看護職員（保健師又は看護師若しくは准看護師）、理学療法士、作業療法士及び生活支援員            三 サービス管理責任者</p> <p>一 医師の員数            医師は、利用者に対して日常生活上の健康管理及び療養上の指導を行うために必要な数を配置していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(1)&gt;              ○ 「必要数を配置」とは、嘱託医を確保することで、これを満たすものとして取り扱うことも差し支えない。              ○ 看護師等による利用者の健康状況の把握等が実施され、必要に応じて医療機関への通院等により対応することが可能な場合に限り、医師を配置しない取扱いとすることができる。</p> </div> <p>二 看護職員等の員数            看護職員、理学療法士又は作業療法士及び生活支援員の総数は、サービスの単位ごとに、常勤換算方法で、(1)から(3)までに掲げる平均障害支援区分に応じ、それぞれ(1)から(3)までに掲げる数となっていますか。</p> <p>(1) 平均障害支援区分が4未満 利用者数を6で除した数以上            (2) 平均障害支援区分が4以上5未満 利用者数を5で除した数以上            (3) 平均障害支援区分が5以上 利用者数を3で除した数以上</p> <table border="1" data-bbox="379 1265 1161 1391"> <thead> <tr> <th>利用者数(a)</th> <th>平均障害支援区分</th> <th>除する数(b) (6 or 5 or 3)</th> <th>必要人員 (a/b)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定を受ける場合は、推定数による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(2)&gt;              ○ これらの従業者については、サービスの単位ごとに、前年度の利用者の数の平均値及び障害支援区分に基づき、次の算式により算定される平均障害支援区分に応じ、常勤換算方法により必要数を配置する。</p> <p><b>算式</b> { (2×区分2の利用者数) + (3×区分3の利用者数) + (4×区分4の利用者数) + (5×区分5の利用者数) + (6×区分6の利用者数) } ÷ 総利用者数</p> <p>○ 平均障害支援区分の算出に当たっては、端数が生じる場合には、小数点第2位以下を四捨五入する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☞ 手厚い人員配置体制をとる事業所については、市に届け出ることにより、加配の内容に応じた加算の算定が可能              → 「86 人員配置体制加算」参照</p> </div>	利用者数(a)	平均障害支援区分	除する数(b) (6 or 5 or 3)	必要人員 (a/b)					<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第81条第1項、第2項            省令第78条第1項、第2項</p> <p><b>【医師配置の目安】</b>            医師が健康管理や相談等のために、生活介護事業所に原則毎月1回以上の勤務を行っていること。            ※従業者の勤務の体制一覧表には必ず配置医の勤務予定を記載すること。</p> <p>☞ 以下の場合には未配置とし、「医師未配置減算」を適用する必要があります。            ・医師が年に数回、健康診断や予防接種のためだけに来所し、診察等をする場合            ・嘱託医契約はあるものの、勤務実態がほとんどない場合(実質的な協力医療機関になっている場合)</p> <p>※ 利用者数の算定方法            ◆前年度を通常で事業実施            →前年度の利用者延べ数( )/前年度の開所日数( )            (小数点第2位以下切り上げ。以下同じ。)            ◆新設、再開、増床等で、前年度の実績が1年未満で、  <input type="checkbox"/> 新設等の時点から6未満の間            →利用定員の90%( )  <input type="checkbox"/> 新設等の時点から6月以上1年未満の間            →直近の6月間における全利用者数の延べ数( )/6月間の開所日数( )  <input type="checkbox"/> 新設等の時点から1年以上経過している場合            →直近の1年間における全利用者数の延べ数( )/当該1年間の開所日数( )  <input type="checkbox"/> 定員を減床した場合(減床後の実績が3月以上)            →減床後の利用者数の延べ数( )/当該3月間の開所日数( )  <input type="checkbox"/> その他の場合            上記により難しい合理的な理由がある場合は、他の適切な方法により利用者数を推定するものとする。( )</p>
利用者数(a)	平均障害支援区分	除する数(b) (6 or 5 or 3)	必要人員 (a/b)								

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
5 生活介護 における 従業者の 員数 (続き) 生介	<p>ア 看護職員及び生活支援員の配置            看護職員及び生活支援員は、サービスの単位ごとに、それぞれ1以上配置していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(2)&gt;            ○ 看護職員及び生活支援員については、それぞれについて、最低1人以上配置するとともに、必要とされる看護職員及び生活支援員のうち、1人以上は常勤でなければならない。</p> </div> <p>イ 理学療法士等の配置            理学療法士又は作業療法士の数は、利用者に対して日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う場合は、当該訓練を行うための必要な数となっていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	<p>(2) サービスの単位            生活介護のサービスの単位は、その提供が同時に1又は複数の利用者に対して一体的に行っていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(5) ※第四の1(5)を準用&gt;            ○ サービスの単位とは、1日を通じて、同時に、一体的に提供されるものであり、次の要件を満たす場合に限り、複数のサービスの単位を設置することができる。            ア 階を隔てるなど、同時に、2つの場所で行われ、これらのサービスの提供が一体的に行われているとはいえないこと。            イ 単位ごとの利用定員が20人以上であること。            ウ 単位ごとに必要な従業者が確保されていること。            ○ 生活介護事業所において、複数の単位を設置する場合は、それぞれの単位ごとに平均障害支援区分を算定し、これに応じた従業者をそれぞれ必要数を配置する必要があること。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第3項 省令第78条第3項
	<p>(3) 機能訓練指導員            理学療法士又は作業療法士を確保することが困難な場合は、これらの者に代えて、日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練を行う能力を有する看護師その他の者を機能訓練指導員として置いていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(3)&gt;            ○ 看護師のほか、柔道整体師、あん摩マッサージ指圧師、言語聴覚士の日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するために必要な訓練を行う能力を有する者をもって代えることができる。            ○ 利用者の日常生活やレクリエーション、行事を通じて行う機能訓練は、生活支援員が兼務して差し支えない。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第4項 省令第78条第4項
	<p>(4) 従業者の専従            従業者は、<u>専ら</u>当該事業所の職務に従事する者又はサービスの単位ごとに専ら当該サービスの提供に当たる者となっていますか。            ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第5項 省令第78条第5項
	<p>(5) 常勤の生活支援員            生活支援員のうち、1人以上は、常勤となっていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第6項 省令第78条第6項

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
6 自立訓練 (生活訓練) における 従業者の 員数  自立	(1) 必要人員数の確保 自立訓練(生活訓練)事業所に置くべき従業者は、次のとおりとする。 一 生活支援員                      三 サービス管理責任者 二 地域移行支援員		条例第154条第1項 省令第166条第1項、第4項
	一 生活支援員の員数 生活支援員は、事業所ごとに、常勤換算方法で、イに掲げる利用者の数を6で除した数とロに掲げる利用者の数を10で除した数の合計以上となっていますか。 イ ロに掲げる利用者以外の利用者(宿泊型以外) ロ 宿泊型自立訓練の利用者 利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定を受ける場合は、推定数による。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	※ 利用者数の算定方法 ◆前年度を通年で事業実施 →前年度の利用者延べ数( ) / 前年度の開所日数( ) (小数点第2位以下切り上げ。以下同じ。) ◆新設、再開、増床等で、前年度の実績が1年未満で、 <input type="checkbox"/> 新設等の時点から6月未満の間 →利用定員の90%( ) <input type="checkbox"/> 新設等の時点から6月以上1年未満の間 →直近の6月間における全利用者数の延べ数( ) / 6月間の開所日数( ) <input type="checkbox"/> 新設等の時点から1年以上経過している場合 →直近の1年間における全利用者数の延べ数( ) / 当該1年間の開所日数( ) <input type="checkbox"/> 定員を減床した場合(減床後の実績が3月以上) →減床後の利用者数の延べ数( ) / 当該3月間の開所日数( ) <input type="checkbox"/> その他の場合 上記により難しい合理的な理由がある場合は、他の適切な方法により利用者数を推定するものとする。( )
	二 地域移行支援員の員数 宿泊型自立訓練を行う場合、地域移行支援員は、事業所ごとに、1以上となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	<解釈通知 第九の1(1)> <input type="checkbox"/> 生活支援員について、最低1人以上配置することが必要である。		
	<解釈通知 第九の1(1)②> <input type="checkbox"/> 地域移行支援員は、地域生活へ移行後の住まいに関する情報提供、及び地域生活へ移行した利用者の定期的な相談支援等を行う。		
(2) 看護職員を配置する場合 健康上の管理などの必要がある利用者があるために看護職員を置いている事業所については、生活支援員及び看護職員の数が、事業所ごとにそれぞれ1以上となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	条例第154条第2項 省令第166条第2項	
(3) 訪問による自立訓練 事業所におけるサービス提供に併せて、利用者の居室を訪問することによりサービスを提供する場合は、上記(1)(2)に規定する員数の従業者に加えて、当該訪問によるサービスを提供する生活支援員を1人以上置いていますか。 ☞ 常勤換算方法で1以上を求めているものではありません。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	条例第154条第3項 省令第166条第3項	
(4) 従業者の専従 従業者は、専ら当該事業所の職務に従事する者となっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第154条第5項 省令第166条第5項	
(5) 常勤の生活支援員 生活支援員のうち、1人以上は、常勤となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第154条第6項 省令第166条第6項	

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
7 就労移行支援における 従業者の 員数  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span>	(1) 必要人員数の確保 就労移行支援事業所に置くべき従業者は、次のとおりとする。 一 職業指導員及び生活支援員 二 就労支援員 三 サービス管理責任者		条例第 164 条第 1 項、 第 2 項 省令第 175 条第 1 項、 第 2 項
	一 職業指導員及び生活支援員の員数 職業指導員及び生活支援員の総数は、事業所ごとに、常勤換 算方法で、利用者の数を 6 で除した数以上となっていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     &lt;解釈通知 第十の 1 (1)&gt;                      ○ 職業指導員及び生活支援員については、その員数の総 数が、常勤換算方法により、所定の数以上でなければなら ないものであり、この場合、職業指導員及び生活支援 員のそれぞれについて、最低 1 人以上配置することが必 要である。                 </div> 利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定 を受ける場合は、推定数による。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	※ 利用者数の算定方法 ◆前年度を過年で事業実施 →前年度の利用者延べ数 ( ) / 前年度の開所日 数( ) (小数点第 2 位以下切り 上げ。以下同じ。) ◆新設、再開、増床等で、前年 度の実績が 1 年未満で、 <input type="checkbox"/> 新設等の時点から 6 月未 満の間 →利用定員の 90%( ) <input type="checkbox"/> 新設等の時点から 6 月以 上 1 年未満の間 →直近の 6 月間における全 利用者数の延べ数( ) / 6 月間の開所日数( ) <input type="checkbox"/> 新設等の時点から 1 年以 上経過している場合 →直近の 1 年間における全 利用者数の延べ数( ) / 当該 1 年間の開所日数 ( ) <input type="checkbox"/> 定員を減床した場合 (減床 後の実績が 3 月以上) →減床後の利用者数の延 べ数( ) / 当該 3 月間 の開所日数( ) <input type="checkbox"/> その他の場合 上記により難しい合理的な 理由がある場合は、他の 適切な方法により利用者 数を推定するものとし る。( )
	ア 職業指導員の配置 職業指導員の数は、事業所ごとに 1 以上となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	イ 生活支援員の配置 生活支援員の数は、事業所ごとに 1 以上となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
二 就労支援員の確保 就労支援員は、事業所ごとに、常勤換算方法で、利用者の数 を 15 で除した数以上となっていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     &lt;解釈通知 第十の 1 (2)&gt;                      ○ 就労支援員は、職場実習のあっせん、求職活動の支援 及び就職後の職場定着のための支援等、障害者に関する 就労支援の経験を有した者が行うことが望ましい。                 </div> 利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定 を受ける場合は、推定数による。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない		
(2) 従業者の専従 従業者は、専ら当該事業所の職務に従事する者となっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 164 条第 3 項、 省令第 175 条第 3 項	
(3) 常勤の職業指導員又は生活支援員 職業指導員又は生活支援員のうち、いずれか 1 人以上は、常勤 となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 164 条第 4 項 省令第 175 条第 4 項	

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>7 就労移行支援における 従業者の 員数 (続き)  [就移]</p>	<p>(4) 認定指定就労移行支援事業所の従業者の員数 上記(1)から(4)までの規定にかかわらず、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゅう師の学校又は養成施設として認定されている就労移行支援事業所(認定就労移行支援事業所)に置くべき従業者及びその員数は、次のとおりとなっていますか。</p> <p>一 職業指導員及び生活支援員 イ 職業指導員及び生活支援員の総数は、事業所ごとに、常勤換算方法で、利用者の数を10で除した数以上 ロ 職業指導員の数は、事業所ごとに、1以上 ハ 生活支援員の数は、事業所ごとに、1以上 二 サービス管理責任者</p> <p>※ 利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定を受ける場合は、推定数による。</p> <p>※ 従業者は、専ら当該事業所の職務に従事する者でなければならない。(利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。)</p> <p>※ 職業指導員又は生活支援員のうち、いずれか1人以上は、常勤でなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第十の1(4)&gt; ○ 職業指導員及び生活支援員については、職業指導員及び生活支援員のそれぞれについて、最低1人以上配置することが必要である。 ○ なお、従業者は、あん摩マッサージ指圧師、はり師及びきゅう師の学校又は養成施設の教員との兼務が可能であること。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第165条 省令第176条</p>
<p>8 就労継続支援における 従業者の 員数  [就A]  [就B]</p>	<p>(1) 必要人員数の確保 就労継続支援事業所に置くべき従業者は、次のとおりとする。</p> <p>一 職業指導員及び生活支援員 二 サービス管理責任者</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>一 職業指導員及び生活支援員の員数 職業指導員及び生活支援員の総数は、事業所ごとに、常勤換算方法で、利用者の数を10で除した数以上となっていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①&gt; ○ サービス費(I)を算定する場合には、利用者の数を7.5で除した数以上</p> </div> <p>利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定を受ける場合は、推定数による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第十一の1(1)&gt; ○ 職業指導員及び生活支援員については、それぞれについて、最低1人以上配置することが必要である。</p> </div> <p>ア 職業指導員の配置 職業指導員の数は、事業所ごとに1以上となっていますか。</p> <p>イ 生活支援員の配置 生活支援員の数は、事業所ごとに1以上となっていますか。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第175条第1項 第2項、第188条 省令第186条第1項、 第2項、第199条</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※ 利用者数の算定方法</p> <p>◆前年度を通常で事業実施 →前年度の利用者延べ数( )/ 前年度の開所日数( ) (小数点第2位以下切り上げ。以下同じ。)</p> <p>◆新設、再開、増床等で、前年度の実績が1年未満で、</p> <p><input type="checkbox"/> 新設等の時点から6月未満の間 →利用定員の90%( )</p> <p><input type="checkbox"/> 新設等の時点から6月以上1年未満の間 →直近の6月間における全利用者数の延べ数( )/6月間の開所日数( )</p> <p><input type="checkbox"/> 新設等の時点から1年以上経過している場合 →直近の1年間における全利用者数の延べ数( )/当該1年間の開所日数( )</p> <p><input type="checkbox"/> 定員を減床した場合(減床後の実績が3月以上) →減床後の利用者数の延べ数( )/当該3月間の開所日数( )</p> <p><input type="checkbox"/> その他の場合 上記により難しい合理的な理由がある場合は、他の適切な方法により利用者数を推定するものとする。( )</p> </div>

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
8 就労継続支援における 従業者の 員数(続き)  就A 就B	(2) 従業者の専従 従業者は、専ら当該事業所の職務に従事する者となっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第175条第3項、 第188条 省令第186条第3項、 第199条
	(3) 常勤の職業指導員又は生活支援員 職業指導員又は生活支援員のうち、いずれか1人以上は、常勤 となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第175条第4項、 第188条 省令第186条第4項、 第199条
9 就労定着支援における 従業者の 員数  就定	(1) 必要人員数の確保 就労定着支援事業所に置くべき従業者は、次のとおりとする。 一 就労定着支援員 二 サービス管理責任者  一 就労定着支援員の確保 就労定着支援員は、事業所ごとに、常勤換算方法で、利用者 の数を40で除した数以上となっていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第十三の1(1)&gt;</p> <p>○ 一体的に運営する生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援A型・B型の事業所に配置される常勤の職業指導員、生活支援員又は就労移行支援員等の直接処遇職員は、利用者に対するサービス提供に支障がない場合は、就労定着支援員に従事することができる。</p> <p>○ この場合には、兼務を行う就労定着支援員に係る常勤換算上の勤務時間に参入することはできないが、対面等による支援を行った上で、当該支援に係る内容を記載した報告書の提出を利用者等に対して行った場合は基本報酬を算定できる要件を満たすものとする。</p> <p>○ 就労定着支援員について、資格要件はないが、職場実習のあっせん、求職活動の支援、就職後の職場定着のための支援等、障害者に関する就労支援の経験を有した者が行うことが望ましい。</p> </div> <p>利用者の数は、前年度の平均値とする。ただし、新規に指定を受ける場合は、推定数による。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第195条の3第1項、第2項、第3項 省令第206条の3第1項、第2項、第3項
	(2) 従業者の専従 就労定着支援員は、専ら当該事業所の職務に従事する者となっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第195条の3第4項 省令第206条の3第4項

※ 利用者数の算定方法

◆前年度を過年で事業実施  
→前年度の利用者延べ月数( )/前年度の開所月数( )  
(小数点第2位以下切り上げ。以下同じ。)

◆新設、再開し、前年度の実績が1年未満で、

新設等の時点から6月未満の間  
→一体的に運営する就労移行支援等を受けた後に一般就労(就労継続支援A型事業所への移行は除く)し就労を継続している期間が6月に達した者の数の過去三年間の総数の70%( )

新設等の時点から6月以上1年未満の間  
→直近の6月間における全利用者数の延べ月数( )/6

新設等の時点から1年以上経過している場合  
→直近の1年間における全利用者数の延べ月数( )/12

その他の場合  
上記により難しい合理的な理由がある場合は、他の適切な方法により利用者数を推定するものとする。( )

◆ 人員に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠																																																																						
10 サービス 管理責任者  <input checked="" type="checkbox"/> 共通	<p>現在配置しているサービス管理責任者について、市（障害福祉課）に届け出ている内容を記入してください。</p> <table border="1" data-bbox="343 342 1390 999"> <tr> <td rowspan="2">氏名</td> <td colspan="2">( 常勤 ・ 非常勤 )</td> <td>就任日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>届出日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実務 経験</td> <td>業務期間</td> <td colspan="2">通算： 年 月間</td> </tr> <tr> <td>従事日数</td> <td colspan="2">通算： 日</td> </tr> <tr> <td>業務内容</td> <td colspan="2">職名 ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">研修 受講 状況</td> <td colspan="2">○旧サービス管理責任者研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者基礎研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者実践研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者更新研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○相談支援従事者初任者研修（講義部分）</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="3">※研修未受講者である場合 ・ 配置された事由 ( ) ・ 猶予措置終了日： 年 月 日</td> <td></td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="343 1037 1390 1545"> <tr> <td rowspan="2">氏名</td> <td colspan="2">( 常勤 ・ 非常勤 )</td> <td>就任日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>届出日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実務 経験</td> <td>業務期間</td> <td colspan="2">通算： 年 月間</td> </tr> <tr> <td>従事日数</td> <td colspan="2">通算： 日</td> </tr> <tr> <td>業務内容</td> <td colspan="2">職名 ( )</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">研修 受講 状況</td> <td colspan="2">○旧サービス管理責任者研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者基礎研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者実践研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○サービス管理責任者更新研修</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> <tr> <td colspan="2">○相談支援従事者初任者研修（講義部分）</td> <td>修了日： 年 月 日</td> </tr> </table> <p>※ 平成30年度までに受講した従前の「サービス管理責任者研修」は、「旧サービス管理責任者研修」として修了日を記入してください。</p>	氏名	( 常勤 ・ 非常勤 )		就任日： 年 月 日			届出日： 年 月 日	実務 経験	業務期間	通算： 年 月間		従事日数	通算： 日		業務内容	職名 ( )		研修 受講 状況	○旧サービス管理責任者研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者基礎研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者実践研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者更新研修		修了日： 年 月 日	○相談支援従事者初任者研修（講義部分）		修了日： 年 月 日	※研修未受講者である場合 ・ 配置された事由 ( ) ・ 猶予措置終了日： 年 月 日				氏名	( 常勤 ・ 非常勤 )		就任日： 年 月 日			届出日： 年 月 日	実務 経験	業務期間	通算： 年 月間		従事日数	通算： 日		業務内容	職名 ( )		研修 受講 状況	○旧サービス管理責任者研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者基礎研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者実践研修		修了日： 年 月 日	○サービス管理責任者更新研修		修了日： 年 月 日	○相談支援従事者初任者研修（講義部分）		修了日： 年 月 日		
氏名	( 常勤 ・ 非常勤 )		就任日： 年 月 日																																																																						
			届出日： 年 月 日																																																																						
実務 経験	業務期間	通算： 年 月間																																																																							
	従事日数	通算： 日																																																																							
	業務内容	職名 ( )																																																																							
研修 受講 状況	○旧サービス管理責任者研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者基礎研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者実践研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者更新研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○相談支援従事者初任者研修（講義部分）		修了日： 年 月 日																																																																						
	※研修未受講者である場合 ・ 配置された事由 ( ) ・ 猶予措置終了日： 年 月 日																																																																								
氏名	( 常勤 ・ 非常勤 )		就任日： 年 月 日																																																																						
			届出日： 年 月 日																																																																						
実務 経験	業務期間	通算： 年 月間																																																																							
	従事日数	通算： 日																																																																							
	業務内容	職名 ( )																																																																							
研修 受講 状況	○旧サービス管理責任者研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者基礎研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者実践研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○サービス管理責任者更新研修		修了日： 年 月 日																																																																						
	○相談支援従事者初任者研修（講義部分）		修了日： 年 月 日																																																																						
	<p>(1) サービス管理責任者の配置 サービス管理責任者を、イ又はロに掲げる利用者の数の区分に応じ、それぞれイ又はロに掲げる数以上置いていますか。</p> <p>イ 利用者の数が60以下 1以上 ロ 利用者の数が61以上 1に、利用者の数が60を超えて40又はその端数を増すごとに1を加えて得た数以上</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第1項、第154条第1項、第164条第1項、第165条第1項、第175条第1項、第188条、第195条の3第2項、省令第78条第1項、第166条第1項、第175条第1項、第176条、第186条第1項、第199条、第206条の3第2項																																																																						

◆ 人員に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
10 サービス 管理責任者 (続き)  共通	(2) サービス管理責任者の専従・常勤 サービス管理責任者は、 <u>専ら</u> 当該事業所の職務に従事する者 となっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の1(4)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業者は原則専従でなければならず、職種間の兼務は認められるものではない。</li> <li>○ サービス管理責任者についても、個別支援計画の作成及び提供したサービスの客観的な評価等の重要な役割を担保する観点から、原則として、直接サービスの提供を行う生活支援員等とは異なる者でなければならない。</li> <li>○ ただし、利用者に対するサービス提供に支障がない場合は、事業所以外の職務に従事することができる。 (この場合、兼務を行う他の職種に係る常勤換算に、当該サビ管の勤務時間を参入することは不可。)</li> <li>○ 個別支援計画作成業務の範囲内で、宿泊型自立訓練、自立生活援助若しくは共同生活援助に置くべきサビ管、又は大規模事業所における専従常勤のサビ管1人に加えて配置すべきサビ管との兼務は差し支えない。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第5項、 第154条第5項、第164条第3項、第165条第2項、第175条第3項、第188条、第195条の3第4項 省令第78条第5項、第166条第5項、第175条第3項、第176条第2項、第186条第3項、第199条、第206条の3第4項
	(3) 常勤のサービス管理責任者 サービス管理責任者のうち、1人以上は、常勤となっていますか。 ※ <u>宿泊型自立訓練</u> を行う事業所であって、利用者の支援に支障がない場合は、この限りではない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第81条第7項、第154条第7項、第164条第5項、第165条第2項、第175条第5項、第188条、第195条の3第5項 省令第78条第7項、第166条第7項、第175条第5項、第176条第2項、第186条第5項、第199条、第206条の3第5項
	(4) サービス管理責任者の要件 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共通</span> サービス管理責任者は、次の一及び二に定める要件を満たしていますか。  <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>一 次の(一)～(三)のいずれかの業務の実務経験者であること</p> <p>(一) 次のイ及びロの期間を通算した期間が<u>5年以上</u></p> <p>イ 相談支援業務                次の事業・施設の従業者が、相談支援の業務に従事した期間</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害児相談支援事業、身体・知的障害者相談支援事業</li> <li>(2) 児童相談所、身体・知的障害者更生相談所、精神障害者社会復帰施設、福祉事務所、発達障害者支援センター</li> <li>(3) 障害者支援施設、障害児入所施設、老人福祉施設、精神保健福祉センター、救護施設及び更生施設、介護老人保健施設</li> <li>(4) 障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター</li> <li>(5) 特別支援学校</li> <li>(6) 病院・診療所（社会福祉主事任用資格者等に限る） 等</li> </ol> <p>ロ 直接支援業務                次の事業・施設の従業者で、社会福祉主事任用資格者、保育士、児童指導員任用資格者等が、直接支援の業務に従事した期間</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 障害者支援施設、障害児入所施設、老人福祉施設、介護老人保健施設、療養病床関係病室</li> <li>(2) 障害福祉サービス事業、障害児通所支援事業、老人居宅介護等事業所</li> <li>(3) 病院・診療所、訪問看護事業所</li> <li>(4) 特例子会社 (5) 特別支援学校 等</li> </ol> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	H18厚労省告示第544号  告示第1号イ(1)

◆ 人員に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
<p>10 サービス 管理責任者 (続き)</p> <p>共通</p>	<p>(二) 次の期間を通算した期間が8年以上である者</p> <p>○ 直接支援業務 上記(一)口の事業・施設の従業者で、社会福祉主事任用資格者、保育士、児童指導員任用資格者等でない者が、直接支援の業務に従事した期間</p> <p>(三) 上記(一)及び(二)の期間を通算した期間が3年以上、かつ、国家資格等※の資格者がその資格に係る業務に従事した期間が通算して3年以上である者</p> <p>※ 医師、保健師、看護師、准看護師、社会福祉士、介護福祉士、理学療法士、作業療法士、栄養士、精神保健福祉士 等</p> <hr/> <p>二 次のイ及び口の要件に該当する者であって、口に定めるサービス管理責任者実践研修を修了した翌年度以降の5年度ごとに、サービス管理責任者更新研修を修了したもの</p> <p>(口に定める実践研修の修了日から5年を経過する日の属する年度の末日までの間は、更新研修修了者とみなす。)</p> <p>イ サービス管理責任者基礎研修（実務経験が2年以内である者又は実務経験者に対して行われる研修）を修了し、次の(1)又は(2)のいずれかの要件を満たすもの</p> <p>(1) 相談支援従業者初任者研修（講義部分）修了者</p> <p>(2) 旧障害者ケアマネジメント研修修了者</p> <p>ロ 次の(1)又は(2)のいずれかの要件を満たしている者で、サービス管理責任者実践研修を修了したもの</p> <p>(1) 基礎研修修了以後、実践研修開始日前5年間に通算して2年以上、相談支援業務又は直接支援業務に従事した者</p> <p>(2) 平成31年4月1日において、旧告示に規定するサービス管理責任者研修を修了し、同日以後に相談支援従事者初任者研修（講義部分）修了者となったもの</p> <div data-bbox="379 1240 1190 1395" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【更新研修未修了】 告示第1号ニ</p> <p>○ 期日までに更新研修修了者とならなかった実践研修修了者又は旧サービス管理責任者研修修了者は、実践研修を改めて修了した日に実践研修修了者となったものとする。</p> </div> <div data-bbox="379 1413 1190 1951" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【研修受講に係る経過措置】 告示第1号ロ、ハ、ヘ</p> <p>①旧サービス管理責任者研修修了者</p> <p>平成31年3月31日において旧要件を満たす者については、令和6年3月31日までの間はサービス管理責任者として現に従事しているものとみなす。</p> <p>②基礎研修修了者で実務要件を満たしている者</p> <p>実務経験者が平成31年4月1日以後令和4年3月31日までに基礎研修修了者となった場合は、実践研修を修了していなくても、基礎研修修了日から3年を経過するまでの間は、当該実務経験者をサービス管理責任者とみなす</p> <p>③やむを得ない事由によりサービス管理責任者が欠けた場合</p> <p>やむを得ない事由によりサービス管理責任者が欠けた場合は、当該事由が発生した日から1年間は、実務経験者であるものについては、研修要件を満たしているものとみなす。</p> </div>		<p>《R01見直し》 ・直接支援業務 10年→8年</p> <p>告示第1号イ(2)</p> <p>《R01見直し》 ・研修要件見直し</p>

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
10 サービス 管理責任者 (続き)  <input type="checkbox"/> 共通	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【配置時の取扱いの緩和等】 告示第1号ホ              常勤のサービス管理責任者1名が配置されている事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎研修修了者も個別支援計画原案の作成可</li> <li>○ 基礎研修修了者を2人目のサビ管として配置可</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☞ やむを得ない事由を判断するのは、市（障害福祉課）です。猶予措置を適用する際は、必ず市（障害福祉課）に相談してください。</p> <p>☞ サービス管理責任者の配置に関して、「事業の開始後1年間は、実務経験者については研修を修了している者とみなす」旨の経過措置については、平成31年3月31日をもって終了となりました。（研修修了要件を満たすことが必須となります。）</p> </div>		
11 管理者  <input type="checkbox"/> 共通	<p><u>専ら</u>その職務に従事する管理者を置いていますか。            ※ 管理上支障がない場合はこの限りでない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の1(7)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管理者は原則として専ら当該事業所の管理業務に従事するものとするが、次の場合であって、事業所の管理業務に支障がないときは、他の職種を兼ねることができる。</li> <li>① 当該事業所のサービス管理責任者又は従業者としての職務に従事する場合</li> <li>② 当該事業所以外の他の障害福祉サービス事業所等の管理者又はサービス提供責任者若しくは従業者としての職務に従事する場合であって、特に当該事業所の管理業務に支障がないと認められる場合</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第53条準用 省令第51条準用
12 従たる 事業所を 設置する 場合の特例  <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B	<p>(1) 従たる事業所の設置            主たる事業所と一体的に管理運営を行う事業所（従たる事業所）を設置していますか。</p> <p>(2) 従たる事業所の従業者            従たる事業所を設置する場合において、主たる事業所及び従たる事業所の従業者（サービス管理責任者を除く。）のうち、それぞれ1人以上は、常勤かつ専ら当該主たる事業所又は従たる事業所の職務に従事する者となっていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第二の1(1)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援について、次の①及び②の要件を満たす場合に、一又は複数の「従たる事業所」を設置することが可能であり、これらを一の事業所として指定できる。</li> <li>① 人員及び設備の基準               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 主たる事業所と従たる事業所の利用者の合計数に応じた従業者が確保されていること。</li> <li>イ 従たる事業所の利用定員が次のとおりであること。                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活介護、自立訓練、就労移行支援 6人以上</li> <li>・就労継続支援（A型・B型） 10人以上</li> </ul> </li> <li>ウ 主と従の事業所の距離が概ね30分以内で移動可能な距離である。</li> </ul> </li> <li>② 運営に関する基準               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 利用申込みの調整、職員への技術指導等が一体的に行われること。</li> <li>イ 職員の勤務体制、勤務内容等が一元的に管理されていること。必要な場合には随時、事業所間で相互支援が行える体制にあること。</li> <li>ウ 苦情処理や損害賠償等に、一体的な対応ができる体制にあること。</li> <li>エ 同一の運営規程が定められていること。</li> <li>オ 人事・給与・福利厚生等の職員管理、会計管理が一元的に行われていること。</li> </ul> </li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第82条第1項以下準用 省令第79条第1項以下準用  条例第82条第2項以下準用 省令第79条第2項以下準用、附則第23条

◆ 人員に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
13 労働条件の明示等 共通	管理者及び従業者と労働契約を交わしていますか。労働条件通知書を交付していますか。 ☞ 労働契約において、法で求めているのは下記のような条件を書面で明示することとされています。 ①労働契約の期間 ②就業の場所・従事する業務の内容 ③始業・終業時刻、時間外労働の有無、休憩時間、休日、休暇等 ④賃金 ⑤退職に関する事項（解雇の事由を含む） ⑥期間の定めのある契約を更新する場合の基準 など	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	労働基準法第15条 労働基準法施行規則第5条
14 従業者等の秘密保持 共通	(1) 従業者等の秘密保持の義務 従業者及び管理者は、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らしてはなりません。 <解釈通知 第三の3(24)> ○ 従業者及び管理者に、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密の保持を義務付けたもの  (2) 従業者等であった者に対する秘密保持のための措置 従業者及び管理者であった者が、正当な理由がなく、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないよう、必要な措置を講じていますか。 <解釈通知 第三の3(24)> ○ 従業者及び管理者であった者が、その業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を漏らすことがないよう必要な措置を取ることを義務付けたもの ○ 具体的には、従業者等でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を雇用時等に取り決めるなどの措置を講ずべきこととするもの  ☞ 在職中と併せて、退職後における秘密保持義務を誓約書などに明記することが必要となります。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第38条第1項準用 省令第36条第1項準用  条例第38条第2項準用 省令第36条第2項準用

◆ 設備に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
15 設備	<p>(1) - 1 必要な設備 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p>事業所には、次の各項目及びその他の運営に必要な設備を設けていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第五の2(1)&gt;</p> <p>○ 原則として一の建物につき、一の事業所とするが、利用者の利便のため、利用者に身近な社会資源（既存施設）を活用して、事業所の従業者が当該施設に向いてサービスを提供する場合については、これらを事業所の一部（出張所）とみなして設備基準を適用するものである。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> ① 訓練・作業室</p> <p>イ 訓練又は作業に支障がない広さを有すること。</p> <p>ロ 訓練又は作業に必要な機械器具等を備えること。</p> <p>※ <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B サービスの提供に当たって支障がない場合は、設けないことができる。</p> <p>※ <input type="checkbox"/>自立 宿泊型自立訓練のみを行う自立訓練（生活訓練）事業所にあつては、設けないことができる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> ② 相談室</p> <p>室内における談話の漏えいを防ぐための間仕切り等を設けること。</p> <p>※ 利用者の支援に支障がない場合は、多目的室と兼用可。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> ③ 洗面所</p> <p>利用者の特性に応じたものであること。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> ④ 便所</p> <p>利用者の特性に応じたものであること。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> ⑤多目的室</p> <p>※ 利用者の支援に支障がない場合は、相談室と兼用可。</p> </div> <p>(1) - 2 必要な設備 <input type="checkbox"/>自立</p> <p>宿泊型自立訓練(生活訓練)事業所にあつては、(1)に規定する設備のほか、次の設備を設けていますか。</p> <p>※ 宿泊型自立訓練のみを行う事業所にあつては、訓練・作業室を設けないことができる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> 居室</p> <p>イ 一の居室の定員は、1人とすること。</p> <p>ロ 一の居室の面積は、収納設備等を除き、<u>7.43㎡以上</u>とすること。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> 浴室</p> <p>利用者の特性に応じたものであること。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる</p> <p><input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第84条、第156条、第167条、第168条、第177条、第189条</p> <p>省令第81条、第168条、第178条、第179条、第188条、第200条</p>

◆ 設備に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
15 設備 (続き)	(1) - 3 必要な設備 <input type="checkbox"/> 就移 認定就労移行支援事業所である就労移行支援事業所における設備基準は、(1)の規定にかかわらず、あん摩マッサージ指圧師、はり師又はきゅう師に係る学校又は養成施設として必要とされる設備を有していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(2) 設備の専用 <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B (1)に規定する設備は、専ら当該事業所の用に供するものとなっていますか。 ※ 利用者の支援に支障がない場合はこの限りでない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(3) 必要な設備及び備品等 <input type="checkbox"/> 就定 就労定着支援事業者は、事業を行うために必要な広さの区画を有するとともに、サービスの提供に必要な設備及び備品等を備えていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第十三の2&gt;</p> <p>(1) 事務室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労定着支援事業所には、事業の運営を行うために必要な面積を有する専用の事務室を設けることが望ましいが、間仕切りする等他の事業と明確に区分される場合は、他の事業と同一の事務室であっても差し支えない。</li> <li>○ 区分がされていなくても業務に支障がないときは、事業を行うための区画が明確に特定されていれば足りる。</li> </ul> <p>(2) 受付等のスペースの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事務室又事業を行うための区画は、利用申込みの受付、相談、計画作成会議等に対応するのに適切なスペースを確保するものとし、相談のためのスペース等は利用者が直接出入りできるなど利用しやすい構造とする。</li> </ul> <p>(3) 設備及び備品等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者は、必要な設備及び備品等を確保する。ただし、他の施設等と同一敷地内にある場合であって、指定就労定着支援の事業又は当該他の事業所、施設等の運営に支障がない場合は、当該他の事業所、施設等に備え付けられた備品及び設備等を使用することができる。</li> <li>○ なお、事務室又は区画、設備及び備品等については、必ずしも事業者が所有している必要はなく、貸与を受けているものであっても差し支えない。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 195 条の 5 省令第 206 条の 5

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
16 運営規程  共通	事業所ごとに、次に掲げる事業の運営についての重要事項に関する運営規程を定めていますか。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>☞ 運営規程に法令等で定める記載事項が定められているか、事業所の現況や運営実態、重要事項説明書や利用契約書、パンフレット等の記載と合っているか、点検してください。</p> <p>☞ 運営規程の記載事項を変更した場合は市（障害福祉課）に届出が必要です。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第92条、第160条、第173条、第185条の2、第191条、第195条の10 省令第89条、第171条、第184条、第196条の2、第202条、第206条の10
	運営規程に定めるべき重要事項  ①事業の目的及び運営の方針 共通 ②従業員の職種、員数及び職務の内容 共通 ③営業日及び営業時間 共通 ④利用定員 共通(就定以外) ⑤サービスの内容並びに利用者から受領する費用の種類及びその額 生介 自立 就移 就B ⑤サービスの提供方法及び内容並びに利用者から受領する費用の種類及びその額 就定 ⑤サービスの内容（生産活動に係るものを除く。）並びに利用者から受領する費用の種類及びその額 就A ⑥サービスの内容（生産活動に係るものに限る）、賃金及び工賃並びに利用者の労働時間及び作業時間 就A ⑦通常の事業の実施地域 共通 ⑧サービス利用に当たっての留意事項 共通(就定以外) ⑨緊急時等における対応方法 共通(就定以外) ⑩非常災害対策 共通(就定以外) ⑪事業の主たる対象とする障害の種類を定めた場合には当該障害の種類 共通 ⑫虐待の防止のための措置に関する事項 共通 ⑬その他運営に関する重要事項 共通 （苦情解決体制、事故発生時の対応等） ※地域生活支援拠点等である場合はその旨を記載し必要な機能のうち満たす機能を明記すること。	主な指摘のポイント  ②～⑦など ・事業所の実態、重要事項説明書等と合っているか。  ⑦ ・事業の実施地域は、客観的に区域が特定されているか。  ⑫ ・虐待防止の、具体的な措置を定めているか。 1 虐待の防止に関する責任者の設置、 2 成年後見制度の利用支援 3 苦情解決体制の整備、 4 従業員に対する虐待防止啓発のための研修の実施 5 虐待防止委員会の設置等に関すること 等	
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>☞ 従業員の員数は、人数を定めればよく、常勤・非常勤の内訳等は必ずしも要しません。また、員数は定数ではなく、「〇名以上」、「大津市条例で定める基準を下回らない範囲で変動することがある。」と定めることができます。</p> </div>		

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
<p>17 内容及び 手続の説明 及び同意</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">共通</p>	<p>(1) 重要事項の説明</p> <p>支給決定障害者等が利用の申込みを行ったときは、当該利用申込者に係る障害の特性に応じた適切な配慮をしつつ、当該利用申込者に対し、運営規程の概要、従業者の勤務体制、その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項※を記した文書（重要事項説明書）を交付して説明を行い、サービスの提供の開始について当該利用申込者の同意を得ていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(1)&gt;</p> <p>○ あらかじめ利用申込者に対し、事業所を選択するために必要な次の重要事項を懇切丁寧に説明し、サービス提供を受けることについて同意を得なければならない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運営規程の概要</li> <li>・ 従業者の勤務体制</li> <li>・ 事故発生時の対応</li> <li>・ 苦情解決の体制 等</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 利用者の同意は書面によって確認することが望ましいとされています。ついては、重要事項説明書は2部作成し、説明者の職氏名を記載し、利用申込者又は家族が説明を受け同意した旨の記名押印等を受け、1部は利用者に交付、1部は事業所で保管してください。</p> <p>☞ 重要事項説明書の記名押印と、契約書の記名押印が一緒となっている例があります。重要事項説明書は、利用者がサービス内容等を理解して事業所を選択するために、利用申込の際に（契約前に）説明する書類で、利用契約書とは異なりますので、それぞれ記名押印が必要です。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる</p> <p><input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第11条第1項準用 省令第9条第1項準用</p>
	<p>(2) 利用契約</p> <p>社会福祉法第77条の規定（利用契約の成立時の書面の交付）に基づき書面の交付を行う場合は、利用者の障害の特性に応じた適切な配慮をしていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(1)&gt;</p> <p>○ 利用者との間で契約が成立したときは、利用者の障害の特性に応じた適切な配慮をもって、社会福祉法第77条第1項の規定に基づき、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①当該事業の経営者の名称及び主たる事務所の所在地</li> <li>②当該事業の経営者が提供するサービスの内容</li> <li>③当該サービスの提供につき利用者が支払うべき額に関する事項</li> <li>④サービスの提供開始年月日</li> <li>⑤サービスに係る苦情を受け付けるための窓口</li> </ol> <p>を記載した書面を交付すること。</p> <p>なお、利用申込者の承諾を得た場合には、当該書面に記載すべき事項を電子情報処理組織を使用する方法、その他の情報通信の技術を利用する方法により提供することができる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 利用契約書の契約当事者は事業所（管理者）ではなく事業者（法人・法人代表者）です。利用契約書には、法人代表者の職名・氏名を記載し、代表者印を押印してください。（※契約権限を内規・委任状等により委任している場合を除く）</p> <p>☞ 利用契約書は2部作成し、それぞれ事業者と利用者が記名押印し、1部を利用者に交付し、1部は事業所が保管してください。</p> <p>☞ 契約日、契約の終期が空欄である、又は自動更新規定を設けていないため契約期間が終了してしまっている、などの指摘例があります。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる</p> <p><input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第11条第2項準用 省令第9条第2項準用</p>

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
18 契約支給量の報告等 共通	(1) 受給者証への必要事項の記載 サービスを提供するときは、サービスの内容、契約支給量その他の必要な事項（受給者証記載事項）を、支給決定障害者等の受給者証に記載していますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(2)&gt;                ○ 事業者は契約が成立した時は、受給者証に次の必要な事項を記載すること。                ・ 事業者及び事業所の名称 ・ サービスの内容                ・ 契約支給量（月当たりの支援の提供量）                ・ 契約日 等</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☞ 事業所は、契約の際、または契約支給量等を変更した場合は、サービス種類ごとに、サービス内容、契約支給量、契約日等を漏れなく受給者証に記載してください。                ☞ 契約が終了した場合にはその年月日を、月途中で終了した場合には当該月で既に提供したサービスの量を記載してください。                ☞ 記載した後に受給者証のコピーを保管し、常に受給資格、記載内容を確認できるようにしておいてください。                → 「22 受給資格の確認」を参照</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第12条第1項準用 省令第10条第1項準用
	(2) 契約支給量 契約支給量の総量は、当該支給給付決定障害者等の支給量を超えていませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第12条第2項準用 省令第10条第2項準用
	(3) 市町村への報告 サービスの利用に係る契約をしたときは、受給者証記載事項その他必要な事項を市町村に対し遅滞なく報告していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第12条第3項準用 省令第10条第3項準用
	(4) 受給者証記載事項の変更時の取扱い 受給者証記載事項に変更があった場合に、(1)から(3)に準じて取り扱っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第12条第4項準用 省令第10条第4項準用
19 提供拒否の禁止 共通	正当な理由なくサービスの提供を拒んでいませんか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(3)&gt;                ○ 提供を拒むことができる正当な理由がある場合とは次のとおり                ① 事業所の現員からは利用申込みに応じきれない場合                ② 利用申込者の居住地が通常の事業の実施地域外である場合                ③ 当該事業所の主たる対象とする障害の種類を定めている場合であって、これに該当しない者から利用申込みがあった場合、その他利用申込者に対し自ら適切なサービスの提供が困難な場合                ④ 入院治療が必要な場合</p> </div>	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第13条準用 省令第11条準用
20 連絡調整に対する協力 共通	サービスの利用について市町村又は一般相談支援事業若しくは特定相談支援事業を行う者が行う連絡調整に、できる限り協力していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第14条準用 省令第12条準用

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠						
2 1 サービス 提供困難時 の対応  [共通]	通常の事業の実施地域等を勘察し、利用申込者に対し自ら適切なサービスを提供することが困難であると認めた場合は、適当な他の居宅介護事業者等の紹介その他の必要な措置を速やかに講じていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 15 条準用 省令第 13 条準用						
2 2 受給資格の 確認  [共通]	サービスの提供を求められた場合は、その者の提示する受給者証によって、支給決定の有無、支給決定の有効期間、支給量等を確認していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 16 条準用 省令第 14 条準用						
2 3 介護等給付 費の支給の 申請に係る 援助  [共通]	(1) 支給決定を受けていない者 支給決定を受けていない者から利用の申込みがあった場合、その者の意向を踏まえて速やかに介護給付費の支給の申請が行われるよう必要な援助を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 17 条第 1 項準用 省令第 15 条第 1 項準用						
	(2) 利用継続のための援助 支給決定に通常要する期間を考慮し、支給決定の有効期間の終了に伴う介護給付費の支給申請について、申請勧奨等の必要な援助を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 17 条第 2 項準用 省令第 15 条第 2 項準用						
2 4 心身の状況 等の把握  [共通]	サービスの提供に当たり、利用者の心身の状況、その置かれている環境、他の保健医療・福祉サービスの利用状況等の把握に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 18 条準用 省令第 16 条準用						
2 5 指定障害福 祉サービス 事業者等と の連携等  [共通]	(1) サービス提供時の関係機関等との連携 サービスの提供に当たり、市町村、他の障害福祉サービス事業者等その他の保健医療・福祉サービス提供者との密接な連携に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 19 条第 1 項準用 省令第 17 条第 1 項準用						
	(2) サービス提供終了に伴う関係機関等との連携 サービスの提供の終了に際して、利用者又はその家族に対して適切な援助を行うとともに、上記(1)の関係機関・事業者との密接な連携に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 19 条第 2 項準用 省令第 17 条第 2 項準用						
2 6 身分を 証する書類 の携行  [自立] [就定]	<p>自立訓練（生活訓練）及び就労定着支援事業者は、従業者に身分を証する書類を携行させ、初回訪問時及び利用者又はその家族から求められたときは、これを提示すべき旨を指導していますか。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">身分を証する書類の記載事項にチェックしてください。</td> <td style="width: 50%;">携行の有無をチェックしてください。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>事業所の名称 <input type="checkbox"/>従業者の氏名</td> <td><input type="checkbox"/>初回訪問時</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/>職能 <input type="checkbox"/>従業者の写真</td> <td><input type="checkbox"/>求められたとき</td> </tr> </table> <p>&lt;解釈通知 第三の 3 (8)&gt;  ○ 利用者が安心してサービスの提供を受けられるよう、従業者に身分を明らかにする証書や名札等を携行させ、初回訪問時及び利用者等から求められたときは、これを提示する旨を指導しなければならないこと。  ○ この証書等には、事業所の名称、当該従業者の氏名を記載するものとし、当該従業者の写真の貼付や職能の記載を行うことが望ましい。</p>	身分を証する書類の記載事項にチェックしてください。	携行の有無をチェックしてください。	<input type="checkbox"/> 事業所の名称 <input type="checkbox"/> 従業者の氏名	<input type="checkbox"/> 初回訪問時	<input type="checkbox"/> 職能 <input type="checkbox"/> 従業者の写真	<input type="checkbox"/> 求められたとき	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 20 条準用 省令第 18 条準用
身分を証する書類の記載事項にチェックしてください。	携行の有無をチェックしてください。								
<input type="checkbox"/> 事業所の名称 <input type="checkbox"/> 従業者の氏名	<input type="checkbox"/> 初回訪問時								
<input type="checkbox"/> 職能 <input type="checkbox"/> 従業者の写真	<input type="checkbox"/> 求められたとき								

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
<p>27 サービスの提供の記録  共通</p>	<p>(1) サービス提供の記録 <b>共通</b> サービスを提供した際は、サービスの提供日、内容その他必要な事項を、サービスの提供の都度記録していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(9)①&gt; ○ 利用者及び事業者が、その時点でのサービスの利用状況等を把握できるようにするため、サービスを提供した際には、サービスの提供日、提供したサービスの具体的内容、実績時間数、利用者負担額等の利用者へ伝達すべき必要な事項を、後日一括して記録するのではなく、サービスの提供の都度記録しなければならないこととしたもの。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☞ 利用者の出欠状況、勤務した職員、活動内容、連絡事項等の活動状況の概要を、「業務日誌」や「作業日誌」として営業日の都度、漏れなく記録に残してください。</p> </div> <p>(2) サービスの提供の記録(宿泊) <b>自立</b> <u>自立訓練(生活訓練)</u>事業者が、<u>宿泊型自立訓練</u>を提供した際は、サービスの提供日、内容その他必要な事項を記録していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第九の3(1)②/第四の3(2)①の準用&gt; ○ サービスを提供した際に、必要事項の記録を適切に行うことができる場面においては、これらの事項について後日一括して記録することも差し支えないとしたもの。</p> </div> <p>(3) サービス提供の確認 <b>共通</b> 上記(1)のサービスの提供の記録に際しては、利用者からサービスを提供したことについて確認を受けていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(9)②&gt; ○ サービスの提供の記録について、サービスの提供に係る適切な手続を確保する観点から、利用者の確認を得なければならないこととしたもの。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>☞ サービス提供実績記録表に、日々利用の都度、利用者自らが押印・サイン等の方法により利用確認をしてください。 ☞ 併せて、出欠簿、タイムカード、支援記録簿、連絡帳などを活用し、利用確認ができるよう工夫してください。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第21条第1項、第157条第1項、第173条、第186条、第191条、第195条の12 省令第19条第1項、第169条の2第1項、第184条、第197条、第202条、第206条の12</p> <p>条例第157条第2項 省令第169条の2第2項</p> <p>条例第21条第2項、第157条第3項、第173条、第186条、第191条、第195条の12 省令第19条第2項、第169条の2第3項、第184条、第197条、第202条、第206条の12</p>
<p>28 支給決定障害者等に求めることのできる金銭の支払の範囲等  共通</p>	<p>(1) 利用者負担額以外の金銭の支払の範囲 利用者負担額以外に支給決定障害者等から金銭の支払を求める場合、当該金銭の用途が直接利用者の便益を向上させるものであって、支給決定障害者等に支払を求めることが適当であるものに限られていますか。</p> <p>(2) 金銭の支払に係る支給決定障害者等への説明 金銭の支払を求める際は、当該金銭の用途及び額並びに支給決定障害者等に金銭の支払を求める理由について書面で明らかにし、支給決定障害者等に対して説明を行い、同意を得ていますか。 ※ 次の29(1)～(3)に掲げる支払はこの限りでない。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第22条第1項準用 省令第20条第1項準用</p> <p>条例第22条第2項準用 省令第20条第2項準用</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
29 利用者負担 額等の受領	(1) 利用者負担額の受領 <b>共通</b> サービスを提供したときは、支給決定障害者から、利用者負担額の支払を受けていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第23条第1項準用、第85条第1項、第147条第1項準用、第158条第1項、省令第21条第1項準用、第82条第1項、第159条第1項準用、第170条第1項
	(2) 法定代理受領を行わない場合 <b>共通</b> 法定代理受領を行わないサービスを提供したときは、支給決定障害者から指定障害福祉サービス等費用基準額の支払を受けていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	条例第23条第2項準用、第85条第2項、第147条第2項準用、第158条第2項、省令第21条第2項準用、第82条第2項、第159条第2項準用、第170条第2項
	(3) - 1 その他受領が可能な費用 <b>生介</b> 生活介護事業者は、上記(1)(2)の支払いを受ける額のほか、提供する便宜に要する費用のうち、次に掲げる費用の支払を支給決定障害者から受けていますか。 一 食事の提供に要する費用 二 創作的活動に係る材料費 三 日用品費 四 サービスにおいて提供される便宜に要する費用のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、利用者に負担させることが適当と認められるもの	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第85条第3項 省令第82条第3項
	(3) - 2 その他受領が可能な費用 <b>自立 就移 就A 就B</b> 自立訓練(生活訓練)(宿泊型自立訓練を除く。)、就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、上記(1)(2)の支払いを受ける額のほか、提供する便宜に要する費用のうち、次に掲げる費用の支払を支給決定障害者から受けていますか。 一 食事の提供に要する費用 二 日用品費 三 サービスにおいて提供される便宜に要する費用のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、利用者に負担させることが適当と認められるもの	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第147条第3項 準用、第158条第3項 省令第159条第3項 準用、第170条第3項
	(3) - 3 その他受領が可能な費用 <b>自立</b> 自立訓練(生活訓練)事業者は、宿泊型自立訓練を行う場合には、上記(1)(2)の支払いを受ける額のほか、提供する便宜に要する費用のうち、次に掲げる費用の支払を支給決定障害者から受けていますか。 一 食事の提供に要する費用 二 光熱水費 三 居室(国・地方公共団体の補助等により建築等されたものを除く。)の提供を行ったことに伴い必要となる費用 四 日用品費 五 サービスにおいて提供される便宜に要する費用のうち、日常生活においても通常必要となるものに係る費用であって、利用者に負担させることが適当と認められるもの	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第158条第4項 省令第170条第4項
(3) - 4 その他受領が可能な費用 <b>就定</b> 就労定着支援事業者は、上記(1)(2)の支払いを受ける額のほか、通常の事業の実施地域以外の地域でサービスを提供する場合に、それに要した交通費の額の支払を支給決定障害者から受けていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第23条第3項準用 省令第21条第3項準用	

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠												
<p>29 利用者負担額等の受領(続き)</p>	<p>&lt;利用者負担の費目と金額(「月〇〇円」等)を記入してください&gt; <input type="checkbox"/> 共通</p> <table border="1" data-bbox="343 286 1173 521"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>①</td><td></td></tr> <tr><td>②</td><td></td></tr> <tr><td>③</td><td></td></tr> <tr><td>④</td><td></td></tr> <tr><td>⑤</td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>《参照》 「障害福祉サービス等における日常生活に要する費用の取扱いについて」(H18.12.6 障発第1206002号厚生労働省通知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給付費の対象となっているサービスと明確に区分されない曖昧な名目による費用の受領は認められないこと。したがって、お世話料、管理協力費、共益費、施設利用補償金といったあやふやな名目の費用の徴収は認められず、費用の内訳が明らかにされる必要がある。</li> <li>○ 「日常生活においても通常必要となるものに係る費用」(「その他の日常生活費」)の受領については、利用者に事前に十分な説明を行い、その同意を得なければならない。</li> <li>○ 「その他の日常生活費」の対象となる便宜及びその額は、運営規程で定めなければならない。</li> <li>○ 「その他の日常生活費」の具体的な範囲は次のとおり             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 身の回り品として必要なものを事業者が提供する場合の費用</li> <li>(2) 教養娯楽等として必要なものを事業者が提供する場合の費用</li> <li>(3) 利用者の希望によって送迎を提供する場合に係る費用(送迎加算を算定する場合には、燃料費等実費が加算の額を超える場合に限る。)</li> </ul> </li> </ul> <p>&lt;解釈通知 第五の3(1)②ほか&gt; <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 給付費の対象となっているサービスと明確に区分されない曖昧な名目による費用の支払を受けることは認めないこととしたもの。</li> </ul>	費目	金額	①		②		③		④		⑤			
費目	金額														
①															
②															
③															
④															
⑤															
	<p>(4) 食事費用等の取扱い <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p> <p>上記(3)に掲げる費用のうち、食事の提供に要する費用、光熱水費及び居室の提供に要する費用については、別に厚生労働大臣が定めるところとなっていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【厚生労働大臣が定めるところ】</p> <p>《参照》「食事の提供に要する費用、光熱水費及び居室の提供に要する費用に係る利用料等に関する指針」(H18.9.29 厚生労働省告示第545号)</p> <p>一 適正な手続きの確保 食事の提供費用、光熱水費及び居室の提供費用に係る利用料について、具体的内容、金額の設定及び変更に関し、運営規程への記載を行うとともに、事業所の見やすい場所に掲示を行うこと。</p> <p>二 食事の提供費用等に係る利用料</p> <p>イ 食事の提供に要する費用に係る利用料 食材料費及び調理等に係る費用に相当する額を基本とすること。(低所得者等は食材料費に相当する額)</p> <p>ロ 光熱水費に係る利用料 光熱水費に相当する額とすること。</p> <p>ハ 居室の提供に要する費用に係る利用料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室料に相当する額を基本とすること。</li> <li>・ 施設の建設費用及び近隣の類似施設の家賃の平均的な費用を勘案すること。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>条例第85条第4項、第147条第4項準用、第158条第5項、省令第82条第4項、第159条第4項準用、第170条第5項</p>												

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
29 利用者負担額等の受領(続き)	(5) 領収証の交付 <b>共通</b> 上記(1)から(3)までに係る費用の額の支払を受けた場合に、当該費用に係る領収証を当該費用の額を支払った支給決定障害者に対し、交付していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第23条第4項、第85条第5項、第147条第5項準用、第158条第6項 省令第21条第4項、第82条第5項、第159条第5項準用、第170条第6項
	(6) 支給決定障害者等の同意 <b>共通</b> 上記(3)の費用に係るサービスの提供に当たっては、あらかじめ、支給決定障害者に対し、当該サービス内容及び費用についての説明を行い、同意を得ていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第23条第5項、第85条第6項、第147条第6項準用、第158条第7項 省令第21条第5項、第82条第6項、第159条第6項準用、第170条第7項
30 利用者負担額に係る管理	(1) 利用者負担額に係る管理 <b>自立 就移</b> <b>自立訓練(生活訓練)及び就労移行支援事業者は、支給決定障害者(宿泊型自立訓練を受ける者、就労移行支援を受ける者の一部に限る。)</b> が同一の月に当該事業者が提供するサービス及び他の障害福祉サービス等を受けたときは、当該サービス及び他のサービス等に係る利用者負担額合計額を算定していますか。 この場合において、利用者負担額合計額を市町村に報告するとともに、当該支給決定障害者等及び他のサービス提供事業者に通知していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第158条の2第1項、第173条 省令第170条の2第1項、第184条
	(2) 利用者負担額に係る管理 <b>共通</b> 事業者は、支給決定障害者等(宿泊型自立訓練を受ける者、就労移行支援を受ける者の一部を除く。)の依頼を受けて、当該障害者等が同一の月に当該事業者が提供するサービス、及び他の障害福祉サービス等を受けたときは、当該サービス及び他のサービス等に係る利用者負担額合計額を算定していますか。 この場合において、利用者負担額合計額を市町村に報告するとともに、当該支給決定障害者等及び他のサービス提供事業者等に通知していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第24条準用、第158条の2第2項、第173条 省令第22条準用、第170条の2第2項、第184条
31 介護給付費等の額に係る通知等 <b>共通</b>	(1) 利用者への通知 法定代理受領により市町村から介護給付費(訓練等給付費)の支給を受けた場合は、支給決定障害者等に対し、当該支給決定障害者等に係る介護給付費等の額を通知していますか。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>☞ 通知は給付費の支給日以降に発出してください。</li> <li>☞ 通知には、通知日、サービス利用月(必要に応じて利用の内訳)、給付費の支給日・給付額などを記載します。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第25条第1項準用 省令第23条第1項準用
	(2) サービス提供証明書の交付 法定代理受領を行わないサービスに係る費用の支払を受けた場合は、その提供したサービスの内容、費用の額その他必要と認められる事項を記載したサービス提供証明書を支給決定障害者等に対して交付していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第25条第2項準用 省令第23条第2項準用

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
3 2 サービス の取扱方針  共通	(1) サービスの提供への配慮 事業者は、個別支援計画に基づき、利用者の心身の状況等に応じて、支援を適切に行うとともに、サービスの提供が漫然かつ画一的なものとならないよう配慮していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 60 条第 1 項準用 省令第 57 条第 1 項準用
	(2) サービス提供に当たっての説明 従業者は、サービスの提供に当たっては、懇切丁寧を旨とし、利用者及び家族に対し、支援上必要な事項について、理解しやすいように説明を行っていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の 3 (6) ①&gt;              ○ 支援上必要な事項とは、個別支援計画の目標及び内容のほか、行事及び日課等も含むものである。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 60 条第 2 項準用 省令第 57 条第 2 項準用
	(3) サービスの質の評価及び改善 事業者は、その提供するサービスの質の評価を行い、常にその改善を図っていますか。評価実施日： 年 月 日  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の 3 (6) ②&gt;              ○ 事業者は、自らその提供するサービスの質の評価を行うことはもとより、第三者による外部評価の導入を図るよう努め、常にサービスを提供する事業者としての質の改善を図らねばならないとしたもの。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 60 条第 3 項準用 省令第 57 条第 3 項準用
3 3 個別支援計画の作成等  共通	(1) 個別支援計画の作成業務 管理者は、サービス管理責任者に、個別支援計画の作成に関する業務を担当させていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の 3 (7) ①&gt;              ○ 個別支援計画には次の事項等を記載すること              ・ 利用者及びその家族の生活に対する意向              ・ 総合的な支援の方針              ・ 生活全般の質を向上させるための課題              ・ サービスの目標及びその達成時期              ・ サービスを提供する上での留意事項 等              ○ 個別支援計画は、利用者の置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう支援する上での適切な支援内容の検討に基づき立案されるものである。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>A型</b>              &lt;&lt;参照&gt;&gt;「指定就労継続支援 A 型における適正な運営に向けた指定基準の見直し等に関する取扱い及び様式例について」(平成 29 年 3 月 30 日障障発 0330 第 4 号厚生労働省社会・援護局障害保険福祉部障害福祉課長通知)              A 型事業者は以下の内容を含める              ・ 利用者の希望する業務内容、労働時間、賃金、一般就労の希望の有無等              ・ 利用者の希望する生活や課題等を踏まえた短期目標、長期目標              ・ 利用者の希望を実現するための具体的な支援方針・内容</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☞ 計画書には上記以外にも、作成日・作成者(サービス管理責任者)氏名を記載し、利用者には署名・押印等のほか、同意日も記載してもらってください。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 61 条第 1 項準用 省令第 58 条第 1 項準用
	(2) アセスメント サービス管理責任者は、計画の作成に当たっては、適切な方法により、利用者について、その有する能力、その置かれている環境及び日常生活全般の状況等の評価を通じて利用者の希望する生活や課題等の把握(アセスメント)を行い、利用者が自立した日常生活を営むことができるように支援する上での適切な支援内容を検討していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 61 条第 2 項準用 省令第 58 条第 2 項準用

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠					
33 個別支援計画の作成等 (続き)	(3) 利用者への面接 アセスメントに当たっては、利用者 <span style="font-size: small;">に</span> 面接して行っていますか。 この場合において、面接の趣旨を利用者 <span style="font-size: small;">に</span> 対して十分に説明し、理解を得ていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第61条第3項準用 省令第58条第3項準用					
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>共通</p> <p>(4) サービス管理責任者の役割 サービス管理責任者は、アセスメント及び支援内容の検討結果に基づき、利用者及びその家族の生活に対する意向、総合的な支援の指針、生活全般の質を向上させるための課題、サービスの目標及びその達成時期、サービスを提供する上での留意事項等を記載した個別支援計画の原案を作成していますか。 この場合において、当該事業所が提供するサービス以外の保健医療サービス又はその他の福祉サービス等との連携も含めて個別支援計画の原案に位置付けるよう努めていますか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(7)②&gt; ○ サービス管理責任者は指定特定相談支援事業者等が作成したサービス等利用計画を踏まえて計画の原案を作成し、次の手順により計画に基づく支援を実施 ①担当者会議を開催し、計画原案について意見を求める ②計画を利用者及び家族に説明し、文書で同意を得る ③利用者へ計画を交付する ④計画の実施状況の把握及び計画の見直すべきかの検討を</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第61条第4項準用 省令第58条第4項準用					
	(5) 計画作成に係る会議 サービス管理責任者は、個別支援計画の作成に係る会議（利用者に対するサービスの提供に当たる担当者等を招集して行う会議をいう。）を開催し、上記（4）に規定する個別支援計画の原案の内容について意見を求めていますか。  <個別支援計画作成に係る会議を開催している場合の内容>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第61条第5項準用 省令第58条第5項準用					
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">会議名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>会議開催時期</td> <td>・ 新規利用者の場合 ( ) ・ その他の場合 ( )</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>(職種等)</td> </tr> </table>	会議名		会議開催時期	・ 新規利用者の場合 ( ) ・ その他の場合 ( )	参加者	(職種等)	
会議名								
会議開催時期	・ 新規利用者の場合 ( ) ・ その他の場合 ( )							
参加者	(職種等)							
(6) 計画の同意 サービス管理責任者は、上記（4）に規定する個別支援計画の原案の内容について利用者又はその家族 <span style="font-size: small;">に</span> 対して説明し、 <u>文書により</u> 利用者 <span style="font-size: small;">の</span> 同意を得ていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第61条第6項準用 省令第58条第6項準用						
(7) 計画の交付 サービス管理責任者は、個別支援計画を作成した際には、当該個別支援計画を利用者 <span style="font-size: small;">に</span> 交付していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第61条第7項準用 省令第58条第7項準用						

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>33 個別支援計画の作成等 (続き)</p> <p>共通</p>	<p>(8) 計画の変更 サービス管理責任者は、個別支援計画の作成後、計画の実施状況の把握（モニタリング）（利用者についての継続的なアセスメントを含む。）を行うとともに、少なくとも6月に1回以上（自立訓練（生活訓練）、就労移行支援は3月に1回以上）、個別支援計画の見直しを行い、必要に応じて計画の変更を行っていますか。</p> <p>(9) モニタリング サービス管理責任者は、モニタリングに当たっては、利用者及びその家族等との連絡を継続的に行うこととし、特段の事情のない限り、①定期的な利用者との面接、②定期的なモニタリングの結果の記録、を行っていますか。</p> <p>(10) 計画変更時の取扱い 上記（8）に規定する計画の変更について、（2）から（7）（アセスメントから計画交付まで）に準じた取扱いを行っていますか。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☞ 実地指導で指導が多い事例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 計画を作成していない。</li> <li>・ 計画原案に利用者又は家族の同意を得てない。</li> <li>・ 計画を利用者に交付していない。</li> <li>・ 計画の同意・交付が遅れている。</li> <li>・ 計画を6月（又は3月）に1回以上、見直していない。</li> </ul> <p>→ 計画未作成減算の対象となります。 （「85(3) 個別支援計画未作成減算」参照）</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第61条第8項準用、第159条、第172条、第194条の12 省令第58条第8項準用、第171条、第184条、第206条の12</p> <p>条例第61条第9項準用 省令第58条第9項準用</p> <p>条例第61条第10項準用 省令第58条第10項準用</p>
<p>34 サービス管理責任者の責務</p> <p>共通</p>	<p>サービス管理責任者は、上記33に規定する業務のほか、次に掲げる業務を行っていますか。</p> <p>一 共通 利用申込者の利用に際し、その者に係る障害福祉サービス事業所等に対する照会等により、その者の心身の状況、当該事業所以外における障害福祉サービスの利用状況等を把握すること。</p> <p>二 共通(就定以外) 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に照らし、利用者が自立した日常生活を営むことができるよう定期的に検討するとともに、自立した日常生活を営むことができると認められる利用者に対し、必要な支援を行うこと。</p> <p>二 就定 利用者の心身の状況、その置かれている環境等に照らし、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を継続して営むことができるよう必要な支援を行うこと。</p> <p>三 共通 他の従業者に対する技術指導及び助言を行うこと。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第62条、第195条の6 省令第59条、第206条の6</p>
<p>35 相談及び援助</p> <p>共通</p>	<p>常に利用者の心身の状況、その置かれている環境等の的確な把握に努め、利用者又はその家族に対し、その相談に適切に応じるとともに、必要な助言その他の援助を行っていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(9)&gt;</p> <p>○ 常時必要な相談及び援助を行い得る体制をとることにより、積極的にサービスを利用する利用者の生活の質の向上を図ることを趣旨とするもの。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第63条準用 省令第60条準用</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
36 介護  生介	(1) 適切な技術による介護 介護は、利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第86条第1項 省令第83条第1項
	(2) 排せつの介護 利用者の心身の状況に応じ、適切な方法により、排せつの自立について必要な援助を行っていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(2)/第四の3(11)②準用&gt; ○ 排せつの介護は、利用者の心身の状況や排せつ状況などをもとに、自立支援の立場から、トイレ誘導や排せつ介助等について適切な方法により実施するものとする。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第86条第2項 省令第83条第2項
	(3) おむつの使用 おむつを使用せざるを得ない利用者のおむつを適切に取り替えていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(2)/第四の3(11)②&gt; ○ 利用者がおむつを使用せざるを得ない場合には、その心身及び活動の状況に適したおむつを提供するとともに、おむつ交換は、頻繁に行えばよいということではなく、利用者の排せつ状況を踏まえて実施する。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第86条第3項 省令第83条第3項
	(4) 日常生活上の支援 上記(3)に定めるほか、利用者に対し、離床、着替え及び整容その他日常生活上必要な支援を適切に行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第86条第4項 省令第83条第4項
	(5) 職員体制 常時1人以上の従業者を介護に従事させていますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(2)&gt; ○ 適切な介護を提供できるように介護に従事する生活支援員等の勤務体制を定めておく。 ○ 2以上の生活支援員等の勤務体制を組む場合は、それぞれの勤務体制において常時1人以上の常勤の生活支援員等の配置を行わなければならない。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第86条第5項 省令第83条第5項
	(6) 従業者以外の者による介護の禁止 利用者に対して、利用者の負担により、当該事業者の従業員以外の者による介護を受けさせていませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第86条第6項 省令第83条第6項
37 喀痰吸引等  共通	(1) 登録特定行為事業者の登録 社会福祉士及び介護福祉士法第48条の2及び3、同法施行規則第26条の2及び3に基づき、喀痰吸引・経管栄養を行う「登録特定行為事業者」に該当しますか。 ※ 該当する場合、事業者登録の届出が必要です。  <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>☞ 認定特定行為業務従事者の認定を受けた介護職員等がたんの吸引等を行うものとして、登録特定行為事業者の登録の届出をした施設等で、当該業務を実施できます。 ☞ 事業所の看護師のみがたんの吸引等を行う場合でも、事業者登録の届出は必要です。</p> </div>	<input type="checkbox"/> 該当する <input type="checkbox"/> 該当しない	社会福祉士及び介護福祉士法第48条の2,3 社会福祉士及び介護福祉士法施行規則第26条の2,3 平成23年社援発第1111号厚生労働省社会・援護局長通知

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
37 喀痰吸引等 (続き)	以下、喀痰吸引・経管栄養を行う「登録特定行為事業者」に該当しない場合は、このページの(2)～(10)を飛ばして、次ページに進んでください。		
共通	(2) 認定特定行為業務従事者 介護職員等がたんの吸引等を行う場合は、「認定特定行為業務従事者」として認定された者に行わせていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(3) 登録特定行為事業者 認定特定行為業務従事者にたん吸引等を行わせている場合、事業所を「登録特定行為事業者」として県に登録していますか。  業務開始年月日                      年      月      日	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(4) 特定行為 登録特定行為事業者として実施するたん吸引等の特定行為は、認定特定行為業務従事者の行える行為の範囲で登録していますか。  <登録している行為で該当するものに○をつけてください> (たん吸引)・口腔内      ・鼻腔内      ・気管カニューレ内 (経管栄養)・胃ろう又は腸ろう      ・経鼻経管栄養	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(5) 医師からの指示 介護職員等が行うたんの吸引等の実施に際し、医師から文書による指示を受けていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(6) 実施計画書 対象者の希望や医師の指示、心身の状況等を踏まえて、医師又は看護職員との連携の下に、実施計画書を作成していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(7) 対象者等の同意 対象者及びその家族に対して、実施計画書等を示して、介護職員等がたん吸引等を実施することを説明し、文書による同意を得ていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(8) 結果報告 実施した結果について、結果報告書の作成、看護師・医師への報告、安全委員会への報告を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(9) 安全委員会の開催 たん吸引等の実施に関する安全委員会を定期的を開催していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	(10) 業務方法書等の整備 たん吸引等の実施に関する業務方法書等を備え、介護職員・看護職員等の関係する職員が確認できるようにしていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
38 訓練 自立 就移 就A 就B	(1) 適切な技術による訓練 自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、利用者の心身の状況に応じ、利用者の自立の支援と日常生活の充実に資するよう、適切な技術をもって訓練を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第148条第1項準用 省令第160条第1項準用
	(2) 自立した生活のための訓練 利用者に対し、その有する能力を活用することにより、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、利用者の心身の特性に応じた必要な訓練を行っていますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             &lt;解釈通知 第八の3(2)①&gt;              ○ 利用者が訓練期間経過後、地域において自立した日常生活又は社会生活を営めるよう、当該利用者の生活全般にわたる諸課題を解決するための訓練も含め、総合的な支援を行うものでなければならない。           </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第148条第2項準用 省令第160条第2項準用
	(3) 職員体制 常時1人以上の従業者を訓練に従事させていますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             &lt;解釈通知 第八の3(2)②&gt;              ○ 適切な訓練を行うことができるように訓練に従事する生活支援員等の勤務体制を定めておく。              ○ 2以上の生活支援員等の勤務体制を組む場合は、それぞれの勤務体制において常時1人以上の常勤の生活支援員等の配置を行わなければならない。           </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第148条第3項準用 省令第160条第3項準用
	(4) 従業者以外の者による介護の禁止 利用者に対して、利用者の負担により、当該事業所の従業者以外の者による訓練を受けさせていませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第148条第4項準用 省令第160条第4項準用
39-1 通勤のための訓練の実施 就移	就労移行支援事業者は、利用者が自ら通常の事業所に通勤することができるよう、通勤のための訓練を実施していますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">             &lt;解釈通知 第十の3(3)&gt;              ○ 一般就労移行後には、障害者が自ら雇用された通常の事業所に通勤することができるよう、通勤のための訓練を実施しなければならない。           </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第168条の2 省令第179条の2
39-2 地域生活への移行のための支援 自立	自立訓練(生活訓練)事業者は、利用者が地域において自立した生活を営むことができるよう、就労移行支援事業を実施する障害福祉サービス事業者等と連携し必要な調整を行っていますか。 また、地域において安心した生活を営むことができるよう、利用者が住宅等における生活に移行した後も、一定期間(最低6月以上)定期的な連絡・相談等を行っているか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第149条 省令第161条

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
40 生産活動  生介  就移  就B	(1) 生産活動の内容 <u>生活介護、就労移行支援及び就労継続支援B型事業者は、生産活動の機会の提供に当たっては、地域の実情並びに製品及びサービスの需給状況等を考慮して行うように努めていますか。</u>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第87条第1項、第173条、第191条 省令第84条第1項、第184条、第202条
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(3)①&gt;              ○ 地域の実情、製品及びサービスの需給状況及び業界の動向を常時把握するよう努めるほか、利用者の心身の状況、利用者本人の意向、適性、障害の特性、能力などを考慮し、多種多様な生産活動の場を提供できるように努めなければならないとしたもの。</p> </div>		
	<p>&lt;生産活動の内容を記入してください&gt;</p>		
	(2) 生産活動による利用者への配慮 生産活動の機会の提供に当たっては、生産活動に従事する者の作業時間、作業量等がその者に過重な負担とならないように配慮していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第87条第2項、第173条、第191条 省令第84条第2項、第184条、第202条
(3) 障害特性を踏まえた工夫 生産活動の機会の提供に当たっては、生産活動の能率の向上が図られるよう、利用者の障害の特性等を踏まえた工夫を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第87条第3項、第173条、第191条 省令第84条第3項、第184条、第202条	
(4) 生産活動の安全管理 生産活動の機会の提供に当たっては、防塵設備又は消火設備の設置等生産活動を安全に行うために、必要かつ適切な措置を講じていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第87条第4項、第173条、第191条 省令第84条第4項、第184条、第202条	
41-1 実施主体  就A	(1) 社会福祉事業の実施 <u>就労継続支援A型事業者が社会福祉法人以外の者である場合は、専ら社会福祉事業を行う者となっていますか。</u>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第178条第1項 省令第189条第1項
	(2) 特例子会社の禁止 事業者は、障害者の雇用の促進等に関する法律に規定する子会社以外の者となっていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第178条第2項 省令第189条第2項

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠				
4 1-2 実施主体 就定	<p>就労定着支援事業者は、過去3年間において平均1人以上、通常の事業所に新たに障害者を雇用させている生活介護等に係る障害福祉サービス事業者となっていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第十三の3(2)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活介護事業所等の運営が3年に満たない場合であっても、生活介護を通じて通常の事業所に雇用された者が3人以上いる場合には、実施主体の要件を満たす。</li> <li>○ 当該指定は次期更新の際まで有効であり、指定後、毎年こうした要件を満たすことが必要となるものではない。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第195条の7 省令第206条の7				
4 2 雇用契約の締結等 就A	<p>(1) 雇用契約の締結</p> <p>就労継続支援A型事業者は、サービスの提供に当たっては、利用者と雇用契約を締結していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第十一の3(2)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労継続支援A型の利用者のうち、雇用契約を締結した者については、労働基準法等労働関連法規の適用を受ける労働者に該当する。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第179条第1項 省令第190条第1項				
	<p>(2) 雇用契約によらない利用者</p> <p>上記(1)の規定にかかわらず、規則第6条の10第2号に規定する者(通常の事業所に雇用されることが困難であって、雇用契約に基づく就労が困難である者)に対して、雇用契約を締結せずにサービスを提供することができますが、該当する利用者はいいますか。</p> <p>&lt;雇用契約によらない利用者数&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">前年度</td> <td style="width: 25%;">人</td> <td style="width: 25%;">本年度</td> <td style="width: 25%;">人</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第十一の3(2)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 雇用契約によらない利用者については労働者には該当することは想定していないことから、これらの作業内容及び作業場所を区分するなど、利用者が提供する役務と工賃との関係が明確になるよう、配慮すること。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《参照》</p> <p>「就労継続支援事業利用者の労働者性に関する留意事項について」(H18.10.2 障障発第1002003号厚生労働省通知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ A型利用者(雇用無)及びB型利用者               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 利用者の出欠、作業時間、作業量等が利用者の自由であること。</li> <li>イ 作業量が予約された日に完成されなかった場合も、工賃の減額、作業員の割当の停止、資格剥奪等の制裁を課さないこと。</li> </ul> </li> <li>○ A型利用者(雇用有及び雇用無)及びB型利用者               <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 同一事業所内で作業する際には、それぞれの作業場所、作業内容が明確に区分され、混在して作業が行われないこと。</li> <li>イ 勤務表・シフト表は別々に管理すること。</li> <li>ウ A型利用者(雇用無)及びB型利用者は、労働者災害補償保険法の適用がないことから、任意保険の加入の促進を図るとともに、労働安全衛生法を準用した安全衛生管理を極力行うこと。</li> </ul> </li> </ul> </div>	前年度	人	本年度	人	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第179条第2項 省令第190条第2項
前年度	人	本年度	人				

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
4.3 就労 就A	(1) 地域の実情等を考慮した就労機会の提供 就労継続支援A型事業者は、就労の機会の提供に当たっては、地域の実情並びに製品及びサービスの需給状況等を考慮して行うよう努めていますか。 <作業の内容を記入してください>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第180条第1項 省令第191条第1項
	(2) 障害特性等を踏まえた就労機会の提供 就労の機会の提供に当たっては、作業の能率の向上が図られるよう、利用者の障害の特性等を踏まえた工夫を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第180条第2項 省令第191条第2項
	(3) 利用者の希望を踏まえた就労機会の提供 就労の機会の提供に当たっては、利用者の就労に必要な知識及び能力の向上に努めるとともに、その希望を踏まえたものとしていますか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             &lt;解釈通知 第十一の3(3)&gt;              ○ 利用者の希望や能力を踏まえずに、利用者全員の労働条件を一律に設定するのは、事業趣旨に反する。              ○ 就労の機会の提供に当たっては、利用者の適性、障害特性等を踏まえ、利用者の希望に応じた労働時間や労働日数等での就労が可能となるよう、就労継続支援A型計画作成後の継続的なアセスメントやモニタリングを通じて適切な支援方法を検討し、計画の作成や変更を行った上で、必要な訓練や支援を行わなければならない。              ○ 作業の能率の向上が図られるよう、利用者の障害の特性等を踏まえた工夫を行うためには、利用者の多様な働き方のニーズに対応できるかどうかも重要であることから、事業者は利用者の多様な働き方を実現するために必要な就業規則等の整備等を行わなければならない。              ○ 利用者の就労に必要な知識及び能力の向上を図るために、事業所は従業者が自らの支援等に必要な知識を身につけ、能力の向上を図るための研修等の受講機会、常に支援等に対して意欲的に臨めるようなキャリアアップの機会を提供し、第三者の評価を踏まえて、支援環境の整備をしなければならない。              ○ 利用者が一般就労を希望する場合には、適切な支援方法を検討し、利用者が一般就労への移行ができるように計画の変更を行い、一般就労に向けた必要な訓練や支援を行わなければならない。           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             &lt;&lt;参照&gt;&gt;              「指定就労継続支援A型における適正な運営に向けた指定基準の見直し等に関する取扱い及び様式例について」(H29.3.30 障障発0330第4号厚生労働省通知)              ○ 個別支援計画の記載内容が、一人一人の利用者の希望を踏まえず、画一的なものとなっている場合や、記載内容に虚偽がある場合等には、指定基準の趣旨に反していることから、勧告、命令の措置を講じ、指定の取り消しや停止を検討すること。           </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第180条第3項 省令第191条第3項

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
4 4 賃金 就A	(1) 賃金水準の向上 就労継続支援A型事業者は、4 2 (1) の規定による、雇用契約を締結する利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことを支援するため、賃金の水準を高めるよう努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 181 条第 1 項 省令第 192 条第 1 項
	(2) 生産活動収入からの賃金の支払 生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額が、利用者に支払う賃金の総額以上になるようにしていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 181 条第 2 項 省令第 192 条第 2 項
	(3) 賃金への給付費充当の禁止 賃金の支払いに要する額は、自立支援給付をもって充ててはなりませんか。 ※ 災害その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第 181 条第 6 項 省令第 192 条第 6 項
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第十一の 3 (4)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労継続支援A型事業は、常に生産活動の向上や収入・支出の改善を図り、生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額が、利用者に支払う賃金の総額以上となるようにしなければならない。</li> <li>○ 指定就労継続支援A型事業については、原則として余剰金は発生しないが、将来にわたって安定的に賃金を支給するため又は安定的かつ円滑に就労継続支援A型事業を継続するため、一定の条件の下に工賃変動積立金、設備等整備積立金を積み立てることができる。具体的な取扱いは「就労支援等の事業に関する会計処理の取扱いについて」(平成 18 年 10 月 2 日社援発第 1002001 号厚生労働省社会・援護局長通知) 及び「社会福祉法人会計基準の制定に伴う会計処理等に関する運用上の取扱いについて」(平成 28 年 3 月 31 日雇児発 0331 第 15 号、社援発 0331 第 39 号、老発 0331 第 45 号、厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長、老健局長連名通知) 参照。</li> <li>○ 生産活動に必要な経費には、社会福祉法人会計基準、就労支援事業会計基準で就労支援事業販売原価や就労支援事業販管費といった費用として計上するものが含まれる。</li> <li>○ 当該指定基準を満たさない場合には、事業所に経営改善計画書を提出させ、改善が見込まれない場合には、当該基準に違反するものとして、勧告、命令の措置を講じ、指定の取り消しや停止を検討すること。</li> <li>○ 雇用契約を締結している利用者については、契約上の賃金を支払うこと。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;&lt;参照&gt;&gt;</p> <p>「障害者自立支援法の施行に伴う最低賃金の減額の特例許可手続について」(H18. 10. 2 障障発第 1002001 号厚生労働省通知)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 最低賃金は、労働者に対する賃金の最低額を保障することから、労働者の生活の安定、労働力の質的向上等に資するものであることから、原則としてこれを遵守しなければならない。</li> <li>○ 就労継続支援A型事業の対象労働者について、障害により著しく労働能力が低いことを理由として行われる最低賃金の減額の特例は、あくまで特例的な措置であることに留意すること。</li> </ul> </div>		

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠															
45 工賃の支払  <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B	<p>(1) 生産活動収入からの工賃の支払 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p><u>生活介護、就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、生産活動に従事している者(就労継続A型については、雇用契約を締結していない利用者に限る。)</u>に、生産活動に係る事業の収入から生産活動に係る事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払っていますか。</p> <p>&lt;平均工賃額&gt; ※該当する欄に記入</p> <table border="1" data-bbox="343 515 1050 712"> <thead> <tr> <th></th> <th>月 額</th> <th>配分基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①生活介護</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無</td> </tr> <tr> <td>②就労移行支援</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無</td> </tr> <tr> <td>③就労継続支援A型</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無</td> </tr> <tr> <td>④就労継続支援B型</td> <td>円</td> <td><input type="checkbox"/>有・<input type="checkbox"/>無</td> </tr> </tbody> </table> <p>&lt;解釈通知 第五の3(4)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者は、生産活動に係る事業の収入から当該事業に必要な経費を控除した額に相当する金額を工賃として支払わなければならない。</li> <li>○ この場合の事業所における会計処理については、社会福祉法人が設置する指定生活介護事業所の場合は、「社会福祉法人会計基準の制定について」(平成23年7月27日雇児発0727第1号、社援発0727第1号、老発0727第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長、老健局長連名通知)を、社会福祉法人以外の法人が設置する指定生活介護事業所の場合は、「就労支援等の事業に関する会計処理の取扱いについて」(平成18年10月2日社援発第1002001号社会・援護局長通知)を参照。</li> </ul>		月 額	配分基準	①生活介護	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	②就労移行支援	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	③就労継続支援A型	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	④就労継続支援B型	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第88条、第173条、第181条第3項、第190条第1項 省令第85条、第184条、第192条第3項、第201条第1項
	月 額	配分基準																
①生活介護	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無																
②就労移行支援	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無																
③就労継続支援A型	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無																
④就労継続支援B型	円	<input type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無																
	<p>(2) 工賃水準の向上 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p><u>就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、利用者(A型については雇用契約を締結していない利用者に限る。)</u>の自立した日常生活又は社会生活を支援するため、工賃の水準を高めるよう努めていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第181条第4項、第190条第3項 省令第192条第4項、第201条第3項															
	<p>(3) 工賃の平均額 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p><u>就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、利用者(A型については雇用契約を締結していない利用者に限る。)</u>それぞれに対し支払われる1月あたりの工賃の平均額は、3000円を下回っていませんか。</p> <p>&lt;解釈通知 第十一の3(4)・第十二の3(1)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者それぞれに支払われる1月あたりの工賃の平均額は、3000円を下回ってはならないこと。</li> <li>○ 市は、前年度の工賃の平均額が月額3000円を下回る場合、工賃を向上させるための指導を行うこと。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第181条第5項、第190条第2項 省令第192条第5項、第201条第2項															
	<p>(4) 工賃への給付費充当の禁止 <input type="checkbox"/>就A</p> <p><u>就労継続支援A型事業者は、工賃の支払いに要する額は、自立支援給付をもって充ててはいませんか。</u></p> <p>※ <u>災害その他やむを得ない理由がある場合は、この限りでない。</u></p>	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第181条第6項 省令第192条第6項															

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠															
<p>4 5 工賃の支払 (続き)</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>&lt;解釈通知 第十一の3(4)&gt; ○利用者に対する賃金及び工賃の支払いに当たっては、原則として自立支援給付を充ててはならない。ただし、以下の場合はこの限りでない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・激甚災害の指定を受けた地域又は災害救助法適用地域に指定就労継続支援A型事業所が所在する場合であって、生産活動収入の減少が見込まれる場合</li> <li>・激甚災害や災害救助法適用の要因となった大規模な災害による間接的な影響により生産活動収入の減少したことが明らかであると都道府県、指定都市又は中核市が認めた場合 (例) 災害地域に指定就労継続支援A事業所の取引先企業が所在し、生産活動収入が減少した場合</li> <li>・経済危機の場合であって厚生労働省が認める場合</li> <li>・経営改善計画書を提出した指定就労継続支援A事業所の経営改善期間中</li> </ul> <p>(5) 利用者への通知等 <input type="checkbox"/> 就B</p> <p>就労継続支援B型事業者は、年度ごとに、工賃の目標水準を設定し、当該工賃の目標水準、及び前年度に利用者に対し支払われた工賃の平均額を利用者に通知するとともに、市に報告していますか。</p> <table border="1" data-bbox="359 728 1045 996"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標工賃額</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>前年度における工賃実績</td> <td>円</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>利用者への通知</td> <td> <input type="checkbox"/> 書面の交付  <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示  <input type="checkbox"/> その他 ( )                 </td> <td> <input type="checkbox"/> 書面の交付  <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示  <input type="checkbox"/> その他 ( )                 </td> </tr> <tr> <td>市への報告</td> <td> <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない                 </td> <td> <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない                 </td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度	令和3年度	目標工賃額	円	円	前年度における工賃実績	円	円	利用者への通知	<input type="checkbox"/> 書面の交付 <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 書面の交付 <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示 <input type="checkbox"/> その他 ( )	市への報告	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>条例第 190 条第 4 項 省令第 201 条第 4 項</p>
	令和2年度	令和3年度																
目標工賃額	円	円																
前年度における工賃実績	円	円																
利用者への通知	<input type="checkbox"/> 書面の交付 <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示 <input type="checkbox"/> その他 ( )	<input type="checkbox"/> 書面の交付 <input type="checkbox"/> 事業所内の掲示 <input type="checkbox"/> その他 ( )																
市への報告	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない	<input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> していない																
<p>4 6 実習の実施</p> <p><input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>(1) - 1 実習の受入先の確保 <input type="checkbox"/> 就移</p> <p>就労移行支援事業者は、利用者が個別支援計画に基づいて実習できるよう、実習の受入先を確保していますか。</p> <p>(1) - 2 実習の受入先の確保 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p> <p>就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、利用者が個別支援計画に基づいて実習できるよう、実習の受入先の確保に努めていますか。</p> <p>(2) 関係機関との連携 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p> <p>就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、上記(1)の実習の受入先の確保に当たっては、公共職業安定所、障害者就業・生活支援センター及び特別支援学校等の関係機関と連携して、利用者の意向及び適性を踏まえて行うよう努めていますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第十の3(3)&gt; ○ 実習については、個別支援計画に基づき利用者の心身の状況及びその希望に応じた適切な受入先が複数確保できるよう、就労支援員が中心となり、その開拓に努めること。 ○ 実習時において、就労支援員等の職員が随行しない期間がある場合には、当該期間中に、実習先における利用者の状況について、利用者本人や実習先事業者からの聞き取りを行うことにより、日報を作成すること。 ○ 少なくとも1週間ごとに、当該聞き取りの内容等を元に、個別支援計画の内容の確認及び必要に応じた見直しを行うよう努めること。</p> <p>&lt;実習（施設外支援・施設外就労以外）の内容を記入してください&gt;</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>条例第 169 条第 1 項 省令第 180 条第 1 項</p> <p>条例第 182 条第 1 項 省令第 193 条第 1 項</p> <p>条例第 169 条第 2 項、 第 182 条第 2 項 省令第 180 条第 2 項、 第 193 条第 2 項</p>															



◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
4 7 施設外支援 施設外就労 (続き)  <input type="checkbox"/> 就移  <input type="checkbox"/> 就A  <input type="checkbox"/> 就B	<施設外支援の内容（平均工賃、人数の状況も含む）を記入してください>		
	(2) 施設外就労 企業から請け負った作業を当該企業内で行う支援（施設外就労）は、厚生労働省の通知に定める要件（下記①ア～オ）をいずれも満たす場合に限り、報酬を算定していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	<<参照>> 「就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型、B型）における留意事項について」 (H19.4.2 障障発第 0402001 号厚生労働社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知) 注：令和3.3.30改正現在 (2) 企業から請け負った作業を当該企業内で行う支援（施設外就労）について ①施設外就労の要件 施設外就労（企業内就労）については、次のアからオまでの要件をいずれも満たす場合に限り、算定する。 ア 施設外就労の総数については利用定員を超えないこと。なお、施設外就労を基本とする形態で就労継続支援B型を行う場合であっても、本体施設には、管理者及びサービス管理責任者の配置が必要である。 イ 施設外就労については、当該施設外就労を行う日の利用者数に対して報酬算定上必要とされる人数（常勤換算方法による。）の職員を配置する。事業所については、施設外就労を行う者を除いた前年度の平均利用者数に対して報酬算定上必要とされる人数（常勤換算方法による。）の職員を配置すること。なお、サービス管理責任者については、施設外就労を行う者を含めた前年度の平均利用者数に対して配置すること。 ウ 施設外就労の提供が、当該事業所の運営規程に位置づけられていること。 エ 施設外就労を含めた個別支援計画が事前に作成され、就労能力や工賃（賃金）の向上及び一般就労への移行に資すると認められること。 オ 緊急時の対応ができること。 ②施設外就労の者と同数の者を主たる事業所の利用者として、新たに受入れることが可能であること。 ③報酬の適用単価は、主たる事業所の利用定員に基づく単価を適用すること。 ④その他 ア 施設外就労先の企業とは、請負作業に関する契約を締結すること。 a 請負契約の中で、作業の完成についての財政上及び法律上のすべての責任は事業所を運営する法人が負うものであることが明確にされていること b 施設外就労先から事業所を運営する法人に支払わせる報酬は、完成された作業の内容に応じて算定されるものであること イ 請け負った作業についての利用者に対する必要な指導等は、施設外就労先の企業ではなく、事業所が行うこと。 ウ 利用者と事業所との関係は、施設内での作業の場合と同様であること。 エ 運営規程に施設外就労について明記し、当該就労について規則を設け、対象者は事前に個別支援計画に規定すること。また、訓練目標に対する達成度の評価等を行った結果、必要と認められる場合には、施設外就労の目標その他個別支援計画の内容の見直しを行うこと。 オ 事業所は、施設外就労の実績を、毎月の報酬請求に合わせて提出すること。 カ 施設外就労に随行する支援員は、就労先企業等の協力を得て、以下の業務を行う。 a 事業の対象となる障害者の作業程度、意向、能力等の状況把握 b 施設外就労先の企業における作業の実施に向けての調整 c 作業指導等、対象者が施設外就労を行うために必要な支援 d 施設外就労についてのノウハウの蓄積及び提供 e 施設外就労先の企業や対象者の家族との連携 f その他上記以外に必要な業務		

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
4 7 施設外支援 施設外就労 (続き)  <input type="checkbox"/> 就移  <input type="checkbox"/> 就A  <input type="checkbox"/> 就B	<施設外就労の内容（平均工賃、人数の状況も含む）を記入してください>		
	(3) 在宅利用者の支援 通所利用が困難で、在宅による支援がやむを得ないと市町村が判断した利用者（在宅利用者）に対して就労移行支援又は就労継続支援を提供するにあたり、厚生労働省の通知に定める要件（下記①ア～キ）のいずれにも該当する場合に限り、報酬を算定していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《参照》            「就労移行支援事業、就労継続支援事業（A型、B型）における留意事項について」（H19.4.2 障障発第 0402001 号厚生労働社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知）            注：令和 3.3.30 改正現在</p> <p>(3) 在宅において利用する場合の支援について</p> <p>①在宅利用者支援の要件</p> <p>在宅でのサービス利用を希望するものであって、在宅でのサービス利用による支援効果が認められると市町村が判断した利用者（在宅利用者）に対して就労移行支援又は就労継続支援を提供するにあたり、次のアからキまでの要件のいずれにも該当する場合に限り、報酬を算定する。</p> <p>なお、この場合には、運営規程に在宅で実施する訓練及び支援内容を明記しておくとともに、在宅で実施した訓練及び支援内容及び訓練及び支援状況を指定権者から求められた場合には提出できるようにしておくこと。</p> <p>その際、訓練状況（在宅利用者が実際に訓練している状況）及び支援状況（在宅利用者に訓練課題に係る説明や質疑への対応、健康管理や求職活動に係る助言等）については、本人の同意を得るなど適切な手続きを経た上で、音声データ、動画ファイル又は静止画像等をセキュリティーが施された状態で保存し、指定権者から求められた場合には個人情報に配慮した上で、提出できるようにしておくことが望ましい。</p> <p>ア 通常の事業所に雇用されることが困難な障害者につき、就労の機会を提供するとともに生産活動その他の活動の機会の提供を通じて、その知識及び能力の向上のために必要な訓練その他の必要な支援が行われるとともに、常に在宅利用者が行う作業活動、訓練等のメニューが確保されていること。</p> <p>イ 在宅利用者の支援にあたり、1日2回は連絡、助言又は進捗状況の確認等のその他の支援が行われ、日報が作成されていること。また、作業活動、訓練等の内容又は在宅利用者の希望等に応じ、1日2回を超えた対応も行うこと。</p> <p>ウ 緊急時の対応ができること。</p> <p>エ 在宅利用者が作業活動、訓練等を行う上で疑義が生じた際の照会等に対し、随時、訪問や連絡による必要な支援が提供できる体制を確保すること。</p> <p>オ 事業所職員による訪問、在宅利用者による通所又は電話・パソコン等のICT機器の活用により、評価等を1週間につき1回は行うこと。</p> <p>カ 在宅利用者については、原則として月の利用日数のうち1日は事業所職員による訪問又は在宅利用者による通所により、在宅利用者の居宅又は事業所内において訓練目標に対する達成度の評価等を行うこと。</p> <p>キ オが通所により行われ、あわせてカの評価等も行われた場合、カによる通所に置き換えて差し支えない。</p> </div>		
	<在宅支援の内容（平均工賃、人数の状況も含む）を記入してください>		

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠	
48 求職活動の 支援等の 実施	(1) - 1 求職活動の支援 <b>就移</b> 就労移行支援事業者は、公共職業安定所での求職の登録その他の利用者が行う求職活動を支援していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第170条第1項 省令第181条第1項	
	(1) - 2 求職活動の支援 <b>就A</b> <b>就B</b> 就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、公共職業安定所の求職の登録その他の利用者が行う求職活動の支援に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第183条第1項、 第191条 省令第194条第1項、 第202条	
	<p>&lt;解釈通知 第十の3(4)&gt; ※(1)-1、2共通 ○ 求職活動については、個別支援計画に基づき、公共職業安定所における求職の登録、合同就職面接会や企業面接への参加などの機会を提供するとともに、当該求職活動が円滑に行えるよう、就労支援員が必要に応じ支援すること。</p> <p>&lt;解釈通知 第十一の3(6)&gt; ※(1)-2 ○ 在宅で就労する者については、職業指導員等による訪問、利用者の通所又は電話・パソコン等のICT機器の活用により、評価等を1週間につき1回は実施する等により適切な支援を行うこと。</p>			
	(2) 関係機関との連携 <b>就移</b> <b>就A</b> <b>就B</b> 就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、公共職業安定所、障害者就業・生活支援センター及び特別支援学校等の関係機関と連携して、利用者の意向及び適性に応じた求人の開拓に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第170条第2項、 第183条第2項、第191条 省令第181条第2項、 第194条第2項、第202条	
49 職場への 定着のため の支援等の 実施	(1) - 1 職場定着のための支援 <b>生介</b> <b>自立</b> 生活介護及び自立訓練(生活訓練)事業者は、障害者の職場への定着を促進するため、当該事業者が提供するサービスを受けて通常の事業所に新たに雇用された障害者について、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携して、当該障害者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援の継続に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第88条の2第1項 省令第85条の2第1項	
	(1) - 2 職場定着のための支援 <b>就移</b> 就労移行支援事業者は、利用者の職場への定着を促進するため、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携して、利用者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援を継続していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第171条第1項 省令第182条第1項	
	(1) - 3 職場定着のための支援 <b>就A</b> <b>就B</b> 就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者は、利用者の職場への定着を促進するため、障害者就業・生活支援センター等の関係機関と連携して、利用者が就職した日から6月以上、職業生活における相談等の支援の継続に努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第184条の1、第191条 省令第195条、第202条	
	<p>&lt;解釈通知 第五の3(4)の2&gt; ※(1)-1~3共通 ○ 少なくとも6月以上の間、事業主に対する助言、就職後に生じた職場不適應への対応等について、職場訪問や家庭訪問等による適切な相談支援等を行うこと。 ○ 6月経過後は、就労定着支援を一体的に実施している場合は、就労定着支援事業所による支援を実施する。 ○ 就労定着支援を実施していない場合は、当該事業所以外の就労定着支援事業所又は障害者就業・生活支援センター等の就労支援機関による支援等が継続的に行われるよう、当該機関と必要な調整を行わなければならない。</p>			

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>49 職場への 定着のため の支援等の 実施 (続き)</p>	<p>(1) - 4 職場定着のための支援 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">就定</span></p> <p>就労定着支援事業者は、利用者の職場への定着及び就労継続を図るため、新たに障害者を雇用した通常の事業所の事業主、指定障害福祉サービス事業者等、医療機関等との連絡調整及び連携を行うとともに、利用者やその家族等に対して、当該雇用に伴い生じる日常生活及び社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言その他の必要な支援を提供していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第十三の3(3)①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業者は、利用者に関わる他の支援機関を主体的に把握して適宜情報共有し、就労継続に向けた支援について方向性の摺り合わせや役割分担を行うなど、地域における支援機関間のネットワークを構築して支援を行うことが望ましい。支援について方向性の確認や役割分担を行うためには、利用者の意向や他の支援期間の助言等を十分踏まえる必要があり、そのためには利用者を中心として他の支援機関等を招いたケース会議を行うことが望ましい。</li> <li>○ 就労定着支援の支給決定期間は最大3年間となるが、事業所の判断により、終了後も本人の希望に応じて支援を継続することを妨げない。</li> <li>○ ただし、支援を終了する場合は、本人の希望や状況、事業主の状況等に応じて同様の緯線を継続する必要がある場合は利用者や事業主と十分に調整した上で、障害者就業・生活支援センター等に対して、当該利用者等の状況や支援継続の必要性等を丁寧に説明、情報共有を図るなど適切に引き継ぐこと。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第195条の8第1項 省令第206条の8第1項</p>
	<p>(2) 職場定着状況の把握 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">就定</span></p> <p>就労定着支援事業者は、利用者に対して上記(1) - 4の支援を提供するに当たっては、1月に1回以上、当該利用者との対面により行うとともに、1月に1回以上、当該利用者を雇用した通常の事業所の事業主を訪問することにより当該利用者の職場での状況を把握するよう努めなければならない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第十三の3(3)②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者に対する職場への定着のための支援については、利用者との対面又はテレビ電話装置等を用いる方法その他の対面に相当する方法による支援を月1回以上行うことを要件としており、本人の状況を把握する中で職業生活上の課題が生じた場合には、本人に変わって就労定着支援員が課題を解決するだけでなく、本人自らが課題解決のスキルを徐々に習得できるようになることを目的に支援することが必要。</li> <li>○ 利用者の職場での状況を把握するため、月1回以上の当該利用者の職場に訪問することを努力義務としている。障害非開示での就職のような、と特別の合理的理由がある場合を除いては、月1回以上の事業主の訪問による当該利用者の職場の状況の把握を可能な限り行うことが必要。</li> <li>○ なお、サービスを行った日の属する月において、利用者等に対し、当該月における当該利用者に対する支援の内容を記載した報告書の提供を1回以上行わなかった場合には、当該利用者に対する当該月の就労定着支援の基本報酬は算定できない。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第195条の8第2項 省令第206条の8第2項</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
49 職場への 定着のため の支援等の 実施 (続き)	(3) - 1 就労定着支援事業者との連絡調整 <u>生介</u> <u>自立</u> <u>就A</u> <u>就B</u> <u>生活介護、自立訓練(生活訓練)、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業者</u> が提供するサービスを受けて通常の事業所に新たに雇用された障害者が、就労定着支援の利用を希望する場合には、支援が終了した日以後速やかに当該指定就労定着支援を受けられるよう、就労定着支援事業者との <u>連絡調整に努めなければならない。</u>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第88条の2第2項以下準用 省令第85条の2第2項以下準用
	(3) - 2 就労定着支援事業者との連絡調整 <u>就移</u> <u>就労移行支援事業者</u> が提供するサービスを受けて通常の事業所に新たに雇用された障害者が、就労定着支援の利用を希望する場合には、支援が終了した日以後速やかに当該指定就労定着支援を受けられるよう、就労定着支援事業者との <u>連絡調整を行わなければならない。</u>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第171条第2項 省令第182条第2項
<p>&lt;解釈通知 第五の3(4)の2</p> <p>○ 事業者は、当該サービスを受けて、企業等に新たに雇用された障害者が円滑に職場に定着できるよう、障害者が就職してから、少なくとも6月以上の間、障害者就業・生活支援センターや職場適応援助者等と連携を図りながら、事業主に対する助言、就職後に生じた職場不適応への対応等について、職場訪問や家庭訪問等による適切な相談支援等を行うこと。</p> <p>○ また、当該障害者に就労定着支援に係る利用の意向を確認し、希望があるとき、当該事業者において一体的に指定就労定着支援事業を実施している場合には、当該指定生活介護事業者は就職後6月経過後に円滑な就労定着支援の利用が開始できるよう、当該指定就労定着支援事業者、指定特定計画相談支援事業者その他関係機関との連絡調整を図った上で、当該指定就労定着支援事業者による職場への定着のための支援に繋げるよう努めること。</p> <p>○ 当該事業者において指定就労定着支援事業を実施していない場合には、指定特定計画相談支援事業者その他関係機関との連絡調整を図った上で、当該指定生活介護事業者以外が実施する指定就労定着支援事業者による職場への定着のための支援に繋げるよう努めること。なお、就労定着支援に係る利用の希望がない場合においても、利用者に対する適切な職場への定着のための相談支援等が継続的に行われるよう、指定特定計画相談支援事業者等と必要な調整に努めること。</p>			
<p>《参照》「就労定着支援の実施について」(令和3.3.30 障発第0330第1号厚生労働社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長通知)</p> <p>就労移行支援等(生活介護、自立訓練(生活訓練)、就労移行支援、就労継続支援)を行う事業者は、当該就労移行支援等を利用して就職が決定した利用者に対しては、義務(・努力義務)である職場定着のための支援に加え次の流れを参考に就労定着支援の利用に係る働き掛けをすることが望ましい。</p> <p>①就職前(就職先の決定から実際に就職する前日までの間)            予対象者の就職後の職場定着支援のニーズを把握した上で、支援の実施方法等について相談を行うとともに、就職後6月経過後からは就労に伴う環境変化等に対してサポートするために就労定着支援が一定期間にわたり利用可能であることを対象者に対して情報提供を行う。</p> <p>②就職後2～3月目            対象者に対して就労定着支援の利用意向を確認し、対象者の同意の上で特定相談支援事業所や就労定着支援事業所に対して就職後の本人の状況を共有するとともに就労定着支援の利用を含めて対象者の職場定着に必要な生活面での支援等について相談を行う。</p> <p>③就職後4～5月目            対象者が就労定着支援事業の利用申請をした場合、就労定着支援による支援の円滑な開始に向けて、就労定着支援事業所、企業と支援の方向性の共有や必要な連絡調整を行う。</p>			

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠												
50 サービス 利用中に 離職する者 への支援  [就定]	就労定着支援事業者は、サービスの提供期間中に雇用された通常の事業所を離職する利用者であって、当該離職後も他の通常の事業所への就職等を希望するものに対し、特定相談支援事業者その他の関係者と連携し、他の障害福祉サービス事業者その他の関係者との連絡調整その他の便宜の提供を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第195条の9 省令第206条の9												
51 就職状況の 報告  [就移]	就労移行支援事業者は、毎年、前年度における就職した利用者の数その他の就職に関する状況を、市に報告していますか。  <下記に該当の人数を記入してください> (人) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 10%;">前々年度</th> <th style="width: 10%;">前年度</th> <th style="width: 10%;">本年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①就職者数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②就職後、6月以上職場へ定着している者の数</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <解釈通知 第十の3(6)> ○ 毎年度、前年度における就職した利用者の数、就職後6月以上職場へ定着している者の数を、市に報告しなければならない。		前々年度	前年度	本年度	①就職者数				②就職後、6月以上職場へ定着している者の数				<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第172条 省令第183条
	前々年度	前年度	本年度												
①就職者数															
②就職後、6月以上職場へ定着している者の数															
52-1 利用者及び 従業者以外 の者の雇用  [就A]	就労継続支援A型事業者は、利用者及び従業者以外の者を就労継続支援A型の事業に従事する作業員として雇用する場合は、次の各号に定める数を超過して雇用していませんか。  一 利用定員が10人以上20人以下 利用定員に100分の50を乗じて得た数 二 利用定員が21人以上30人以下 10又は利用定員に100分の40を乗じて得た数のいずれか多い数 三 利用定員31人以上 12又は利用定員に100分の30を乗じて得た数のいずれか多い数  <解釈通知 第十一の3(8)> ○ 障害者以外の者の雇用に当たっては、当該雇用により利用者の賃金や工賃の低下を招くことがないよう、その人数等について、十分に配慮すること。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第185条 省令第196条												
52-2 厚生労働大臣が定める 事項の評価 等  [就A]	就労継続支援A型事業者は、事業所ごとに、おおむね1年に1回以上、利用者の労働時間その他の当該事業所の運営状況に関し必要な事項として厚生労働大臣が定める事項について、厚生労働大臣が定めるところにより、自ら評価を行い、その結果をインターネットの利用その他の方法により公表しなければならない。  【厚生労働大臣が定める事項及び評価方法】 <<参照>> (令和3年厚生労働省告示第88号) ○ 厚生労働大臣が定める事項：労働時間、生産活動、多様な働き方、支援力向上のための取組、地域連携活動 ○ 厚生労働大臣が定める評価方法：厚生労働大臣が定める事項ごとに評価基準に応じてそのスコアを合計したもの  <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">評価実施日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>公表方法</td> <td></td> </tr> </table>	評価実施日		公表方法		<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第185条の3準用 省令第196条の3準用								
評価実施日															
公表方法															



◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠						
54 食事  (続き)  [生介]  [自立]  [就移]  [就A]  [就B]	<p>(3) 献立 調理はあらかじめ作成された献立に従って行われていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(5)①&gt; ○ 調理はあらかじめ作成された献立に従って行うとともに、その実施状況を明らかにしておくこと。</p> </div> <p>(4) 栄養士を置かない場合 食事の提供を行う場合であって、事業所に栄養士を置かないときは、献立の内容、栄養価の算定及び調理の方法について保健所等の指導を受けるよう努めていますか。</p> <p>【保健所の指導】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">保健所の立入検査</td> <td style="text-align: center;">□有 ・ □無</td> </tr> <tr> <td>検査年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>指摘内容及び改善状況</td> <td></td> </tr> </table>	保健所の立入検査	□有 ・ □無	検査年月日	年 月 日	指摘内容及び改善状況		<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第89条第3項以下準用 省令第86条第3項以下準用
保健所の立入検査	□有 ・ □無								
検査年月日	年 月 日								
指摘内容及び改善状況									
55 緊急時等の対応  [生介]  [自立]  [就移]  [就A]  [就B]	<p>従業者は、現にサービスの提供を行っているときに、利用者に病状の急変が生じた場合その他必要な場合に、速やかに医療機関への連絡を行う等の必要な措置を講じていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☞ 緊急時に備えて日頃からできることの例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の既往症や発作の有無などを把握し、連絡方法（医療機関・家族等）や対応方法を整理し、すぐに対応できるようにする</li> <li>・ 救急車を呼んだ場合に情報提供などの対応ができるようにする</li> <li>・ 携帯連絡先、連絡網を整理し、すぐに連絡がとれる体制を整える</li> <li>・ 過去の事例などから緊急時の具体的な対応方法をあらかじめ想定し、従業者で話し合っておき、マニュアル等に整理しておく</li> <li>・ 救急用品を整備する、応急手当について学ぶ など</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第30条準用 省令第28条準用						
56 健康管理  [生介]  [自立]  [就移]  [就A]  [就B]	<p>常に利用者の健康の状況に注意するとともに、健康保持のための適切な措置を講じていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(6)&gt; ○ 利用者の健康管理は、保健所等との連絡の上、医師又は看護職員その他適当な者を健康管理の責任者とし、利用者の健康状況に応じて健康保持のための適切な措置を講じることとしたもの。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第90条、第160条、第173条、第186条、第191条 省令第87条、第171条、第184条、第197条、第202条						
57 支給決定障害者に関する市町村への通知	<p>(1) - 1 [生介] [自立] [就移] [就A] [就B] サービスを受けている支給決定障害者が次の各号に該当する場合は、遅滞なく、意見を付してその旨を市町村に通知していますか。</p> <p>一 正当な理由なしにサービスの利用に関する指示に従わないことにより、障害の状態等を悪化させたと認められるとき</p> <p>二 偽りその他不正な行為によって給付費を受け、又は受けようとしたとき。</p> <p>(1) - 2 [就定] 就労定着支援事業者は、サービスを受けている支給決定障害者が偽りその他不正な行為によって給付費の支給を受け、又は受けようとしたときは、遅滞なく、意見を付してその旨を市町村に通知していますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第91条準用 省令第88条準用						
		<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第31条準用 省令第29条準用						

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
57 支給決定 障害者に関 する市町村 への通知 (続き)	<p>&lt;解釈通知 第三の3(18)、第四の3(14)&gt; ※(1)-1、2共通</p> <p>○ 市町村は、偽りその他不正な手段等によって給付費の支給を受けた者がいるときは、その者から、その支給相当額の全部又は一部を徴収することができることにかんがみ、事業者は、給付費の適正化の観点から、遅滞なく、意見を付して市町村に通知しなければならない。</p>		
58 管理者の 責務  [共通]	<p>(1) 一元的な管理</p> <p>管理者は、事業所の従業者及び業務の管理その他の管理を一元的に行っていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第69条第1項準用 省令第66条第1項準用
	<p>(2) 指揮命令</p> <p>管理者は、事業所の従業者にこの運営に関する規定(条例・省令における運営に関する基準)を遵守させるため、必要な指揮命令を行っていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第69条第2項準用 省令第66条第2項準用
59 勤務体制の 確保等	<p>(1) 勤務体制の確保 [共通]</p> <p>利用者に対し、適切なサービスを提供することができるよう、事業所ごとに従業者の勤務の体制を定めていますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(22)、第四の3(17)&gt;</p> <p>○ 事業所ごとに、原則として月ごとの勤務表を作成し、従業者の日々の勤務時間、常勤・非常勤の別、管理者との兼務関係等を明確にすること。</p> <p>☞ 月ごとに『勤務予定表』及び『勤務実績表』を作成し、適切なサービスを提供することができる勤務体制が確保できているか確認するとともに、保存しておいてください。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第35条第1項準用、第71条第1項準用 省令第33条第1項準用、第68条第1項準用
	<p>(2) -1 従業者によるサービス提供 [生介 自立 就移 就A 就B]</p> <p>事業所ごとに、当該事業所の従業者によってサービスを提供していますか。(利用者の支援に直接影響を及ぼさない業務については、この限りではない。)</p> <p>&lt;解釈通知 第四の3(17)&gt;</p> <p>○ 原則として事業所の従業者によってサービスを提供すべきであるが、調理業務、洗濯等の利用者に対するサービス提供に直接影響を及ぼさない業務は、第三者への委託等を行うことを認めるものであること。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第71条第2項準用 省令第68条第2項準用
	<p>(2) -2 従業者によるサービス提供 [就定]</p> <p>就労定着支援事業者は、事業所ごとに、当該事業所の従業者によってサービスを提供していますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(22)&gt;</p> <p>○ 事業所の従業者とは、雇用契約その他の契約により、当該事業所の管理者の指揮命令下にある従業者を指すもの。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第35条第2項準用 省令第33条第2項準用

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠									
59 勤務体制の 確保等 (続き)	<p>(3) 研修機会の確保 <b>共通</b></p> <p>従業者及び管理者の資質向上のために、その研修の機会を確保していますか。また、毎年、研修計画を策定するとともに、研修結果を記録する等、計画的な研修の実施に努めていますか。</p> <p>&lt;研修（主な会議を含む）の回数・内容&gt;</p> <table border="1" data-bbox="343 481 1173 683"> <thead> <tr> <th data-bbox="343 481 502 526">前年度</th> <th data-bbox="502 481 662 526">本年度</th> <th data-bbox="662 481 1173 526">研修等の主な内容</th> </tr> <tr> <td data-bbox="343 526 502 571">回</td> <td data-bbox="502 526 662 571">回</td> <td data-bbox="662 526 1173 571"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="343 571 502 683"></td> <td data-bbox="502 571 662 683"></td> <td data-bbox="662 571 1173 683"></td> </tr> </thead></table> <p>&lt;解釈通知 第三の3 (22) &gt;</p> <p>○ 研修機関が実施する研修や、事業所内の研修への参加の機会を計画的に確保すること。</p> <p>☞ 事業所内研修は、従業者の定例会議と兼ねて勉強会や情報交換をするなど、なるべく計画的・定期的を実施してください。また、後日内容を確認したり、活用することができるよう、記録や資料を残しておいてください。</p>	前年度	本年度	研修等の主な内容	回	回					<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第35条第3項準用、第71条第3項準用 省令第33条第3項準用、第68条第3項準用
前年度	本年度	研修等の主な内容										
回	回											
	<p>(4) ハラスメントの対策<b>共通</b></p> <p>適切なサービス提供を確保する観点から、職場において行われる性的な言動又は優越的な関係を背景とした言動であって業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより従業者の就業環境が害されることを防止するための方針の明確化等の必要な措置を講じていますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の1 (22) ④&gt;</p> <p>○ 事業者が講ずべき措置の具体的内容のうち特に留意すべき点</p> <p>①職場におけるハラスメントの内容及び職場におけるハラスメントを行ってはならない旨の方針の明確化、従業者への周知・啓発</p> <p>②相談・苦情に応じ適切に対応するために必要な体制の整備（相談に対応する担当者及び相談窓口をあらかじめ定め従業者に周知）</p> <p>○ 事業者が講じることが望ましい取組</p> <p>①相談に応じ、適切に対応するために必要な体制の整備</p> <p>②被害者への配慮のための取組（メンタルヘルス不調への相談対応、行為者に対して1人で対応させない等）</p> <p>③被害防止のための取組（マニュアル作成や研修の実施等、業種・業態等の状況に応じた取組）</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない										

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>60 業務継続計画の策定 共通</p>	<p>(1) 業務継続計画の策定 感染症や非常災害の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するための、及び、非常時の体制で早期の業務再開を図るための計画（以下、「業務継続計画という。」）を策定し、その業務継続計画に従い必要な措置を講じていますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(23)①②&gt;            ○ 業務継続計画の策定、研修及び訓練の実施は事業者を実施が求められるものであるが、他のサービス事業者との連携等により行うことも差し支えない。            ○ 全ての従業者が参加できるようにすることが望ましい。            ○ 業務継続計画には以下の項目等を記載すること。            ①感染症に係る業務継続計画            ・平時からの備え（体制構築・整備、感染症防止に向けた取組みの実施、備蓄等の確保等）            ・初動対応            ・感染拡大防止体制の確立（保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係者との情報共有等）            ②災害に係る業務継続計画            ・平常時の対応（建物・設備の安全対策、電気・水道等のライフラインが停止した場合の対策、必要品の備蓄等）            ・緊急時の対応（業務継続計画発動基準、対応体制等）            ・他施設及び地域との連携</p> <p>(2) 研修及び訓練 従業者に対し、業務継続計画について周知するとともに、必要な研修及び訓練を定期的の実施していますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(23)③④&gt;            ○ 感染症及び災害に係る業務継続計画の具体的な内容を職員間に共有するとともに、平常時の対応の必要性や、緊急時の対応にかかる理解の励行を行うこと。定期的（年1回以上）な教育を開催するとともに、新規採用時には別に研修を実施することが望ましい。また、研修の実施内容についても記録すること。            ○ 業務継続計画に基づき、事業所内の役割分担の確認、感染症や災害が発生した場合に実践する支援の演習等を定期的（年1回以上）に実施すること。訓練の実施は、実施手法は問わないものの、机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが適切である。            ○ 感染症の業務継続計画に係る研修・訓練については、感染症の予防及びまん延の防止のための研修・訓練と一体的に実施することも差し支えない。</p> <p>(3) 業務継続計画の見直し 定期的業務継続計画の見直しを行い、必要に応じて業務継続計画の変更を行っていますか。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第35条の2第1項 省令第33条の2第1項 (R6.3.31までは努力義務)</p> <p>条例第35条の2第2項 省令第33条の2第2項 (R6.3.31までは努力義務)</p> <p>条例第35条の2第3項 省令第33条の2第3項 (R6.3.31までは努力義務)</p>
<p>61 定員の遵守 生介 自立 就移 就A 就B</p>	<p>利用定員を超えてサービスの提供を行ってはいませんか。 ※ 災害、虐待その他のやむを得ない事情がある場合は、この限りでない。</p> <p>&lt;解釈通知 第五の3(11)③&gt;            ○ サービスの提供に支障が生ずることがないように、原則として、利用定員を超えた利用者の受入を禁止するものであるが、次に該当する利用定員を超えた受入については、適正なサービスの提供が確保されることを前提とし、地域の社会資源の状況等から新規の利用者を受け入れる必要がある等やむを得ない事情が存する場合に限り、可能とする。            ①1日当たりの利用者の数            ・定員50人以下：定員×150/100以下            ・定員51人以上：定員+(定員-50)×125/100+75以下            ②過去3月間の利用者の数            ・定員12人以上：定員×開所日数×125/100以下            ・定員11人以下：(定員+3)×開所日数以下</p>	<p><input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>いる</p>	<p>条例第72条準用 省令第69条準用</p> <p>☞ ①②の基準を超えた利用は報酬減算（30%減算）の対象となります。 →「85(1) 定員超過利用減算」を参照</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠													
62 非常災害 対策  <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B	(1) 非常災害時の対策 消火設備その他非常災害に際して必要な設備を設けるとともに、非常災害に関する具体的計画を立て、非常災害時の関係機関への通報及び連絡体制を整備し、それらを定期的に従業者に周知していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第73条第1項準用 省令第70条第1項準用													
	<解釈通知 第四の3(19)> ①消火設備その他非常災害に際して必要な設備 消防法その他法令等に規定された設備 <input type="checkbox"/> 消防署等に確認してください。 ②非常災害に関する具体的計画 消防法施行規則第3条に規定する消防計画（防火管理者が作成する消防計画又は準ずる計画）、風水害・地震等の災害に対処するための計画 <input type="checkbox"/> 防災計画を作成してください。 ③関係機関への通報及び連絡体制の整備 火災等の災害時に、地域の消防機関へ速やかに通報する体制をとるよう従業者に周知徹底するとともに、日頃から消防団や地域住民との連携を図り、火災等の際に消火・避難等に協力してもらえ体制を作る															
	(2) 避難訓練等の実施 ① 非常災害に備えるため、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか。 ② 訓練の実施に当たって、地域住民の参加が得られるよう連携に努めていますか。 ※ 直近の避難訓練等の実施日等 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年 月 日</td> <td> <input type="checkbox"/>火災・<input type="checkbox"/>地震  <input type="checkbox"/>風水害・<input type="checkbox"/>その他               </td> <td> <input type="checkbox"/>従業者・<input type="checkbox"/>利用者  <input type="checkbox"/>消防関係者  <input type="checkbox"/>地域住民・<input type="checkbox"/>その他               </td> </tr> <tr> <td>年 月 日</td> <td> <input type="checkbox"/>火災・<input type="checkbox"/>地震  <input type="checkbox"/>風水害・<input type="checkbox"/>その他               </td> <td> <input type="checkbox"/>従業者・<input type="checkbox"/>利用者  <input type="checkbox"/>消防関係者  <input type="checkbox"/>地域住民・<input type="checkbox"/>その他               </td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width:20%;">防火管理者 氏名</td> <td style="width:30%;"></td> <td style="width:15%;">消防計画 届出日</td> <td style="width:35%; text-align: center;">年 月 日</td> </tr> </table>	実施日	内容	参加者	年 月 日	<input type="checkbox"/> 火災・ <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 風水害・ <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 従業者・ <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 消防関係者 <input type="checkbox"/> 地域住民・ <input type="checkbox"/> その他	年 月 日	<input type="checkbox"/> 火災・ <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 風水害・ <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 従業者・ <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 消防関係者 <input type="checkbox"/> 地域住民・ <input type="checkbox"/> その他	防火管理者 氏名		消防計画 届出日	年 月 日	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第73条第2項、第3項準用、 省令第70条第2項、第3項準用  【避難訓練等】 消防法施行規則 第3条第10項、第11項
	実施日	内容	参加者													
年 月 日	<input type="checkbox"/> 火災・ <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 風水害・ <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 従業者・ <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 消防関係者 <input type="checkbox"/> 地域住民・ <input type="checkbox"/> その他														
年 月 日	<input type="checkbox"/> 火災・ <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 風水害・ <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 従業者・ <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 消防関係者 <input type="checkbox"/> 地域住民・ <input type="checkbox"/> その他														
防火管理者 氏名		消防計画 届出日	年 月 日													
(3) 市町村防災計画に定められた浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設となっていますか。  ※ 避難確保計画を作成し、市に報告を行っていますか。 届出日 _____ 年 _____ 月 _____ 日  ※ 避難確保計画に基づき、避難訓練を行っていますか。 直近の実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	水防法・土砂災害防止法														
(4) 非常災害の発生の際にその事業を継続することができるよう、他の社会福祉施設との連携及び協力を行う体制を構築するよう努めていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第73条第4項														

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>6.3 衛生管理等 共通</p>	<p>(1) 設備等の衛生管理 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B                      利用者の使用する設備及び飲用に供する水について、衛生的な管理に努め、又は衛生上必要な措置を講ずるとともに、健康管理等に必要となる機械器具等の管理を適正に行っていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第93条第1項、第160条、第173条、第186条、第191条 省令第90条第1項、第171条、第184条、第197条、第202条 条例第36条第2項準用 省令第34条第2項準用
	<p>(1) - 2 設備等の衛生管理 <input type="checkbox"/>就定                      事業所の設備及び備品等について、衛生的な管理に努めていますか。</p>		
	<p>(2) 感染症等の発生及びまん延防止 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B                      事業所において感染症又は食中毒が発生し、又はまん延しないように次の各号に掲げる措置を講じていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(20)①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症又は食中毒が発生及びまん延を防止するための措置等について、必要に応じ保健所の助言、指導を求めるとともに、常に密接な連携を保つこと</li> <li>○ 特にインフルエンザ対策、腸管出血性大腸菌感染症対策、レジオネラ症対策等については、その発生及びまん延を防止するための措置について、別途通知等が発出されているので、これに基づき適切な措置を講じること</li> <li>○ 空調設備等により事業所内の適温の確保に努めること。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第93条第2項、第160条、第173条、第186条、第191条 省令第90条第2項、第171条、第184条、第197条、第202条 (R6.3.31までは努力義務)
	<p>一 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会を定期的に開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図っていますか。                      この場合において、委員会はテレビ電話装置等を活用する方法により開催することができるものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(20)②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染対策委員会は幅広い職種（例えば、施設長（管理者）、事務長、医師、看護職員、生活支援員、栄養士又は管理栄養士）により構成する。構成メンバーの責務及び役割分担を明確にするとともに、専任の感染対策を担当する者（感染対策担当者）を決めておくことが必要である。感染対策委員会は、おおむね3月に1回以上、定期的に開催するとともに、感染症が流行する時期等を勘案して必要に応じ随時開催する必要がある。</li> <li>○ 感染対策担当者は看護師であることが望ましい。</li> </ul> </div>		
<p>二 感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための指針を整備していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(20)②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指針には、平常時の対策及び発生時の対応を規定する。                          平常時の対策としては、事業所内の衛生管理（環境の整備、排泄物の処理、血液・体液の処理等）、日常の支援にかかる感染対策（標準的な予防策（例えば、血液・体液・分泌液・排泄物（便）などに触れるとき、傷や創傷皮膚に触れるときどのようにするかなどの取り決め）、手洗いの基本、早期発見のための日常の観察項目）等、発生時の対応としては、発生状況の把握、感染拡大の防止、医療機関や保健所、市町村における事業所関係課等の関係機関との連携、医療処置、行政への報告等が想定される。また、発生時における事業所内の連絡体制や前記の関係機関への連絡体制を整備し、明記しておくことも必要である。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない		

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
63 衛生管理等 (続き) <input type="checkbox"/> 共通	<p>三 従業者に対し、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止のための研修並びに感染症の予防及びまん延の防止のための訓練を定期的実施していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第四の3(20)②&gt;</p> <p>○ 従業者に対する研修の内容は、感染対策の基礎的内容等の適切な知識を普及・啓発するとともに、事業所における指針に基づいた衛生管理の徹底や衛生的な支援の励行を行うものとする。</p> <p>職員教育を組織的に浸透させていくためには、事業所が指針に基づいた研修プログラムを作成し、定期的な教育(年2回以上)を開催するとともに、新規採用時には必ず感染対策研修を実施することが重要である。また、調理や清掃などの業務を委託する場合には、委託を受けて行う者に対しても、施設の指針が周知されるようにする必要がある。また、研修の実施内容についても記録することが必要である。</p> <p>○ 平時から、実際に感染症が発生した場合を想定し、発生時の対応について、訓練(シミュレーション)を定期的(年2回以上)に行うことが必要である。訓練においては、感染症発生時において迅速に行動できるよう、発生時の対応を定めた指針及び研修内容に基づき、事業所内の役割分担の確認や、感染対策をした上での支援の演習などを実施するものとする。</p> <p>訓練の実施は、机上を含めその実施手法は問わないものの、机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが適切である。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	<p>(2) - 2 感染症等の発生及びまん延防止 <u>就定</u></p> <p>事業所において感染症が発生し、又はまん延しないように次の各号に掲げる措置を講じていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第36条第3項準用 省令第34条第3項準用
	<p>一 感染症の予防及びまん延防止のための対策を検討する委員会(感染対策委員会)を定期的開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図っていますか。</p> <p>この場合において、委員会はテレビ電話装置等を活用する方法により開催することができるものとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(24)②ア&gt;</p> <p>○ 委員会の構成メンバーの責任及び役割分担を明確にするるとともに、専任の感染対策を担当する者(感染対策担当者)を決めておくことが必要である。感染対策委員会は、おおむね6月に1回以上、定期的開催するとともに、感染症が流行する時期等を勘案して必要に応じ随時開催する必要がある。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>感染対策委員会未設置の場合              ⇒ <input type="checkbox"/> 現在検討中  <input type="checkbox"/> 法人単位で設置予定  <input type="checkbox"/> 事業所単位で設置予定  <input type="checkbox"/> 未定  <input type="checkbox"/> 未検討</p> </div>
	<p>二 感染症の予防及びまん延防止のための指針を整備していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(24)②イ&gt;</p> <p>○ 指針には平常時の対策及び発生時の対応を規定すること。</p> <p>・平常時の対策としては、事業所内の衛生管理(環境の整備等)、支援にかかる感染対策(手洗い、標準的な予防策)等、発生時の対応としては、発生状況の把握、感染拡大の防止、医療機関保健所、市町村における事業所関係課等の関係機関との連携、行政等への報告等。また、発生時における事業所内の連絡体制や関係機関への連絡体制を整備し、明記しておくことが必要である。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠										
6.3 衛生管理等 (続き) <input type="checkbox"/> 共通	<p>三 従業者に対し、感染症の予防及びまん延防止のための研修及び訓練を定期的実施していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(24)②ウ&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所における指針に基づいた衛生管理の徹底や衛生的な支援の励行を行うものとする。定期的な教育(年1回以上)を開催するとともに、新規採用時には感染対策研修を実施することが望ましい。また、研修の実施内容についても記録することが必要である。</li> <li>○ 平時から、実際に感染症が発生した場合を想定し、発生時の対応について、訓練(シミュレーション)を定期的(年1回以上)に行うことが必要である。訓練は、発生時の対応を定めた指針及び研修内容に基づき、事業所内の役割分担の確認や、感染対策をした上での支援の演習などを実施するものとする。訓練の実施は、実施手法は問わないものの、机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが適切である。</li> </ul> </div> <p>(3) 従業者の健康診断 <input type="checkbox"/> 共通</p> <p>常時使用する従業者に対し、健康診断を実施していますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 雇用時</p> <p><input type="checkbox"/> 定期健康診断(実施時期: )</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;労働安全衛生規則&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常時使用する労働者を雇い入れるときは、当該労働者に対し、医師による健康診断を行わなければならない。(第43条)</li> <li>○ 常時使用する労働者に対し、1年以内ごとに1回、定期に、医師による健康診断を行わなければならない。(第44条第1項)</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	労働安全衛生法 第66条第1項 労総安全衛生規則第 43条、第44条第1 項										
6.4 協力医療 機関 <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B	<p>利用者の病状の急変等に備えるため、あらかじめ、協力医療機関を定めていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第五の3(10)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所から近距離にあることが望ましい。</li> </ul> </div> <p>&lt;協力医療機関&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">①名称</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②所在地</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③協定書の有無</td> <td style="text-align: center;">有 ・ 無</td> </tr> <tr> <td>④協定年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日 ~ 年 月 日 (自動更新規定: 有 ・ 無)</td> </tr> <tr> <td>⑤診療科目</td> <td></td> </tr> </table>	①名称		②所在地		③協定書の有無	有 ・ 無	④協定年月日	年 月 日 ~ 年 月 日 (自動更新規定: 有 ・ 無)	⑤診療科目		<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第94条、第160 条、第173条、第186 条、第191条 省令第91条、第171 条、第184条、第197 条、第202条
①名称													
②所在地													
③協定書の有無	有 ・ 無												
④協定年月日	年 月 日 ~ 年 月 日 (自動更新規定: 有 ・ 無)												
⑤診療科目													

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠						
65 掲示  <input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B	<p>事業所の見やすい場所に、運営規程の概要、従業員の勤務の体制、協力医療機関その他の利用申込者のサービスの選択に資すると認められる重要事項を掲示していますか。または、上記の内容を記載した書面を事業所内に備え付け、かつ、これをいつでも関係者に自由に閲覧できるようにしていますか。</p> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☞ 利用者の特性や壁面のスペースがないなど、掲示が難しければ、利用者又は家族等が見やすい場所（入口に近い場所か相談室等）に「閲覧用ファイル」と表示して運営規程・重要事項説明書・パンフレット等を備え付け、利用者の閲覧に供してください。</p> </div> <p>&lt;掲示状況についてあてはまるものにチェックをつけてください。&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">掲示内容</td> <td> <input type="checkbox"/> 運営規程の概要      <input type="checkbox"/> 従業員の勤務体制  <input type="checkbox"/> 事故発生時の対応      <input type="checkbox"/> 苦情解決の体制  <input type="checkbox"/> 提供するサービスの第三者評価の実施状況  <input type="checkbox"/> その他サービスの選択に資すると認められる重要事項         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">掲示方法</td> <td> <input type="checkbox"/> 掲示  <input type="checkbox"/> ファイル等の備え付け         </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">掲示場所</td> <td> <input type="checkbox"/> 入り口付近      <input type="checkbox"/> 相談室  <input type="checkbox"/> その他（                      ）         </td> </tr> </table>	掲示内容	<input type="checkbox"/> 運営規程の概要 <input type="checkbox"/> 従業員の勤務体制 <input type="checkbox"/> 事故発生時の対応 <input type="checkbox"/> 苦情解決の体制 <input type="checkbox"/> 提供するサービスの第三者評価の実施状況 <input type="checkbox"/> その他サービスの選択に資すると認められる重要事項	掲示方法	<input type="checkbox"/> 掲示 <input type="checkbox"/> ファイル等の備え付け	掲示場所	<input type="checkbox"/> 入り口付近 <input type="checkbox"/> 相談室 <input type="checkbox"/> その他（                      ）	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第95条、第160条、第173条、第186条、第191条 省令第92条、第171条、第184条、第197条、第202条
掲示内容	<input type="checkbox"/> 運営規程の概要 <input type="checkbox"/> 従業員の勤務体制 <input type="checkbox"/> 事故発生時の対応 <input type="checkbox"/> 苦情解決の体制 <input type="checkbox"/> 提供するサービスの第三者評価の実施状況 <input type="checkbox"/> その他サービスの選択に資すると認められる重要事項								
掲示方法	<input type="checkbox"/> 掲示 <input type="checkbox"/> ファイル等の備え付け								
掲示場所	<input type="checkbox"/> 入り口付近 <input type="checkbox"/> 相談室 <input type="checkbox"/> その他（                      ）								
66 秘密保持等 (個人情報提供の同意)  <input type="checkbox"/> 共通	<p>他の指定事業者等に対して、利用者又はその家族に関する情報を提供する際は、あらかじめ文書により当該利用者又はその家族の同意を得ていますか。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(27)③&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業者が利用者の有する問題点や解決すべき課題等の個人情報を、他の事業者と共有するためには、あらかじめ文書により同意を得る必要があることを規定したもの</li> <li>○ この同意は、サービス提供開始時に利用者等から包括的な同意を得ておくことで足りるもの</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☞ 個人情報保護方針等の説明にとどまらず、「個人情報提供同意書」等により書面で同意を得てください。 また、ホームページへの写真掲載等は、個別の同意が必要です。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第38条第3項準用 省令第36条第3項準用						
67 情報の提供等  <input type="checkbox"/> 共通	<p>(1) 情報の提供 サービスを利用しようとする者が、適切かつ円滑に利用することができるように、当該事業者が実施する事業の内容に関する情報の提供を行うよう努めていますか。</p> <p>(2) 虚偽又は誇大広告 事業者について広告をする場合において、その内容が虚偽のもの又は誇大なものとなっていないですか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第39条第1項準用 省令第37条第1項準用  条例第39条第2項準用 省令第37条第2項準用						

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠			
68 利益供与等の禁止  共通	(1) 利益供与の禁止 一般相談支援事業若しくは特定相談支援事業を行う者若しくは他の障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者に対し、利用者又はその家族に対して当該事業者を紹介することの対償として、金品その他の財産上の利益を供与してはいませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第40条第1項準用 省令第38条第1項準用			
	(2) 利益收受の禁止 一般相談支援事業若しくは特定相談支援事業を行う者若しくは他の障害福祉サービスの事業を行う者等又はその従業者から、利用者又はその家族を紹介することの対償として、金品その他の財産上の利益を收受してはいませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第40条第2項準用 省令第38条第2項準用			
69 苦情解決  共通	(1) 苦情解決のための措置 提供したサービスに関する、利用者又はその家族からの苦情に迅速かつ適切に対応するため、苦情を受け付ける窓口を設置する等の必要な措置を講じていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第1項準用 省令第39条第1項準用			
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">苦情受付担当者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>苦情解決責任者</td> <td></td> </tr> <tr> <td>第三者委員</td> <td></td> </tr> </table> <p>☆ 苦情解決体制を重要事項説明書等に記載してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(29)①&gt;            ○ 「必要な措置」とは、具体的には、相談窓口、苦情解決の体制及び手順等当該事業所における苦情を解決するための措置を講ずること            ○ 措置の概要は、利用申込者にサービスの内容を説明する文書に記載し、事業所に掲示することが望ましい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>《参照》            「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針について」            (平成12年6月7日付け障第452号ほか、厚生省通知)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 事業所に「苦情解決責任者」と「苦情受付担当者」を置く。                (苦情解決責任者) 施設長・理事長・管理者等 (苦情受付担当者) 職員のうち適当な者</li> <li>2 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や状況に配慮した適切な対応を図るために「第三者委員」を設置する。</li> </ol> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>☞ 指針では、第三者委員は苦情解決を円滑・円満に図ることができる者等(例：監事又は監査役、社会福祉士、民生委員・児童委員、大学教授、弁護士など)であり、複数が望ましいとされています。なお、明文の制限はありませんが、親族は避けてください。</p> <p>☞ 重要事項説明書には、苦情等相談窓口として事業所の窓口(苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員)のほか、事業所以外の窓口として、次の内容を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①市町村の窓口 利用者が支給決定を受けた市町村の障害福祉担当課等の名称・連絡先</li> <li>②滋賀県運営適正化委員会の窓口</li> </ol> </div>			苦情受付担当者		苦情解決責任者
苦情受付担当者						
苦情解決責任者						
第三者委員						

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠
69 苦情解決 (続き)  共通	(2) 苦情受付の記録 苦情を受け付けた場合に、当該苦情の内容等を記録していますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3 (29)②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 苦情に対し、事業所が組織として迅速かつ適切に対応するため、当該苦情の受付日、内容等を記録することを義務付けたもの</li> <li>○ 事業所は、苦情がサービスの質の向上を図る上での重要な情報であるとの認識に立ち、苦情の内容を踏まえ、サービスの質の向上に向けた取組を自ら行うべきもの</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 苦情の受付日、苦情のポイントや対応案、対応結果を記載できる様式を定めてください。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第2項準用 省令第39条第2項準用
	(3) 市町村が行う調査等への協力、改善 提供したサービスに関し、法第10条第1項の規定により市町村が行う報告若しくは文書その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して市町村が行う調査に協力するとともに、市町村から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第3項準用 省令第39条第3項準用
	(4) 県知事が行う調査等への協力、改善 提供したサービスに関し、法第11条第2項の規定により県知事が行う報告若しくはサービスの提供の記録、帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して県知事が行う調査に協力するとともに、県知事から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第4項準用 省令第39条第4項準用
	(5) 県知事又は市町村長が行う調査等への協力、改善 提供したサービスに関し、法第48条第1項の規定により県知事又は市町村長が行う報告若しくは帳簿書類その他の物件の提出若しくは提示の命令又は当該職員からの質問若しくは事業所の設備若しくは帳簿書類その他の物件の検査に応じ、及び利用者又はその家族からの苦情に関して県知事又は市町村が行う調査に協力するとともに、県知事又は市町村長から指導又は助言を受けた場合は、当該指導又は助言に従って必要な改善を行っていますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第5項準用 省令第39条第5項準用
	(6) 改善内容の報告 県知事、市町村又は市町村長から求めがあった場合には、上記(3)から(5)までの改善の内容を県知事、市町村又は市町村長に報告していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第6項準用 省令第39条第6項準用
	(7) 運営適正化委員会が行う調査等への協力 社会福祉法第83条に規定する運営適正化委員会が同法第85条の規定により行う調査又はあっせんにできる限り協力していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第41条第7項準用 省令第39条第7項準用

◆ 運営に関する基準

項目	点検のポイント	点検	根拠						
70 事故発生時の対応 共通	<p>(1) 事故発生時の措置            利用者に対するサービスの提供により事故が発生した場合は、県、市町村、当該利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(30)&gt;            ○ 利用者が安心してサービスの提供を受けられるよう、事業者はサービス提供により事故が発生した場合は、県、市町村及び利用者の家族等に連絡を行うとともに必要な措置を講じること            ○ このほか、以下の点に留意すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスの提供により事故が発生した場合の対応方法をあらかじめ定めておくことが望ましいこと</li> <li>また、事業所に自動体外式除細動器（AED）を設置することや救命講習等を受講することが望ましいこと</li> <li>・ 事故が生じた際にはその原因を究明し、再発生を防ぐための対策を講じること。              なお、「福祉サービスにおける危機管理（リスクマネジメント）に関する取り組み指針」が示されているので、参考にされたい。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第42条準用 省令第40条第1項準用						
	<p>(2) 事故の記録            上記(1)の事故の状況及び事故に際して採った処置について、記録していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>次のうち作成しているものにチェックをしてください。</p> <p><input type="checkbox"/> 事故報告書</p> <p><input type="checkbox"/> ヒヤリ・ハット事例</p> <p><input type="checkbox"/> 事故対応（危機管理）マニュアル</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第42条準用 省令第40条第2項準用						
	<p>(3) 損害賠償            利用者に対するサービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行っていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の3(30)&gt;            ○ サービスの提供により賠償すべき事故が発生した場合は、損害賠償を速やかに行わなければならない            ○ 賠償すべき事態において速やかに賠償を行うため、損害賠償保険に加入しておくことが望ましいこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>損害賠償保険の加入            賠償すべき事態において賠償を行うための損害賠償保険に加入していますか。</p> <p>&lt;保険の概要を記入してください&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">賠償保険名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>主な補償内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>加入期間</td> <td></td> </tr> </table> <p>&lt;参考&gt; 過去の保険適用の事例の有無 ( <input type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無)</p> </div>	賠償保険名		主な補償内容		加入期間		<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第42条準用 省令第40条第3項準用
賠償保険名									
主な補償内容									
加入期間									

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>71 虐待の防止</p> <p><b>共通</b></p>	<p>虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じていますか。</p> <p>一 虐待の防止のための対策を検討する委員会を定期的開催するとともに、その結果について、従業員に周知徹底を図っていますか。（委員会はテレビ電話装置等を活用して行うことができる。）</p> <p>＜解釈通知 第三の3(31)＞            ○虐待防止委員会の役割            ・虐待防止のための計画づくり（虐待防止の研修、労働環境・条件を確認・改善するための実施計画づくり、指針の作成）            ・虐待防止のチェックとモニタリング（虐待が起こりやすい職場環境の確認等）            ・虐待発生後の検証と再発防止策の検討（虐待やその疑いが生じた場合、事案検証の上、再発防止策を検討、実行）            ○虐待防止委員会の設置に向けては、構成員の責務及び役割分担を明確にするとともに、専任の虐待防止担当者（必置）を決めておくことが必要であり、虐待防止委員会の構成員には、利用者やその家族、専門的な知見のある外部の第三者等も加えることが望ましい。なお、事業所単位でなく、法人単位での委員会設置も可。虐待防止委員会の開催に必要な人数については事業所の管理者や虐待防止担当者（必置）が参画していれば最低人数は問わないが、委員会での検討結果を従業員に周知徹底することが必要である。なお、虐待防止委員会は、少なくとも1年に1回は開催することが必要であるが、身体拘束等適正化検討委員会と関係する職種等が相互に関係が深いと認めることも可能であることから、虐待防止委員会と一体的に設置・運営することも差し支えない。            ○虐待防止委員会の具体的対応            ア 虐待（不適切な対応事例も含む。）が発生した場合、当該事案について報告するための様式を整備すること。            イ 従業員は、虐待の発生ごとにその状況、背景等を記録するとともに、アの様式に従い、虐待について報告すること。            ウ 虐待防止委員会において、イにより報告された事例を集計し、分析すること。            エ 事例の分析に当たっては、虐待の発生時の状況等を分析し、虐待の発生原因、結果等をとりまとめ、当該事例の再発防止策を検討すること。            オ 労働環境・条件について確認するための様式を整備するとともに、当該様式に従い作成された内容を集計、報告し、分析すること。            カ 報告された事例及び分析結果を従業員に周知徹底すること。            キ 再発防止策を講じた後に、その効果について検証すること。            ○虐待防止のための指針に定める項目            ア 事業所における虐待防止に関する基本的な考え方            イ 虐待防止委員会その他施設内の組織に関する事項            ウ 虐待防止のための職員研修に関する基本方針            エ 施設内で発生した虐待の報告方法等の方策に関する基本方針            オ 虐待発生時の対応に関する基本方針            カ 利用者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針            キ その他虐待防止の適正化の推進のために必要な基本方針</p> <p>二 従業員に対し、虐待の防止のための研修を定期的実施していますか。</p> <p>＜解釈通知 第三の3(31)＞            ○指針を作成した事業所においては指針に基づき虐待防止の徹底を図るものとする。            ○事業所の虐待防止委員会が作成した研修プログラムを実施し、定期的な研修を実施（年1回以上）するとともに、新規採用時には必ず虐待防止の研修を実施することが重要である。また、研修の実施内容について記録することが必要である。なお、研修の実施、施設内で行う職員研修及び協議会又は基幹相談支援センター等が実施する研修に事業所が参加した場合でも差し支えない。</p> <p>三 前2号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置いていますか。</p> <p>虐待防止担当者職名・氏名 _____</p> <p>＜解釈通知 第三の3(31)＞            ○虐待防止のための担当者については、サービス提供責任者等を配置すること。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない</p>	<p>条例第42条の2準用 省令第40条の2準用</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
72 身体拘束等の禁止  [生介] [自立] [就移] [就A] [就B]	(1) 身体拘束等の禁止 サービスの提供に当たっては、利用者又は他の利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為（身体拘束等）を行っていませんか。	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	条例第 37 条の 2 第 1 項 省令第 35 条の 2 第 1 項
	(2) 身体拘束等の記録 やむを得ず身体拘束等を行う場合には、その様態及び時間、その際の利用者の心身の状況並びに緊急やむを得ない理由その他必要な事項を記録していますか。  <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> <p>☞ やむを得ず行う身体拘束等、本人の行動制限については、組織として慎重に検討し、個別支援計画にも記載して本人・家族に十分説明し、同意を得て行うものとし、本人の態様や措置の内容を記録してください。</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>《参照》            「障害者福祉施設等における障害者虐待の防止と対応の手引き」            (H30.6 厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活支援推進課)</p> <p>(1) やむを得ず身体拘束を行う場合の 3 要件            ① 切迫性      ② 非代替性      ③ 一時性</p> <p>(2) やむを得ず身体拘束を行うときの手続き            ① 組織による決定と個別支援計画への記載            ② 本人・家族への十分な説明            ③ 必要な事項の記録            ④ 身体拘束廃止未実施減算の創設</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 37 条の 2 第 2 項 省令第 35 条の 2 第 2 項
	(3) 身体拘束等の適正化 身体拘束等の適正化を図るため、次に掲げる措置を取っていますか。  一 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会（身体拘束適正化検討委員会）を定期的で開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図っていますか。 （委員会はテレビ電話装置等を活用して行うことができる。）  <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;解釈通知 第三の 3 (26) ②&gt;</p> <p>○ 委員会の構成員の責務及び役割分担を明確にするとともに、専任の身体拘束等の適正化対応策を担当する者を決めておくことが必要である。身体拘束適正化検討委員会には、第三者や専門家を活用することが望ましい。事業所単位でなく、法人単位での委員会設置も可能。なお、身体拘束適正化検討委員会は、少なくとも 1 年に 1 回は開催することが望ましいが、虐待防止委員会と一体的に設置・運営することも差し支えない。</p> <p>○ 身体拘束適正化検討委員会における具体的な対応</p> <p>ア 身体拘束等について報告するための様式を整備すること。</p> <p>イ 従業者は、身体拘束等の発生ごとにその状況、背景等を記録するとともに、アの様式に従い、身体拘束等について報告すること。</p> <p>ウ 身体拘束適正化検討委員会において、イにより報告された事例を集計し、分析すること。</p> <p>エ 事例の分析に当たっては、身体拘束等の発生時の状況等を分析し、身体拘束等の発生原因、結果等を取りまとめ、当該事例の適正性と適正化策を検討すること。</p> <p>オ 報告された事例及び分析結果を従業者に周知徹底すること。</p> <p>カ 適正化策を講じた後に、その効果について検証すること。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第 37 条の 2 第 3 項準用 省令第 35 条の 2 第 3 項準用

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>7 2 身体拘束等の禁止 (続き)</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>二 身体拘束等の適正化のための指針を整備していますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(26)③&gt; ○ 身体拘束等の適正化のための指針には、次のような項目を盛り込むこと。 ア 事業所における身体拘束等の適正化に関する基本的な考え方 イ 身体拘束適正化検討委員会その他事業所内の組織に関する事項 ウ 身体拘束等の適正化のための職員研修に関する基本方針 エ 事業所内で発生した身体拘束等の報告方法等の方策に関する基本方針 オ 身体拘束等発生時の対応に関する基本方針 カ 利用者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 キ その他身体拘束等の適正化の推進のために必要な基本方針</p> <p>三 従業者に対し、身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施していますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(26)④&gt; ○ 身体拘束等の適正化のための研修の実施に当たっては、身体拘束等の適正化の基礎的内容等適切な知識を普及・啓発するとともに、事業所における指針に基づき、適正化の徹底を図るものとする。事業所が指針に基づいた研修プログラムを作成し、定期的な研修を実施(年一回以上)するとともに、新規採用時には必ず身体拘束等の適正化の研修を実施することが重要である。また、研修の実施内容について記録することが必要である。なお、研修の実施に当たっては、事業所内で行う職員研修で差し支えなく、他の研修と一体的に実施する場合や他の研修プログラムにおいて身体拘束等の適正化について取り扱う場合、例えば、虐待防止に関する研修において身体拘束等の適正化について取り扱う場合は、身体拘束等の適正化のための研修を実施しているものとみなして差し支えない。</p> <p>※(2)、(3)一、二、三のいずれかの取組みが実施できていない場合、令和5年4月1日以降、事実発生日の翌月から身体拘束廃止未実施減算を適用する必要があります。詳細は「身体拘束廃止未実施減算」の項目を参照してください。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	
<p>7 3 地域との連携等</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>事業の運営に当たっては、地域住民又はその自発的な活動等との連携及び協力を行う等の地域との交流に努めていますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第四の3(22)&gt; ○ 事業所が地域に開かれたものとして運営されるよう、地域の住民やボランティア団体等との連携及び協力を行う等の地域との交流に努めなければならないこと。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>条例第77条準用 省令第74条準用</p>
<p>7 4 会計の区分 <input type="checkbox"/> 共通</p>	<p>事業所ごとに経理を区分するとともに、指定事業の会計をその他の事業の会計と区分していますか。</p> <p>&lt;解釈通知 第三の3(32)&gt; ○ 当該事業の会計とその他の事業の会計を区分しなければならないこと</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>条例第43条準用 省令第41条準用</p>

◆ 運営に関する基準

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
75 記録の整備  共通	<p>(1) 記録の整備 共通</p> <p>従業者、設備、備品及び会計に関する諸記録を整備していますか。</p> <p>☞ 従業者、設備、備品及び会計等に関する諸記録は文書により整備しておいてください。</p> <p>(2) - 1 記録の保存 生介 自立 就移 就A 就B</p> <p>利用者に対するサービスの提供に関する諸記録のうち、少なくとも次に掲げる記録については、当該サービスを提供した日から少なくとも5年以上保存していますか。</p> <p>一 サービスの提供に係る記録</p> <p>二 個別支援計画</p> <p>三 身体拘束等の記録（省令第35条の2第2項）</p> <p>四 苦情の内容等の記録（省令第39条第2項）</p> <p>五 事故の状況及び事故に際して採った処置の記録（省令第40条第2項）</p> <p>(2) - 2 記録の保存 就定</p> <p>利用者に対するサービスの提供に関する諸記録を整備し、当該サービスを提供した日から5年間保存していますか。</p> <p>一 サービスの提供に係る記録</p> <p>二 個別支援計画</p> <p>三 市町村への通知に係る記録</p> <p>四 苦情の内容等に係る記録</p> <p>五 事故の状況及び事故対応に係る記録</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	条例第78条第1項 準用 省令第75条第1項 準用  条例第78条第2項 準用 省令第75条第2項 準用  条例第195条の11 第2項準用 省令第206条の11 第2項準用
76 変更の届出等  共通	<p>(1) 指定事項の変更</p> <p>指定に係る事項に変更があったとき、10日以内にその旨を市長に届け出ていますか。</p> <p>&lt;届出先&gt; 大津市障害福祉課</p> <p>&lt;変更に係る指定事項&gt;</p> <p>① 事業所の名称及び所在地</p> <p>② 申請者の名称・主たる事務所所在地、代表者氏名・住所</p> <p>③ 申請者の定款、寄附行為等及びその登記事項証明書又は条例等（当該指定に係る事業に関するものに限る。）</p> <p>④ 事業所の平面図</p> <p>⑤ 事業所の管理者・サービス提供責任者の氏名、経歴、住所</p> <p>⑥ 運営規程</p> <p>⑦ 協力医療機関の名称・診療科名及び契約の内容に関する事項</p> <p>⑧ 事業を再開したとき</p> <p>☞ 指定申請書や各種届出の副本については、紛失又は散逸しないよう、整理し、保管しておいてください。</p> <p>(2) 事業の廃止又は休止</p> <p>事業を廃止し、又は休止しようとするときは、その廃止又は休止の日の1月前までに、その旨を市長に届け出ていますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	法第46条



◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

《参照》

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準」

（平成 18 年厚生労働省告示第 523 号）（注）令和 3 年 3 月 23 日厚生労働省告示第 87 号改正現在

別表「介護給付費等単位数表」

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
78 基本事項  共通	<p>(1) 費用の算定</p> <p>サービスに要する費用の額は、告示別表平「介護給付費等単位数表」により算定する単位数に別に厚生労働大臣が定める一単位の単価を乗じて得た額を算定していますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	告示一
	<p>(2) 金額換算の際の端数処理</p> <p>(1) の規定により、サービスに要する費用の額を算定した場合において、その額に 1 円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てて算定していますか。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	告示二
	<p>(3) 各サービスとの算定関係</p> <p>介護給付費等について、同一時間帯に複数の障害福祉サービスに係る報酬を算定していませんか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の 1 (2)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援（日中活動サービス）を受けている時間帯に居宅介護（家事援助が中心の場合）の所定単位数は算定できない。</li> <li>○ 日中活動サービスの報酬については、1 日当たりの支援に係る費用を包括的に評価していることから、当該サービスの報酬を算定した場合（宿泊型自立訓練を除く。）、同一日に他の日中活動サービスの報酬は算定できない。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> いる	

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
79 生活介護 サービス費  <u>生介</u>	(1) 基本報酬の算定 生活介護事業所における生活介護サービス費については、利用定員及び障害支援区分に応じて所定単位数を算定していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	告示別表 第6の1注1
	(2) 短時間利用減算 前3月における事業所の利用者のうち、当該事業所の平均利用時間（前3月において当該利用者が当該事業所の利用した時間の合計時間を当該利用者が当該事業所の利用した日数で除して得た時間）が5時間未満の利用者の割合が100分の50以上である場合に、100分の70を所定単位数に乗じて得た数を算定（減算）していますか。  <留意事項通知 第二の2(6)②(四)> ○「利用時間」には送迎のみを実施する時間は含まれない ○送迎に長時間を要する利用者については、利用時間が5時間未満の利用者の割合の算定から除く	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の1注5(3)
	(3) 開所時間減算 指定基準に規定する運営規程に定める営業時間が、別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合には、所定単位数に別に厚生労働大臣が定める割合を乗じて得た数を算定(減算)していますか。  【厚生労働大臣が定める基準及び割合】 《参照》（平成18年厚生労働省告示第550号） ○営業時間が4時間以上6時間未満の場合 100分の70 ○営業時間が4時間未満の場合 100分の50  <留意事項通知 第二の2(6)②(三)> ○「営業時間」には送迎のみを実施する時間は含まれない ○個々の利用者の実利用時間は問わないものであり、6時間以上の開所で、利用者の事情等によりサービス提供時間が6時間未満となった場合は減算対象とならない	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の1注6
	(4) 大規模事業所の基本報酬 一体的な運営が行われている利用定員が81人以上の事業所において、サービスを行った場合には、所定単位数の1000分の991に相当する単位数を算定していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の1注7
	(5) 医師未配置減算 医師が配置されていない場合は、1日に月12単位を減算していますか。  <留意事項通知 第二の2(6)②(七)> ○事業所において看護師等による利用者の健康状態の把握や健康相談等が実施され、必要に応じて医療機関への通院等により対応することが可能な場合に限り医師を配置しない取扱いとすることができることとし、その場合にあっては所定単位数を減算するもの。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の1注8  【医師配置の目安】 医師が健康管理や相談等のために、生活介護事業所に原則毎月1回以上の勤務を行っていることが必要なので、以下の場合は未配置とし、「医師未配置減算」を適用する必要があります。 ・医師が年に数回、健康診断や予防接種のためだけに来所し、診察等をする場合 ・嘱託医契約はあるものの、勤務実態がほとんどない場合（実質的な協力医療機関になっている場合）

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
80 生活訓練 サービス費  <u>自立</u>	<p>(1) 基本報酬の算定  <u>自立訓練（生活訓練）</u>事業所における生活訓練サービス費については、次の区分により、所定単位数を算定していますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活訓練サービス費（Ⅰ） … 通所により行った場合            事業所においてサービスを行った場合に、利用定員に応じ、1日につき所定単位数を算定する。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活訓練サービス費（Ⅱ） … 居宅訪問により行った場合</p> <p>① 事業所に置くべき従業員のうちいずれかの職種の者が、利用者の居宅を訪問してサービスを行った場合に、個別支援計画に位置付けられた内容のサービスを行うのに要する標準的な時間で所定単位数を算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)①(ニ)&gt;            ○ 日中活動サービスの利用日以外の日、利用者の居宅を訪問してサービスを提供した場合に算定する。            ○ 具体的な内容は次のとおり。            ア 日常生活動作能力の維持及び向上を目的として行う各種訓練等及びこれらに関する相談援助            イ 食事、入浴、健康管理等居宅における生活に関する訓練及び相談援助            ウ 地域生活のルール、マナーに関する相談援助            エ 交通機関、金融機関、役所等の公共機能活用に関する訓練及び相談援助            オ その他必要な援助</p> </div> <p>② 従業者が視覚障害者の利用者の居宅を訪問する体制を整えているものとして市に届け出た事業所において、専門的訓練を行った場合に、1日につき所定単位数を算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)①(三)&gt;            ○ 専門的訓練とは、一定の研修等を受講した者が行う、歩行訓練や日常生活訓練等を行うもの</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 生活訓練サービス費（Ⅲ） … 宿泊型自立訓練の場合            標準利用期間が2年間とされる利用者に対し、宿泊型自立訓練を行った場合に、利用期間に応じ1日につき所定単位数を算定する。</p> <p><input type="checkbox"/> 生活訓練サービス費（Ⅳ） … 宿泊型自立訓練の場合            標準利用期間が3年間とされる利用者に対し、宿泊型自立訓練を行った場合に、利用期間に応じ1日につき所定単位数を算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)①(四)&gt;            ○ (Ⅲ)及び(Ⅳ)については、日中、一般就労又は障害福祉サービスを利用する者を対象者として想定しており、具体的には、特別支援学校を卒業して就職した者、日中の生活訓練で一定期間訓練を行ってきた者等に対し算定する。            ○ 宿泊型自立訓練を利用している日に、日中、外部又は同一敷地内の障害福祉サービスを利用した場合は、(Ⅲ)又は(Ⅳ)と当該障害福祉サービスの報酬いずれも算定できる。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない	告示別表 第11の1注1～注4

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
80 生活訓練 サービス費 （続き） 自立	<p>(2) 標準利用期間超過減算</p> <p>利用者のサービス利用期間の平均値が、厚生労働省の規則第6条の6第2号に掲げる標準利用期間（2年間、ただし、長期入院又は入所していた障害者については3年間）に6月間を加えて得た期間を超えている場合に、100分の95を所定単位数に乗じて得た数を算定（減算）していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(11)&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象となる障害福祉サービス 自立訓練（生活訓練）（宿泊型自立訓練を除く）</li> <li>○ 利用者（サービス利用開始から1年を超えていない者を除く）ごとの利用期間の平均値が標準利用期間に6月間を加えて得た期間を超えている1月間について、当該サービスの利用者全員につき減算する。</li> <li>○ 利用者ごとの利用期間については、当該利用者のサービス利用開始日から各月の末日までの間の月数を算出するものとする。この場合において、サービス利用開始日が月の初日の場合にあってはサービス利用開始日の属する月を含み、月の2日目以降の場合にあっては当該月を含まず、翌月以降から起算する。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の1注6(3)
	<p>(3) 特別地域加算</p> <p>別に厚生労働大臣が定める地域に居住している利用者に対して、事業所に置くべき従業者が、当該利用者の居宅を訪問してサービスの提供を行った場合は、1回につき所定単位数の100分の15に相当する単位数を所定単位数に加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める地域】</b></p> <p>《参照》（平成21年厚生労働省告示第176号）</p> <p>特定農山村地域における農林業等の活性化のための基盤整備の促進に関する法律に基づく特定農山村地域 → 木戸学区、小松学区</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の1注6の2

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠																
<p>81 就労移行 支援 サービス費</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span></p>	<p>(1) 基本報酬の算定 就労移行支援事業所における就労移行支援サービス費については、次の区分により、利用定員及び市長に届け出た就労定着者の割合に応じ、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 就労移行支援サービス費（Ⅰ）… 一般の事業所の場合 単独で就労することが困難であるため、就労のための支援が必要な者に対して、サービスを行った場合に、所定単位数を算定する。</p> <table border="1" data-bbox="359 593 1061 840"> <thead> <tr> <th></th> <th>前々年度</th> <th>前年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続して6月以上雇用されている者の数※</td> <td></td> <td></td> <td>a</td> </tr> <tr> <td>利用定員</td> <td></td> <td></td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>就労定着割合 (a ÷ b)</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※例えば令和2年10月1日に就職した者は、令和3年3月31日に6月に達したものとなる。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)①(一)&gt; ○ 利用定員及び利用定員に対する就労定着者の割合（当該年度の前年度又は前々年度において、就労移行支援を受けた後就労（企業等との雇用契約に基づく就労をいい、労働時間等労働条件の内容は問わない。ただし、就労継続支援A型事業所の利用者としての移行及び施設外支援の対象となるトライアル雇用は除く。）し、就労を継続している期間が6月に達した者の合計数を当該前年度及び前々年度の利用定員（利用定員が年度途中で変更になった場合は、当該年度の各月の利用定員の合計数を当該各月の数で除した数）の合計数で除して得た割合をいう。）に応じ、基本報酬を算定する。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)①(四)&gt; ○ 令和3年度における就労移行支援サービス費の算定に係る就労定着者の割合の算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、令和2年度の実績を用いないことも可能。 具体的には、次のいずれかの2ヵ年度で算出する。 （ア）令和元年度及び令和2年度 （イ）平成30年度及び令和元年度 なお、令和元年度に新規に指定を受けた場合の実績の算出については、留意事項通知第二の3(3)①(二)参照。</p> <p><input type="checkbox"/> 就労移行支援サービス費（Ⅱ）… あん摩マッサージ指圧師等養成施設として認定されている事業所の場合 あん摩マッサージ指圧師免許、はり師免許又はきゅう師免許を取得することにより、就労を希望する者に対して、サービスを行った場合に、所定単位数を算定する。</p>		前々年度	前年度	合計	連続して6月以上雇用されている者の数※			a	利用定員			b	就労定着割合 (a ÷ b)				<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>告示別表 第12の1注1～注4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>令和5年度における就労移行支援サービス費の算定に係る就労定着者の割合の算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、次のいずれかで算出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度及び令和4年度</li> <li>・平成30年度及び令和元年度</li> </ul> </div>
	前々年度	前年度	合計																
連続して6月以上雇用されている者の数※			a																
利用定員			b																
就労定着割合 (a ÷ b)																			

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>81 就労移行 支援 サービス費</p> <p>(続き)</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span></p>	<p>(2) 事業指定から2年間の場合 事業所が、その指定を受けた日から2年度間は、就労定着者の割合が100分の30以上、100分の40未満である場合とみなして、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)①(ニ)&gt;</p> <p>○ ただし、2年度目において、初年度の就労定着者の割合が100分の40以上となる場合は、初年度の実績に応じて基本報酬を算定しても差し支えない。3年度目における就労定着者の割合については、「初年度の利用定員に100分の30を乗じた数」と「2年度目において、就労移行支援を受けた後就労し、就労を継続している期間が6月に達した者」の合計数を初年度及び2年度目の利用定員の合計数で除して得た割合とすることができる。</p> <p>○ 年度途中で指定された事業所については、2年間(24月)は100分の30以上、100分の40未満の場合であるとみなして基本報酬を算定する。支援の提供開始から2年度目における就労定着者の割合については、支援の提供を開始した日から1年間において就労支援を受けた後就労し、就労を継続している期間が6月に達した者の数を当該1年間の利用定員で除して得た割合に応じて、基本報酬を算定しても差し支えない。また支援の提供を開始してから2年(24月)経過した日の属する月から当該年度の3月までの就労定着者の割合については、「1年目(1月～12月)の利用定員に100分の30を乗じた数」と「2年目(13月～24月)において、就労移行支援を受けた後就労し、就労を継続している期間が6月に達した者」の合計数を1年目及び2年度目の利用定員の合計数で除して得た割合とすることができる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 令和2年4月1日に新規指定を受けた場合で、初年度就労定着者が0人、2年度目の就労定着者が10人、両年度とも定員が20人であった場合の3年度目(令和4年度)における就労定着者の割合  <math>(20 \times 30 / 100) + 10 \text{ 人} / (20 \text{ 人} + 20 \text{ 人}) = 0.4</math> 就労定着者の割合  <math>\Rightarrow 100</math> 分の 40</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の1注4の2</p>
	<p>(3) 標準利用期間超過減算 利用者のサービス利用期間の平均値が、厚生労働省の規則第6条の8に規定する標準利用期間(2年間、ただし、あん摩マッサージ指圧師等養成施設を利用する場合は3年間又は5年間)に6月間を加えて得た期間を超えている場合に、100分の95を所定単位数に乗じて得た数を算定(減算)していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; display: flex; align-items: center;"> <div style="flex: 1;">利用者のサービス利用期間の平均値</div> <div style="flex: 1; border: 1px solid black; width: 100px; height: 20px;"></div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(11)&gt;</p> <p>○ 利用者(サービス利用開始から1年を超過していない者を除く)ごとの利用期間の平均値が標準利用期間に6月間を加えて得た期間を超えている1月間について、当該サービスの利用者全員につき減算する。</p> </div>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の1注5(3)</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>82 就労継続支援A型サービス費</p> <p><b>就A</b></p>	<p>(1) 基本報酬の算定 就労継続支援A型事業所における就労継続支援A型サービス費については、次の区分により、利用定員及び市長に届け出た評価点に応じ、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①(-)&gt; ○ 当該A型事業所における利用定員、人員配置及び評価点（令和3年厚生労働省告示第88号の規定により算出される評価点）に応じ、算定する。</p> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援A型サービス費（Ⅰ） A型事業所（別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして市に届け出たものに限る。）において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を算定する。</p> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b> 《参照》（平成18年厚生労働省告示第551号） ○ A型事業所ごとに置くべき職業指導員及び生活指導員の総数が、常勤換算方法で、前年度の利用者の数の平均値を7.5で除して得た数以上であること。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①(-)ア&gt; ○ A型サービス費(Ⅰ)については、従業者の員数が利用者の数を7.5で除して得た数以上であること。</p> <p>☞ 手厚い就労支援体制がとられている場合に算定</p> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援A型サービス費（Ⅱ）</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①(-)イ&gt; ○ A型サービス費(Ⅱ)については、サービス費(Ⅰ)以外の事業所であって、従業者の員数が利用者の数を10で除して得た数以上であること。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p> <p>☛ 令和5年度における就労継続支援A型サービス費（Ⅰ）の算定に係る「労働時間」のスコアの算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、平成30年度、令和元年度、令和4年度のいずれかの年度の実績で算出することも可能です。</p> <p>☛ 令和5年度における就労継続支援A型サービス費（Ⅰ）の算定に係る「生産活動」のスコアの算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、平成30年度及び令和元年度、令和3年度及び令和4年度のいずれかの実績で算出することも可能です。 ※それ以外の項目は令和4年度実績で評価</p>	<p>告示別表 第13の1注1～注3</p>
	<p>(2) 事業指定から1年間の場合 新規指定の事業所において、初年度は、評価点（令和3年厚生労働省告示第88号の規定により算出される評価点）が80点以上105点未満とみなし、年度途中で指定された事業所においては、初年度及び2年度目は、評価点が80点以上105点未満の場合であるとみなして、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①(ニ)&gt; ○ 新規に指定を受けた日から6月以上1年未満の間は、指定を受けた日から6月間における雇用契約を締結していた利用者の1日の平均労働時間数に応じ、基本報酬を算定することができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第13の1注3の2</p>
	<p>(3) 自己評価未公表減算について 就労継続支援A型サービス費を算定するに当たり算出する評価点を、インターネットの利用その他の方法により公表していない場合に減算を行っていますか。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)①(四)&gt; 令和3年度における就労継続支援A型サービス費の算定に係る評価点の算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、特例的な取扱いを可能としている。具体的にはスコア留意事項通知を参照すること。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第13の1注4</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>83 就労継続支援B型サービス費</p> <p><b>就B</b></p>	<p>(1) 基本報酬の算定 就労継続支援B型事業所における就労継続支援B型サービス費については、次の区分により、利用定員及び平均工賃月額に応じ、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)②(-)&gt; ○ 当該B型事業所における利用定員、人員配置及び前年度の平均工賃月額に応じ、算定する。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援B型サービス費（Ⅰ）</p> <p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして市に届け出たB型事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を算定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>                      &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号）                      ○ B型事業所ごとに置くべき職業指導員等の総数が、常勤換算方法で、前年度の利用者の数の平均値を7.5で除して得た数以上であること。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)②(-)ア&gt;                      ○ B型サービス費(Ⅰ)については、<u>工賃向上計画</u>を作成している事業所で、<u>従業者の員数が利用者の数を7.5で除して得た数以上であること。</u></p> </div> <p>☞ 手厚い就労支援体制がとられている場合に算定</p> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援B型サービス費（Ⅱ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)②(-)イ&gt;                      ○ B型サービス費(Ⅱ)については、サービス費(Ⅰ)以外の事業所であって、<u>工賃向上計画</u>を作成し、<u>従業者の員数が利用者の数を10で除して得た数以上であること。</u></p> </div> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援B型サービス費（Ⅲ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)②(-)イ&gt;                      ○ B型サービス費(Ⅲ)については、<u>従業者の員数が利用者の数を7.5で除して得た数以上であること。</u></p> </div> <p><input type="checkbox"/> 就労継続支援B型サービス費（Ⅳ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)②(-)イ&gt;                      ○ B型サービス費(Ⅳ)については、<u>従業者の員数が利用者の数を10で除して得た数以上であること。</u></p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Ⅲ及びⅣは利用者の就労や生産活動等への参加等をもって一律に評価する報酬体系における基本報酬です【令和3年度新設】。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない</p>	<p>告示別表 第14の1注1～注5</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>● 令和5年度における就労継続支援B型サービス費（Ⅰ）及び就労継続支援B型サービス費（Ⅱ）の算定に係る平均工賃月額の算出に当たっては、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、平成30年度、令和元年度、令和4年度のいずれかの年度の実績で算出することも可能です。</p> </div>



◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
85 各サービス 費共通事項  <input type="checkbox"/> 共通	<p>(1) 定員超過利用減算 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p>利用者の数が、次の①又は②のいずれかの定員超過利用に該当する場合、所定単位数に厚生労働大臣が定める割合を乗じて算定（減算）していますか。</p> <p>※ 災害等やむを得ない事由での受入れを除く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める基準及び割合】</b>            ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第550号2）</p> <p>○利用者の数の基準</p> <p>① 過去3月間の利用実績による減算の取扱い            過去3月間の利用者の数の平均値が、次のア又はイに定める場合に該当する場合、当該1月間について利用者全員分につき減算            ア 利用定員11人以下 定員数に3を加えた数を超える場合            イ 利用定員12人以上 定員数に100分の125を乗じた数を超える場合</p> <p>② 1日当たりの利用実績による減算の取扱い            1日の利用者の数が、次のア又はイに定める場合に該当する場合、当該1日について利用者全員につき減算            ア 利用定員50人以下            定員数に100分の150を乗じて得た数を超える場合            イ 利用定員51人以上            定員数から50を控除した数に100分の125を乗じて得た数に25を加えた数を超える場合</p> <p>○単位数に乘じる割合 100分の70</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の1注5(1) 第11の1注6(1) 第12の1注5(1) 第13の1注4(1) 第14の1注7(1)
	<p>(2) 人員欠如減算 <input type="checkbox"/> 共通</p> <p>従業者の員数が、別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合（配置すべき員数を下回っている場合）に、別に厚生労働大臣が定める割合を所定単位数に乘じて得た数を算定（減算）していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める基準及び割合】</b>            ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第550号2）</p> <p>○事業所に置くべき従業者の員数を満たしていないこと            100分の70（3月以上継続の場合は100分の50）</p> <p>○サービス管理責任者の員数を満たしていないこと            100分の70（5月以上継続の場合は100分の50）</p> </div>		告示別表 第6の1注5(1) 第11の1注6(1) 第12の1注5(1) 第13の1注4(1) 第14の1注7(1) 第14の2の1注3(1)
	<p>ア サービス提供職員欠如減算 <input type="checkbox"/> 共通</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(8)&gt;</p> <p>①算定される単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減算が適用される月から3月未満 100分の70</li> <li>・減算の適用から3月目以降 100分の50</li> </ul> <p>②減算の具体的取扱い</p> <p>配置すべき従業者について、人員基準を満たしていない場合、人員欠如が解消されるに至った月まで、利用者全員について減算</p> <p>ア 1割を超えて欠如した場合 → その翌月から算定</p> <p>イ 1割の範囲内で欠如した場合、常勤又は専従など従業者の員数以外の要件を満たしていない場合 → その翌々月から算定</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>85 各サービス 費共通事項 (続き)  共通</p>	<p>イ サービス管理責任者欠如減算 <b>共通</b></p> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(8)&gt;</p> <p>①算定される単位数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・減算が適用される月から5月未満 100分の70</li> <li>・減算の適用から5月以降 100分の50</li> </ul> <p>②減算の具体的取扱い</p> <p>人員基準を満たしていない場合、人員欠如が解消されるに至った月まで、利用者全員について減算 → その翌々月から算定</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	
	<p>(3) 個別支援計画未作成減算 <b>共通</b></p> <p>サービスの提供に当たって、個別支援計画が作成されていない場合に、次に掲げる場合に依り、それぞれ次に掲げる割合を所定単位数に乗じて算定（減算）していますか。</p> <p>(一) 個別支援計画が作成されていない期間が3月未満の場合 100分の70</p> <p>(二) 個別支援計画が作成されていない期間が3月以上の場合 100分の50</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(10)&gt;</p> <p>○ 次のいずれかに該当する月から、当該状態が解消されるに至った月の前月まで、該当する利用者につき減算</p> <p>(一) サービス管理責任者による指揮の下、個別支援計画が作成されていない場合</p> <p>(二) 指定基準に規定する個別支援計画に係る一連の業務（計画作成・保護者等への説明・文書による同意・計画を交付）が適切に行われていない場合</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の1注5(2) 第11の1注6(2) 第12の1注5(2) 第13の1注4(2) 第14の1注7(2) 第14の2の1注3(2)</p>
	<p>(4) 身体拘束廃止未実施減算 <b>生介 自立 就移 就A 就B</b></p> <p>準用する指定障害福祉サービス基準第35条の2第2項又は第3項に規定する基準を満たしていない場合は、1日につき5単位を所定単位数から減算していますか。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の1(12)&gt;</p> <p>○ 複数の減算事由に該当する場合であっても、1日につき5単位を所定単位数から減算する。</p> <p>○ 次の(一)から(四)に掲げる場合のいずれかに該当する事実が生じた場合であって、速やかに改善計画を市長に提出した後、事実が生じた月から3月後に改善計画に基づく改善状況を市長に報告することとし、事実が生じた月の翌月から改善が認められた月までの間について、利用者全員について所定単位数から減算することとする。</p> <p>(一) 身体拘束等に係る記録が行われていない場合。なお、施設等において身体拘束等が行われていた場合ではなく、記録が行われていない場合である点に留意すること。</p> <p>(二) 身体拘束等の適正化のための対策を検討する委員会を定期的開催していない場合、具体的には、1年に1回以上開催していない場合。</p> <p>(三) 身体拘束等の適正化のための指針を整備していない場合。</p> <p>(四) 身体拘束等の適正化のための研修を定期的実施していない場合、具体的には、研修を年1回以上実施していない場合。</p> <p>&lt;令和3年度報酬改定等に関するQ&amp;A VOL.1 問18、19&gt;</p> <p>○ 身体拘束適正化委員会の開催及び研修の実施について、「年に1回」とは、直近1年で考える。</p> <p>○ 実地指導等において不適切な取扱いが判明した場合の減算適用は、運営基準を満たしていない状況が確認された時点から翌月となる。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の1注8の2 第11の1注6の3 第12の1注6 第13の1注5 第14の1注8</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
86 人員配置 体制加算  生介	<p>生活介護事業所において、厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして市長に届け出たサービスの単位において、サービスの提供を行った場合に、当該サービスの単位の利用定員に応じ、利用者に対して、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 人員配置体制加算（Ⅰ）            区分5若しくは区分6に該当する者若しくはこれに準ずる者が利用者の数の合計数の100分の60以上であるもの</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号・2）            ○加算（Ⅰ）を算定すべき生活介護の単位の施設基準            生活介護等の単位ごとに置くべき生活支援員等の員数の総数が、常勤換算方法で、前年度の利用者の数の平均値を<u>1.7</u>で除して得た数以上であること。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 人員配置体制加算（Ⅱ）            区分5若しくは区分6に該当する者若しくはこれに準ずる者が利用者の数の合計数の100分の50以上であるもの</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号・2）            ○加算（Ⅱ）を算定すべき生活介護の単位の施設基準            生活介護等の単位ごとに置くべき生活支援員等の員数の総数が、常勤換算方法で、前年度の利用者の数の平均値を<u>2</u>で除して得た数以上であること。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 人員配置体制加算（Ⅲ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号・2）            ○加算（Ⅲ）を算定すべき生活介護の単位の施設基準            生活介護等の単位ごとに置くべき生活支援員等の員数の総数が、常勤換算方法で、前年度の利用者の数の平均値を<u>2.5</u>で除して得た数以上であること。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の2注1~3

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>87 福祉専門 職員配置等 加算</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>指定基準の規定により置くべき生活支援員等（生活支援員又は地域移行支援員、職業指導員、就労支援員）として常勤で配置されている従業者のうち、一定の条件に該当するものとして市長に届け出た事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※就労移行支援、就労継続支援A型、B型において、加算（Ⅰ）、（Ⅱ）を算定する場合、直接処遇職員として作業療法士を含む。</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉専門職員配置等加算（Ⅰ） 生活支援員等として常勤で配置されている従業者のうち、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師であるものの割合が100分の35以上であるもの</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉専門職員配置等加算（Ⅱ） 生活支援員等として常勤で配置されている従業者のうち、社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師であるものの割合が100分の25以上であるもの</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉専門職員配置等加算（Ⅲ） 次のいずれかに該当するもの</p> <p><input type="checkbox"/> (1) 生活支援員等として配置されている従業者のうち、常勤で配置されている従業者の割合が100分の75以上</p> <p><input type="checkbox"/> (2) 生活支援員等として常勤で配置されている従業者のうち、3年以上従事している従業者の割合が100分の30以上</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第6の3 第11の1の2 第12の9 第13の8 第14の8</p>
<p>87-2 ピアサポート 実施加算</p> <p><input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>障害者又は障害者であった者が、利用者に対して、就労や生産活動についてのピアサポーターとしての支援を行った場合に、当該支援を受けた利用者の数に応じ、月ごとに所定単位数を加算していますか。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(5)①&gt; ピアサポート実施加算を行うには、ア～ウに該当する必要があります。</p> <p>ア 就労継続支援B型サービス費(Ⅲ)又は就労継続支援B型サービス費(Ⅳ)を算定していること。</p> <p>イ 当該就労継続支援事業所の従業者として、都道府県又は指定都市が実施する障害者ピアサポート研修の基礎研修及び専門研修を修了した次の者をそれぞれ配置していること（市への届出も必要）。</p> <p>(ア) 障害者又は障害者であったと県知事が認める者 (イ) 当該就労継続支援B型事業所の従業者</p> <p>ウ イの者により、当該就労継続支援B型事業所の従業者に対し、障害者に対する配慮等に関する研修が年1回以上行われていること。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第14の8の2</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>88 常勤看護職員等配置加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生介</span></p>	<p>看護職員を常勤換算方法で1人以上配置しているものとして市長に届け出た生活介護事業所において、サービスを行った場合に、サービスの単位の利用定員に応じ、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 常勤看護職員等配置加算（Ⅰ）</p> <p>看護職員を常勤換算方法で1人以上配置している場合</p> <p>※ 常勤看護職員等配置加算（Ⅱ）又は（Ⅲ）を算定している場合は、算定しない。</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 常勤看護職員等配置加算（Ⅱ）</p> <p>看護職員を常勤換算方法で2人以上配置して、別に厚生労働大臣が定める者（判定スコアの各項目に掲げるいずれかの医療行為を必要とする状態である者）を受け入れている場合</p> <p>※ 常勤看護職員等配置加算（Ⅲ）を算定している場合は、算定しない</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 常勤看護職員等配置加算（Ⅲ）</p> <p>看護職員を常勤換算方法で3人以上配置して、別に厚生労働大臣が定める者（判定スコアの各項目に掲げるいずれかの医療行為を必要とする状態である者）を2人以上受け入れている場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【厚生労働大臣が定める者】</p> <p>《参照》（平成18年厚生労働省告示第556号・5の2）</p> <p>児童福祉法に基づく指定通所支援等に要する費用の額の算定に関する基準別表障害児通所給付費等単位数表第1の1の表「スコア表」の項目の欄に掲げるいずれかの医療行為を必要とする状態であるもの。</p> <p>【判定スコアの項目】</p> <p>① 人工呼吸器の管理 ② 気管切開の管理            ③ 鼻咽頭エアウェイの管理 ④ 酸素療法            ⑤ 吸引 ⑥ ネブライザーの管理 ⑦ 経管栄養            ⑧ 中心静脈カテーテルの管理 ⑨ 皮下注射            ⑩ 血糖測定 ⑪ 継続的な透析 ⑫ 導尿 ⑬ 排便管理            ⑭ 痙攣時における座薬挿入、吸引、酸素投与又は迷走神経刺激装置の作動等の処置</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表第6の3の2</p>
<p>89 視覚・聴覚言語障害者支援体制加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生介</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就A</span>  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就B</span></p>	<p>視覚又は聴覚若しくは言語機能に重度の障害がある者（視覚障害者等）である利用者の数※が、事業所の利用者の数に100分の30を乗じて得た数以上であって、視覚障害者等との意思疎通に関し専門性を有する者として専ら視覚障害者等の生活支援に従事する従業者を、指定基準に定める人員配置に加え、常勤換算方法で、利用者の数を50で除して得た数以上配置しているものとして市長に届け出た事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 重度の視覚障害、聴覚障害、言語機能障害又は知的障害のうち2以上の障害を有する利用者については、当該利用者数に2を乗じて得た数とする。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表第6の4 第11の2 第12の2 第13の2 第14の2</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠						
<p>90 就労移行 支援体制 加算</p> <p><input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>事業所におけるサービスを受けた後就労（就労継続支援A型事業所への移行を除く。）し、就労を継続している期間が6月に達した者（就労定着者）が前年度において1人以上いるものとして市長に届け出た事業所において、サービスを行った場合に、1日につきサービスの行った日の属する年度の利用定員に応じた所定単位数に就労定着者の数を乗じて得た単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(6)⑰&gt;</p> <p>○ なお、生活介護を経て企業等に雇用された後、生活介護の職場定着支援の努力義務期間中において労働条件改善のための転職支援等を実施した結果、離職後1月以内に再就職し、最初の企業等の就職から起算して雇用を継続している期間が6月に達した者は就労定着者として取り扱う。</p> <p>○ 「6月に達した者」とは、前年度において企業等での雇用継続期間が6月に達した者である。例えば、平成29年10月1日に就職した者は、平成30年3月31日に6月に達した者となる。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;"></th> <th style="width: 20%;">前年度</th> <th style="width: 20%;">本年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>連続して6月以上雇用されている者の数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立利用定員に応じて算定する。 <input type="checkbox"/>就労移行支援体制加算</p> <p>※ <input type="checkbox"/>就A利用定員及び評価点に応じて算定する。 <input type="checkbox"/>就B利用定員及び平均工賃月額に応じて算定する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> 就労移行支援体制加算（Ⅰ） サービス費（Ⅰ）が算定されている事業所         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> 就労移行支援体制加算（Ⅱ） サービス費（Ⅱ）が算定されている事業所         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> 就労移行支援体制加算（Ⅲ） サービス費（Ⅲ）が算定されている事業所         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <input type="checkbox"/> 就労移行支援体制加算（Ⅳ） サービス費（Ⅳ）が算定されている事業所         </div>		前年度	本年度	連続して6月以上雇用されている者の数	人	人	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の13の2 第11の12の3 第13の3 第14の3</p>
	前年度	本年度							
連続して6月以上雇用されている者の数	人	人							
<p>91 定着支援連 携促進加算</p> <p><input type="checkbox"/>就定</p>	<p>企業、地域障害者職業センター、障害者就業・生活支援センター、医療機関等の関係機関との連携体制の構築を図るため、各利用者の就労定着支援計画に係る関係機関を交えた会議を開催し、関係機関との連絡調整を行った場合に、支援期間（最大3年間）を通じ、1月につき1回（年4回を限度）所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(6)④&gt;</p> <p>○ ケース会議は、テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。</p> <p>○ 就労定着支援計画に関するケース会議であるため、サービス管理責任者は必ず出席すること。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第14の2の2</p>						

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>9 2 初期加算</p>	<p><b>生介</b> <b>自立</b> <b>就移</b> <b>就A</b> <b>就B</b></p> <p>事業所において、サービスを行った場合に、当該サービスの利用を開始した日から起算して30日以内の期間について、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑦、第二の3(2)⑤&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「30日の間」とは、暦日で30日間であり、加算の算定対象はそのうち利用者の実際の利用日数となる。</li> <li>○ 初期加算の算定期間が終了した後、同一敷地内の他の事業所等へ転所する場合は、この加算の対象としない</li> <li>○ 30日（入院・外泊時加算が算定される期間を含む。）を超える病院又は診療所への入院後に再度利用した場合には、初期加算が算定される。ただし、事業所の同一敷地内に併設する病院等への入院はこの限りではない。</li> <li>○ <b>自立</b> 宿泊型自立訓練と同一敷地内の日中活動サービスを利用している場合は、宿泊型自立訓練のみ初期加算を算定するものとし、利用開始日から30日の間算定できる。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の5 第11の3 第12の4 第13の4 第14の4</p>
	<p><b>就定</b></p> <p>生活介護等（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援）と一体的に運営される就労定着支援事業所において、生活介護等以外を利用して通常の事業所に雇用された障害者に対して、新規に個別支援計画を作成し、サービスを行った場合に、当該サービスの利用を開始した月について、1回に限り、所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(6)⑤&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 同一法人内の他の就労定着支援事業所を利用する際は、アセスメント等の情報共有や連携が可能と考えられることから、初期加算を算定することはできない。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第14の2の3</p>
<p>9 3 訪問支援 特別加算</p> <p><b>生介</b> <b>就移</b> <b>就A</b> <b>就B</b></p>	<p>事業所において継続してサービスを利用する利用者について、連続した5日間、サービスの利用がなかった場合において、事業所に置くべき従業者のうちいずれかの職種の者が、個別支援計画に基づき、あらかじめ当該利用者の同意を得て、当該利用者の居宅を訪問して当該事業所におけるサービスの利用に係る相談援助等を行った場合に、1月につき2回を限度として、個別支援計画に位置付けられた内容のサービスを行うのに要する標準的な時間で所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑧&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 概ね3か月以上継続的にサービスを利用していた者が、最後にサービスを利用した日から中5日間以上連続してサービスの利用がなかった場合に、あらかじめ利用者の同意を得た上で、当該利用者の居宅を訪問し、家族等との連絡調整、引き続きサービスを利用するための働きかけ、個別支援計画の見直し等の支援を行った場合に、1回の訪問に要した時間に応じ、算定するもの。</li> <li>○ 「5日間」とは、当該利用者に係る利用予定日にかかわらず、開所日数で5日間をいうもの。</li> <li>○ 所要時間については、実際に要した時間により算定されるのではなく、個別支援計画に基づいて行われるサービスに要する時間に基づき算定されるもの。</li> <li>○ 1月に2回算定する場合は、この加算の算定後又はサービスの利用後、再度5日間以上連続してサービスの利用がなかった場合のみ対象となるもの。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の6 第12の5 第13の5 第14の5</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 相談援助等の内容は記録として残してください。</p> </div>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>94 欠席時 対応加算</p> <p><input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>サービスを利用する利用者が、あらかじめサービスの利用を予定していた日に、急病等によりその利用を中止した場合において、従業者が、利用者又はその家族等との連絡調整その他の相談援助を行うとともに、当該利用者の状況、<u>相談援助の内容等を記録した場合</u>に、1月につき4回を限度として、所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑨&gt;</p> <p>○ 急病等により利用を中止した日の前々日、前日又は当日に中止の連絡があった場合について算定可能とする。</p> <p>○ 「利用者又はその家族等との連絡調整その他の相談支援を行う」とは、電話等により当該利用者の状況を確認し、引き続き当該支援の利用を促すなどの相談援助を行うとともに、<u>当該相談援助の内容を記録することであり、直接の面会や自宅への訪問等を要しない。</u></p> </div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☞ 「欠席」の記録のみでは算定できません。 利用者名・連絡受付日・中止日・中止理由に加え、相談援助として行った内容を記録してください。 (内容を記載できる様式を作成し、専用のファイル等で残しておくことをお勧めしています。)</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の7 第11の4 第12の10 第13の9 第14の9</p>
<p>95 医療連携 体制加算</p> <p><input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>医療機関との連携により、看護職員を事業所に訪問させ、当該看護職員が、利用者の看護を行った場合や、認定特定行為業務従事者に喀痰吸引等に係る指導を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ <input type="checkbox"/>自立 看護職員加配加算を算定している場合は、算定しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（Ⅰ）</p> <p>医療機関等との連携により、看護職員（保健師、助産師、看護師又は准看護師）を事業所に訪問させ、当該看護職員が利用者に対して看護を1時間未満行った場合に、当該看護を受けた利用者に対し加算</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（Ⅱ）</p> <p>医療機関等との連携により、看護職員を事業所に訪問させ、当該看護職員が利用者に対して看護を1時間以上2時間未満行った場合に、当該看護を受けた利用者に対し加算</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（Ⅲ）</p> <p>医療機関等との連携により、看護職員を事業所に訪問させ、当該看護職員が利用者に対して看護を2時間以上行った場合に、当該看護を受けた利用者に対し加算</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（Ⅳ）</p> <p>喀痰吸引等が必要な者に対して、認定特定行為業務従事者が医療機関等との連携により、医療的ケア（喀痰吸引等）を行った場合に、利用者1人に対し加算</p> <p>(1) 看護職員が看護を行う利用者が1人</p> <p>(2) 看護職員が看護を行う利用者が2人</p> <p>(3) 看護職員が看護を行う利用者が3人以上8人以下</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第11の4の2 第12の11 第13の10 第14の10</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>95 医療連携 体制加算  (続き)</p> <p><input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（V） 医療機関等との連携により、看護職員を事業所に訪問させ、当該看護職員が認定特定行為業務従事者に喀痰吸引等に係る指導を行った場合に、当該利用者に対し加算</p> <p><input type="checkbox"/> 医療連携体制加算（VI） 喀痰吸引等が必要な者に対して、認定特定行為業務従事者が医療機関等との連携により、喀痰吸引等を行った場合に、当該利用者に対し加算</p> <p>※（I）～（IV）のいずれかを算定している利用者については、算定しない。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑦、第二の2(7)⑯準用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療機関との連携により看護職員を訪問させ、当該看護職員が障害者に対して看護の提供又は認定特定行為業務従事者に対し喀痰吸引等に係る指導を行った場合に評価を行うもの。</li> <li>○ あらかじめ当該加算に係る業務について医療機関等と委託契約を締結し、障害者に対する看護の提供又は認定特定行為業務従事者に対する喀痰吸引等に係る指導に必要な費用を医療機関に支払うこと。なお、当該利用者の主治医から看護の提供又は喀痰吸引等に係る指導等に関する指示を受けること。この場合の指示については、利用者ごとに受けるとともに、その内容を書面で残すこと。なお、当該利用者の主治医以外の医師が主治医と十分に利用者に関する情報共有を行い、必要な指示を行うことができる場合に限り、主治医以外の医師の指示であっても差し支えない。</li> <li>○ 看護の提供においては、当該利用者の主治医の指示で受けた具体的な看護内容等を個別支援計画等に記載すること。また、当該利用者の主治医に対し、定期的に看護の提供状況等を報告すること。</li> <li>○ 看護職員の派遣については同一法人内の他の施設に勤務する看護職員を活用する場合も可能であるが、他の事業所の配置基準を遵守した上で医師の指示を受けてサービスの提供を行うこと。</li> <li>○ 看護の提供又は喀痰吸引等に係る指導上必要となる衛生材料、医薬品等の費用は事業所が負担する。</li> <li>○ 医療連携体制加算（I）から（IV）について、看護職員1人が看護することが可能な利用者数は、以下のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 医療連携体制加算（I）から（III）を算定する利用者全体で8人を限度。</li> <li>イ 医療連携体制加算（IV）を算定する利用者全体で8人を限度。</li> <li>ウ ア及びイの利用者数について、それぞれについて8人を限度に算定可能であること。</li> </ul> </li> </ul>		

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
96 重度障害者 支援加算  生介	(1) 重度障害者支援加算（Ⅰ） 人員配置体制加算（Ⅰ）及び常勤看護職員等配置加算（Ⅲ）を算定している生活介護事業所であって、重症心身障害者が2人以上利用しているものとして市に届け出た事業所において、当該加算の要件となる人員配置を超えて、常勤換算方法で生活支援員又は看護職員を配置した場合に、サービスの単位ごとに生活介護に係るすべての利用者について、1日につき所定単位数を加算していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の7の2
	(2) 重度障害者支援加算（Ⅱ） 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして市長に届け出た生活介護事業所において、サービス提供を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>              ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強度行動障害の利用者が1人以上利用していること</li> <li>○ 従業者のうち強度行動障害支援者養成研修（実践研修）の課程を修了し、修了した旨の証明書の交付を受けた者を1以上配置し、支援計画シート等を作成すること</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜留意事項通知 第二の2(6)⑩＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践研修修了者により支援計画シート等の作成を行う体制を整えている旨届出をしており、かつ支援計画シート等を作成している場合に体制の評価として加算を算定する。</li> <li>○ 強度行動障害の利用者がいない場合は算定しない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>＜留意事項通知 第二の2(6)⑩＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重度障害者支援加算(Ⅱ)は、行動障害の軽減を目的として各種の支援・訓練を行うものであり、単に、職員を加配するための加算ではないことに留意すること。</li> <li>○ 重度障害者支援加算(Ⅰ)を算定している指定生活介護事業所等において、重度障害者支援加算(Ⅱ)は算定できないものであること。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	
	(3) 重度障害者支援加算（Ⅱ）（ <u>強度行動障害者への個別の支援</u> ） 上記（2）が算定されている事業所において、別に厚生労働大臣が定める者が、別に厚生労働大臣が定める基準を満たしている利用者に対し、サービスを行った場合に、更に1日につき所定単位数を加算していますか。 ※ 当該厚生労働大臣が定める者1人当たりの利用者の数が5を超える場合には、5を超える数については、算定しない。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>              ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定基準に規定する人員配置に加え、強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の課程を修了し、修了した旨の証明書の交付を受けた者を1以上配置していること</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>96 重度障害者 支援加算 (続き) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生介</span></p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める者】</b>                      ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第548号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強度行動障害支援者養成研修（基礎研修）の課程を修了し、修了した旨の証明書の交付を受けた者</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める基準】</b>                      ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第543号・4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害支援区分認定調査の結果に基づき、調査項目中「コミュニケーション」「説明の理解」「大声・奇声を出す」などの行動関連項目（12項目）について、その行動関連項目が見られる頻度等をそれぞれ0点から2点までに当てはめて算出した点数の合計が10点以上であること</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>＜留意事項通知 第二の2(6)⑩＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践研修修了者が作成した支援計画シート等に基づき、基礎研修修了者が、強度行動障害を有する者に対して日中に個別の支援を行った場合に、当該利用者について個別の評価として加算を算定する。</li> <li>○ 個別の支援の評価は、基礎研修修了者1人につき5人まで算定できることとし、適切な支援を行うため、従業者として4時間程度は従事する必要がある。</li> </ul> </div> <p>(4) 重度障害者支援加算（Ⅱ）（<u>初期段階における手厚い支援</u>）                      上記（3）の加算が算定されている事業所については、当該加算の算定を開始した日から起算して180日以内の期間について、更に1日につき所定単位数に加算をしていますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>＜留意事項通知 第二の2(6)⑩＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重度の行動障害を有する者に対して、サービス利用の初期段階において、環境の変化等に適応するため特に手厚い支援を要することを評価したもの。</li> </ul> </div> <p>※重度障害者支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）は、障害者支援施設が施設入所者に生活介護を行った場合は加算しない。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる  <input type="checkbox"/> いない  <input type="checkbox"/> 該当なし</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>個別加算を算定した日から起算して180日以内の期間は、利用回や開所日を数えるのではなくあくまで個別加算の算定開始から暦日で180日の期間のこと。</p> </div>	

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>97 リハビリテーション加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">生介</span></p>	<p>次の(1)から(5)までのいずれにも該当するものとして市長に届け出た生活介護事業所において、リハビリテーション実施計画が作成されているものに対して、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>(1) 医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士その他の職種の者が共同して、利用者ごとのリハビリテーション計画を作成していること</p> <p>(2) 利用者ごとのリハビリテーション実施計画に従い医師又は医師の指示を受けた理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士がサービスを行っているとともに、利用者の状態を定期的に記録していること</p> <p>(3) 利用者ごとのリハビリテーション実施計画の進捗状況を定期的に評価し、必要に応じて当該計画を見直していること</p> <p>(4) 障害者支援施設等に入所する利用者について、リハビリテーションを行う医師、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、看護師、生活支援員その他の職種の者に対し、リハビリテーションの観点から、日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること</p> <p>(5) (4)に掲げる利用者以外の利用者について、事業所の従業員が、必要に応じ、特定相談支援事業者を通じて、居宅介護サービスその他の障害福祉サービス事業に係る従業者に対し、日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑪&gt;</p> <p>リハビリテーション実施計画の作成・見直しや、リハビリテーションの利用終了に際して行うリハビリテーションカンファレンスの実施に当たっては、テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。</p> <p>ただし、障害を有する者が参加する場合には、その障害の特性に応じた適切な配慮を行うこと。</p> <p>なお、個人情報保護委員会「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」等を遵守すること。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション加算（Ⅰ）</p> <p>頸髄損傷による四肢の麻痺その他これに類する状態にある障害者に対して、サービスを行った場合</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> リハビリテーション加算（Ⅱ）</p> <p>加算（Ⅰ）に規定する障害者以外の障害者に対して、サービスを行った場合</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表第6の8</p>
<p>98 就労定着実績体制加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就定</span></p>	<p>過去6年間に就労定着支援の利用を終了した者のうち、雇用された通常の事業所に42月以上78月未満の期間継続して就労している者又は就労していた者の占める割合が前年度において100分の70以上として市長に届け出た就労定着支援事業所において、サービスを行った場合に、1月につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(6)⑥&gt;</p> <p>○ 本加算は、指定を受けた日から1年間は算定できないが、平成30年度から就労定着支援を実施する場合であって、30年度中に利用を修了した者がいた場合、翌年度において要件に該当する者の割合が100分の70以上の場合は、平成31年度から加算を算定できる。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表第14の2の4</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
99 職場適応 援助者養成 研修修了者 配置体制 加算  〔 <b>就定</b> 〕	別に厚生労働大臣が定める研修を修了した者を、就労定着支援員として配置しているものとして市長に届け出た就労定着支援事業所において、サービスを行った場合に、1月につき所定単位数を加算していますか。  【厚生労働大臣が定める研修】 ≪参照≫（平成21年厚生労働省告示第178号・2） ○ 障害者雇用促進法施行規則第20条の2の3第2項に掲げる、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構において行う訪問型職場適応援助者の養成のための研修等	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第14の2の5
100 利用者負担 上限額管理 加算  〔 <b>共通</b> 〕	指定基準に規定する利用者負担額合計額の管理を行った場合に、1月につき所定単位数を加算していますか。  <留意事項通知 第二の2(1)⑱> ○ 「利用者負担額合計額の管理を行った場合」とは、利用者が利用者負担額合計額の管理を行う事業所以外の障害福祉サービスを受けた際、上限額管理を行う事業所が当該利用者の負担額合計額の管理を行った場合をいう。 ○ 負担額が負担上限額を实际に超えているか否かは算定の条件としない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の9 第11の6 第12の6 第13の6 第14の6 第14の2の6
101 食事提供 体制加算	〔 <b>生介</b> 〕〔 <b>就移</b> 〕〔 <b>就A</b> 〕〔 <b>就B</b> 〕 収入が一定額以下の低所得者等であって個別支援計画等により食事の提供を行うことになっている利用者に対して、事業所に従事する調理員による食事の提供であること又は調理業務を第三者に委託していること等、当該事業所の責任において食事提供のための体制を整えているものとして市長に届け出た事業所において、食事の提供を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の10 第12の7 第13の7 第14の7
<p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑬&gt;</p> <p>○ 原則として当該施設内の調理室を使用して調理し、提供したのものについて算定するものであるが、食事の提供に関する業務を当該施設の最終的責任の下で第三者に委託することは差し支えない。</p> <p>○ 施設外で調理されたものを提供する場合（クックチル、クックフリーズ若しくは真空調理（真空パック）により調理を行う過程において急速冷却若しくは冷凍したものを再度加熱して提供するもの又はクックサーブにより提供するものに限る。）、運搬手段等について衛生上適切な措置がなされているものは、施設外で調理し搬入する方法も認められる。（出前の方法や市販の弁当を購入して、利用者に提供する方法は加算の対象とはならない。）</p> <p>○ 利用者が施設入所支援を利用する日は、補給給付が日単位で支給されることから、この加算は算定できない。</p>			
<p>【食事提供体制加算を算定する際の具体的な取扱いについて】                      （平成22年8月19日滋賀県健康福祉部障害者自立支援課長通知）</p> <p>○施設で調理されたものを提供し食事提供体制加算を算定する場合</p> <p>①食事提供できる設備を整えること                      ②調理員を2時間/日以上配置すること                      ③嗜好調査、給食会議などを定期的に行うこと                      ④感染症や食中毒が発生し、またはまん延しないよう、必要な措置を講ずるよう努めること。</p> <p>○外部委託等により施設外で調理されたものを提供し食事提供体制加算を算定する場合</p> <p>(1)クックチルで食事提供体制加算を算定する際の具体的な取扱い</p> <p>①食材を加熱調理後、冷水又は冷風により急速冷却（90分以内に中心温度3℃以下まで冷却）を行い、冷蔵（3℃以下）により運搬、保管し、提供時に再加熱（中心温度75℃以上で1分以上）して提供することを前提とした調理を行うこと。                      ②食事提供体制加算を算定しようとする施設において食事提供の責任者として調理員を2時間/日以上配置すること。                      ③嗜好調査、給食会議を定期的に行うこと。</p> <p>(2)クックフリーズで食事提供体制加算を算定する際の具体的な取扱い</p> <p>①食材を加熱調理後、急速に冷凍し、冷凍（マイナス18℃以下）により運搬、保管のうえ、提供時に再加熱（中心温度75℃以上で1分以上）して提供することを前提とした調理を行うこと。                      ②食事提供体制加算を算定しようとする施設において食事提供の責任者として調理員を2時間/日以上配置すること。                      ③嗜好調査、給食会議を定期的に行うこと。</p> <p>(3)クックサーブで食事提供体制加算を算定する際の具体的な取扱い</p> <p>①食品の温度が一定に保たれるよう、保温用機を使用すること                      ②食品の中心温度が、65℃以上あるいは、10℃以下に保たれている場合は、料理終了後から2時間までに喫食すること。常温での保存が可能な食品については、製造者はあらかじめ保存すべき温度を定め、その温度で保存し、調理終了後から1時間までに喫食すること。                      ③製造者及び食事提供施設は、食遺品の温度、死蔵時間及び消費時間の記録をとること。                      ④食事提供体制加算を算定しようとする施設において食事提供の責任者として調理員を2時間/日以上配置すること。                      ⑤施設にて配置された調理員管理のもと配膳を行い『当該施設の最終責任の下で提供』すること。                      ⑥嗜好調査、給食会議を定期的に行うこと。</p> <p>(4)真空調理で食事提供体制加算を算定する際の具体的な取扱い</p> <p>①食材を真空包装の上下低温にて加熱調理後、急速に冷却又は冷凍して、冷蔵又は冷凍により運搬、保管し、提供時に再加熱（中心温度75℃以上で1分以上）して提供することを前提とした調理を行うこと。                      ②食事提供体制加算を算定しようとする施設において食事提供の責任者として調理員を2時間/日以上配置すること。                      ③嗜好調査、給食会議を定期的に行うこと。</p>			

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
101 食事提供 体制加算 (続き)	<p><b>自立</b> ※ 要件は上記と同じ</p> <p><input type="checkbox"/> 食事提供加算（Ⅰ） 短期滞在加算が算定される者及び宿泊型自立訓練の利用者について算定</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑩&gt; ○ 1日に複数回食事の提供をした場合には、この加算がその食事をする体制に係るものであることから、複数回の算定はできない。</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 食事提供加算（Ⅱ） 加算（Ⅰ）に規定する利用者以外の者について算定 ※ 障害者支援施設等に入所する者を除く。</p>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の7
102 延長支援 加算  <b>生介</b>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとしてとして市長に届け出た生活介護事業所において、利用者（施設入所者を除く。）に対して、個別支援計画等に基づきサービスを行った場合に、当該サービスを受けた利用者に対し、当該サービスを行うのに要する標準的な延長時間で所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号2）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 運営規程に定める営業時間が8時間以上であり、かつ、利用者に対しても8時間を超えてサービスを行うこと</li> <li>○ 指定基準の規定により置くべき職員（直接支援業務に従事する者に限る。）を1以上配置していること</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第6の11  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑭&gt;            ○ 営業時間には送迎のみを実施する時間は含まれない。            ○ 個々の利用者の実利用時間は問わないものであり、サービス提供時間は8時間未満であっても、営業時間を超えて支援を提供した場合には、本加算の対象となる。            ○ 延長時間帯に、基準上置くべき職員（直接支援業務に従事する者に限る）を1名以上配置していること。</p> </div>
103 精神障害者 退院支援 施設加算  <b>自立</b>  <b>就移</b>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市長に届け出た、精神科病院の精神病床を転換してサービス又は就労移行支援に併せて居住の場を提供する自立訓練（生活訓練）事業所及び就労移行支援事業所（精神障害者退院支援施設）において、精神病床におおむね1年以上入院していた精神障害者その他これに準ずる精神障害者に対して、居住の場を提供した場合に、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <p><input type="checkbox"/> 精神障害者退院支援施設加算（Ⅰ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b> &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・4）            ○ 支援加算（Ⅰ）を算定すべき場合の基準            (一) 利用定員が(7)(イ)の基準を満たしていること                (7) 病床転換型 20人以上60人以下 (イ) 病床転換型以外のもの 20人以上30人以下            (二) 居室の定員が(ア)(イ)の基準を満たしていること                (7) 病床転換型 4人以下であること (イ) 病床転換型以外のもの 原則個室であること            (三) 居室の床面積が(7)(イ)の基準を満たしていること                (7) 病床転換型 6㎡以上であること (イ) 病床転換型以外のもの 8㎡以上であること            (四) 居室のほか、次に掲げる設備を有していること                浴室、洗面設備、便所、その他必要な設備            (五) 日照、採光、換気等利用者の保健衛生、防災等について十分配慮されていること            (六) 夜間の時間帯を通じて、生活支援員が1人以上配置されていること</p> </div> <p><input type="checkbox"/> 精神障害者退院支援施設加算（Ⅱ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b> &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・4）            ○ 支援加算（Ⅱ）を算定すべき場合の基準            (一) (Ⅰ)の(一)から(五)までの基準を満たすこと            (二) 夜間の時間帯を通じて、宿直勤務を行う職員が1人以上配置されていること</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の8 第12の8

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>104 就労支援 関係研修 修了加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span></p>	<p>就労支援員に関し就労支援に従事する者として1年以上の実務経験を有し、別に厚生労働大臣が定める研修を修了した者を就労支援員として配置しているものとして市長に届け出た就労移行支援事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 就労定着者の割合が零である場合は、算定しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める研修】</b>            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成21年厚生労働省告示第178号・1）</p> <p>イ 障害者雇用促進法施行規則第19条第1項第3号に掲げる、地域障害者職業センターにおいて就労移行支援に置くべき就労支援員が就労移行を行うに当たって必要な基礎知識及び技能を習得させるものとして行う研修</p> <p>ロ 障害者雇用促進法施行規則第20条の2の3第2項に掲げる、障害者総合支援センター及び地域障害者職業センターが行う第1号職場適応援助者の養成のための研修</p> <p>ハ イ及びロの研修と同等以上として厚労省が認めたもの</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)⑫&gt;</p> <p>○ 「1年以上の実務経験」とは、就労移行支援事業における就労支援員のほか、障害者の就労支援を実施する機関、医療・保険・福祉・教育に関する機関、障害者団体、障害者雇用事業所等における障害者の就職又は雇用継続のために行う業務について1年以上の実務経験を指す。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる</p> <p><input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の12</p>
<p>105 移行準備 支援体制 加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">就移</span></p>	<p>就労移行支援事業所において、前年度に施設外支援を実施した利用者の数が利用定員の100分の50を超えるものとして市長に届け出た事業所において、別に厚生労働大臣が定める基準を満たし、次の(1)又は(2)のいずれかを実施した場合に、施設外支援利用者の人数に応じ、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>(1) 職場実習等にあつては、同一の企業及び官公庁等における1回の施設外支援が1月を超えない期間で、当該期間中に職員が同行して支援を行った場合</p> <p>(2) 求職活動にあつては、ハローワーク、地域障害者職業センター又は障害者就業・生活支援センターに職員が同行して支援を行った場合</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める基準】</b>            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第543号・32）</p> <p>算定対象となる利用者が、利用定員の100分の50以下であること</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる</p> <p><input type="checkbox"/>いない</p> <p><input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の13</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
106 地域協働 加算  就B	就労継続支援B型サービス費(Ⅲ)又は就労継続支援B型サービス費(Ⅳ)を算定している就労継続支援B型事業所において、利用者に対して、持続可能で活力ある地域づくりに資することを目的として、地域住民その他関係者と協働して行う取組によりサービス(当該B型等に係る生産活動収入があるものに限る。)を行うとともに、当該B型に係る就労、生産活動その他の活動の内容についてインターネットの利用その他の方法により公表した場合に、当該B型等を受けた利用者の数に応じ、1日につき所定単位数を加算していますか。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第14の11
107 重度者支援 体制加算  就A  就B	就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業所において、サービスを行った日の属する年度の前年度において、障害基礎年金1級を受給する利用者の数が、当該年度における利用者の数の一定以上であるものとして、市長に届け出た場合に、利用定員に応じ、1日につき所定単位数を加算していますか。  <input type="checkbox"/> 重度者支援体制加算(Ⅰ) 障害基礎年金1級を受給する利用者の数が、当該年度の利用者の数の100分の50以上である場合  <input type="checkbox"/> 重度者支援体制加算(Ⅱ) 障害基礎年金1級を受給する利用者の数が、当該年度の利用者の数の100分の25以上である場合	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第13の11 第14の12
108 就労移行 連携加算  就A  就B	就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業所において、サービスを受けた後に就労移行支援に係る支給決定を受けた利用者が1人以上いる事業所において、サービスを行った日の属する年度において、当該利用者に対して、支給決定に係る申請の日までに、就労移行支援に係る就労移行支援事業者との連絡調整その他の相談援助を行うとともに、当該利用者が支給決定の申請を行うに当たり、申請に係る指定特定相談支援事業者に対して、当該利用者の同意のもと、サービスの利用状況その他の必要な情報を文書により提供した場合に、サービスの利用を終了した月について、1回に限り、所定単位数を加算していますか。  ※ただし、利用者が支給決定を受けた日の前日から起算して過去3年以内に就労移行支援に係る支給決定を受けていた場合は加算しない。  <留意事項通知 第二の3(4)④> ○ 本加算は、加算の対象となる利用者が就労移行支援の支給決定を受けたときに算定が可能となるため、加算を算定する事業所においては、移行先の就労移行支援事業所や、特定相談支援事業所、市町村等と情報共有を図り、予め、支給決定の日を把握しておくことが望ましい。 ○ 特定相談支援事業所に対する情報の提供に当たっては、事業所における当該利用者の個別支援計画、モニタリング結果、各種作業の実施状況の記録等、就労移行支援の支給決定に係るサービス等利用計画の作成にあたり、参考になるものであること。なお、情報の提供にあたっては、電子メール等のインターネットを利用した提供方法でも差し支えない。	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第13の3の2 第14の3の2

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
109 賃金向上 達成指導員 配置加算  就A	<p>指定基準に定める人員配置に加え、賃金向上達成指導員を常勤換算方法で1以上配置し、かつ、就労継続支援A型事業所と雇用契約を締結している利用者のキャリアアップを図るための措置を講じているものとして市に届け出た就労継続支援A型事業所において、サービスを行った場合に、利用定員に応じ、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>〔賃金向上達成指導員〕            生産活動収入を増やすための販路拡大、商品開発、労働時間の増加その他の賃金向上を図るための取組に係る計画（賃金向上計画）を作成し、計画に掲げた内容の達成に向けて積極的に取り組むための指導員</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)⑬&gt;            ○ 「キャリアアップを図るための措置」とは、将来の職務上の地位や賃金の改善を図るため、昇格、昇進、昇給といった仕組みが就業規則に記載があることが必要であり、仕組みがあるにも関わらず合理的な理由なく該当者がいない場合は、賃金向上達成指導員配置加算の算定要件を満たしていないとすることもできる。</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第13の12
110 目標工賃 達成指導員 配置加算  就B	<p>目標工賃達成指導員を常勤換算方法で1人以上配置し、当該指導員、職業指導員及び生活支援員の総数が別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市に届け出た就労継続支援B型事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>〔目標工賃達成指導員〕            市において作成される「工賃向上計画」に基づき、自らも「工賃向上計画」を作成し、当該計画に掲げた工賃目標の達成に向けて積極的に取り組むための指導員</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【厚生労働大臣が定める施設基準】            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・6）            ○ 就労継続支援B型サービス費（I）を算定する事業所であって、置くべき職業指導員等の数に目標工賃達成指導員の数を加えた総数が、常勤換算方法で、利用者の数を6で除した数以上であること</p> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第14の13

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>111 送迎加算</p>	<p>(1) 利用者の送迎 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p>別に厚生労働大臣が定める送迎を実施しているものとして市長に届け出た事業所において、利用者に対して、その居宅等と事業所との間の送迎を行った場合に、片道につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(6)⑮&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多機能型事業所又は同一敷地内の複数の事業所が存する場合は、原則として一の事業所として取り扱う。</li> <li>○ 居宅以外であっても、事業所の最寄り駅や集合場所との間の送迎も対象となるが、事前に利用者と合意の上、特定の場所を定めておく必要があることに留意する。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> 送迎加算（Ⅰ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める送迎】</b>                      &lt;参照&gt;（平成24年厚生労働省告示第268号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次に掲げる基準のいずれにも適合すること。                             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事業所が行うサービスの利用につき、利用者の送迎を行った場合</li> <li>(2) 1回の送迎につき、平均10人以上（利用定員20人未満の場合は1回の送迎につき、平均的に定員の100分の50以上）の利用者が利用していること</li> <li>(3) 当該月に週3回以上の送迎を実施していること</li> </ol> </li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><input type="checkbox"/> 送迎加算（Ⅱ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める送迎】</b>                      &lt;参照&gt;（平成24年厚生労働省告示第268号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 上記の(1)の基準に適合し、かつ、(2)又は(3)に掲げる基準のいずれかに適合すること</li> </ul> </div> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない  <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表                      第6の12                      第11の11                      第12の14                      第13の13                      第14の14</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(4)⑭&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 就労継続支援A型における送迎については、就労継続支援A型が、利用者と雇用契約を締結していることや、利用者の知識や能力向上のために必要な訓練を行う者であることを念頭に、利用者の自立能力の獲得を妨げないよう配慮することが必要であり、送迎の必要性については、公共交通機関等がない等の地域の実情や重度障害などの障害特性などのやむを得ない場合など、個別の状況に応じて判断すること。</li> </ul> </div>
	<p>(1) - 2 重度障害者対応の場合 <input type="checkbox"/>生介</p> <p>別に厚生労働大臣が定める送迎（(1)参照）を実施しており、かつ、区分5若しくは区分6に該当する者又はこれに準ずる者（区分4以下で喀痰吸引等を必要とする者など。）が利用者の数の合計数の100分の60以上であるものとして市長に届け出た生活介護事業所において、利用者に対して、その居宅等と事業所との間の送迎を行った場合には、さらに片道につき所定単位数を加算していますか。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない  <input type="checkbox"/>該当なし</p>	
	<p>(2) 同一敷地内の送迎 <input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p> <p>別に厚生労働省が定める送迎を実施している場合は、所定単位数の100分の70に相当する単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める送迎】</b>                      &lt;参照&gt;（平成24年厚生労働省告示第268号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 事業所において行われるサービスの利用につき、事業所の所在する建物と同一の敷地内又は隣接する敷地内との間で、利用者の送迎を行った場合</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない  <input type="checkbox"/>該当なし</p>	

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>112 障害福祉サービスの体験利用支援加算</p> <p><input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>事業所等においてサービスを利用する利用者が、指定地域移行支援の障害福祉サービスの体験的な利用支援を実施する場合において、事業所等に置くべき従業者が、次の(1)又は(2)のいずれかに該当する支援を行うとともに、当該利用者の状況、当該支援の内容等を記録した場合に、所定単位数に代えて算定していますか。</p> <p>(1) 体験的な利用支援の利用の日において昼間の時間帯における訓練等の支援を行った場合</p> <p>(2) 障害福祉サービスの体験的な利用支援に係る一般相談支援事業者との連絡調整その他の相談援助を行った場合</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 障害福祉サービスの体験利用支援加算（Ⅰ） 体験的な利用支援の利用を開始した日から起算して5日以内の期間について算定</p> <hr/> <p><input type="checkbox"/> 障害福祉サービスの体験利用支援加算（Ⅱ） 体験的な利用支援の利用を開始した日から起算して6日以上15日以内の期間について算定</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の13 第11の12 第12の15 第13の14 第14の15</p>
<p>113 通勤訓練加算</p> <p><input type="checkbox"/>就移</p>	<p>就労移行支援事業所において、当該事業所以外の事業所に従事する専門職員が、視覚障害のある利用者に対して盲人安全つえを使用する通勤のための訓練を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)⑯、第二の3(1)①(㉔)&gt;</p> <p>○ 当該就労移行支援事業所以外の事業所に従事する専門職員を外部から招いた際に、当該費用を支払う場合に加算するもの</p> <p>○ 「専門職員」とは、次の研修等を受講した者とする。</p> <p>ア 国立リハビリテーションセンター学院の視覚障害学科 イ (福)日本ライトハウスが受託して実施している視覚障害生活訓練指導員研修 ウ 廃止前通知に基づき、(福)日本ライトハウスが受託して実施している視覚障害生活訓練指導員研修 エ 廃止前通知に基づき、(福)日本ライトハウスが受託して実施していた盲人歩行訓練指導員研修 オ その他上記に準じて実施される、視覚障害者に対する歩行訓練及び生活訓練を行う者を養成する研修</p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の15の2</p>
<p>114 在宅時生活支援サービス加算</p> <p><input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>就労移行支援、就労継続支援A型及び就労継続支援B型事業所が、居宅において支援を受けることを希望する者であって、当該支援を行うことが効果的であると市町村が認める利用者に対して、当該利用者の居宅において支援を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)⑯&gt;</p> <p>○ <u>居宅において支援を受けることを希望する者であって、かつ、当該支援が効果的と市町村が認める者に対し、当該事業所が費用を負担することで、居宅に居宅介護事業所や重度訪問介護事業所に従事する者を派遣し、生活に関する支援を提供した場合に加算する。</u></p> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第12の15の3 第13の14の2 第14の16</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>115 社会生活 支援特別 加算</p> <p><input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市長に届け出た事業所が、厚生労働大臣が定める者に対して、特別な支援に対応した個別支援計画に基づき、地域生活のための相談支援や個別の支援を行った場合に、当該者に対し当該支援等を開始した日から起算して3年以内（医療保護法に基づく通院期間の延長が行われた場合は、当該延長期間が終了するまで）の期間において、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="336 510 778 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>                      ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第551号・3の2）                      ○ 事業所に置くべき従業員に加え、厚生労働大臣が定める者に対する適切な支援を行うために必</p> </div> <div data-bbox="804 510 1444 741" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める者】</b>                      ≪参照≫（平成18年厚生労働省告示第556号・9）                      ○ 医療観察法に基づく入院によらない医療を受ける者、刑事施設若しくは少年院からの釈放に伴い関係機関と調整の結果、受け入れた者であって当該釈放から3年を経過していないもの又はこれに準ずる者</p> </div> </div> <div data-bbox="336 757 1422 1182" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(1)⑪&gt;                      ○ 対象者は、医療観察法に基づく通院決定又は退院許可決定を受けてから3年を経過していない者、又は矯正施設若しくは更生保護施設を退所後、3年を経過していない者であって、保護観察所等との調整により、事業所を利用することになった者をいうもの                      ○ 加算の対象となる事業所は、以下の支援を行う。                      ・本人や関係者からの聞き取りや経過記録等に基づき、再び犯罪行為等に及ばないための生活環境と専門的支援が組み込まれた、個別支援計画の作成                      ・指定医療機関や保護観察所等の関係者との調整会議                      ・日常生活や人間関係に関する助言                      ・医療観察法の通院決定を受けた者への通院の支援                      ・日中活動の場における緊急時の対応                      ・その他必要な支援</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第11の12の2 第12の15の4 第13の14の3 第14の16の2</p>
<p>116 支援計画会議実施加算</p> <p><input type="checkbox"/> 就移</p>	<p>各利用者の就労移行支援計画の作成又は見直しに当たって、外部の関係者を交えた会議（ケース会議）を開催し、サービス管理責任者が当該就労移行支援計画の原案の内容及び実施状況（利用者についての継続的な評価を含む。）について説明を行うとともに、関係者に対して、専門的な見地からの意見を求め、就労移行支援計画の作成、変更その他必要な便宜の提供について検討を行った場合に、1月に1回（年4回を限度）、所定単位数を加算していますか。</p> <div data-bbox="336 1473 1380 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(3)⑱&gt;                      ○ 利用者の就労移行支援計画の作成やモニタリングに当たって、利用者の希望、適性、能力を的確に把握・評価を行うためのアセスメントについて、地域のノウハウを活用し、その精度を上げ、支援効果を高めていくための取組として、次に掲げる地域の就労支援機関等において障害者の就労支援に従事する者や障害者就労に係る有識者を交えたケース会議を開催し、専門的な見地からの意見を求め、就労移行支援計画の作成や見直しを行った場合に、利用者ごとに月に1回、年に4回を限度に所定単位数を加算する。                      ア ハローワーク                      イ 障害者就業・生活支援センター                      ウ 地域障害者職業センター                      エ 他の就労移行支援事業所                      オ 特定相談支援事業所                      カ 利用者の通院先の医療機関                      キ 当該利用者の支給決定を行っている市町村                      ク 障害者雇用を進める企業                      ケ その他障害者の就労支援を実施している企業、団体等</p> <p>○ ケース会議は、テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。ただし、障害を有する者が参加する場合には、その障害の特性に応じた適切な配慮を行うこと。なお、個人情報保護委員会「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン」等を遵守すること。                      ○ ケース会議の開催のタイミングについては、サービス利用開始時や、3月に1回以上行うこととしている就労移行支援計画のモニタリング時、標準利用期間を超えた支給決定期間の更新時などが考えられる。なお、就労移行支援計画に関するケース会議であるため、サービス管理責任者は必ず出席すること。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第12の15の5</p>

◆ 介護給付費の算定基準（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>117 福祉・介護 職員処遇 改善加算</p> <p><input type="checkbox"/>生介 <input type="checkbox"/>自立 <input type="checkbox"/>就移 <input type="checkbox"/>就A <input type="checkbox"/>就B</p>	<p>別に厚生労働大臣が定める基準に適合している福祉・介護職員の賃金の改善等を実施しているものとして市長に届け出た事業所が、利用者に対し、サービスを行った場合には、当該基準に掲げる区分に従い、所定単位数を加算していますか。</p> <p>【厚生労働大臣が定める基準】 《参照》（平成18年厚生労働省告示第543号・2）</p> <p>イ 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ） 次の掲げる基準のいずれにも適合すること</p> <p>(1) 福祉・介護職員の賃金の改善に関する計画を策定し、適切な措置を講じていること (2) 処遇改善計画を作成し、全ての職員に周知し、市長に届け出ていること (3) 処遇改善加算の算定額の相当する賃金改善を実施すること (4) 事業年度ごとに福祉・介護職員の処遇改善に関する実績を市長に報告すること (5) 前12月間において労働関係法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていないこと (6) 労働保険料の納付が適正に行われていること (7) 次に掲げる基準のいずれにも適合すること</p> <p>(一) 職員の任用の際における職責又は職務内容等の要件を定めていること (二) (一)の要件について書面をもって作成し、全ての福祉・介護職員に周知していること (三) 職員の資質の向上に関する計画を策定し、計画に係る研修を実施していること (四) (三)について、全ての福祉・介護職員に周知していること (五) 職員の経験や資格等に応じて昇給する仕組み又は定期昇給の仕組みを設けていること (六) (五)の要件について書面をもって作成し、全ての職員に周知していること</p> <p>(8) (2)の届出に係る計画の期間中に実施する福祉・介護職員の処遇改善の内容（賃金改善に属するものを除く。）及び当該福祉・介護職員の処遇改善に要する費用の見込額を全ての福祉・介護職員に周知していること</p> <p>ロ 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅱ） イの(1)から(6)まで、(7)の(一)から(四)まで及び(8)に掲げる基準のいずれにも適合すること</p> <p>ハ 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅲ） 次の掲げる基準のいずれにも適合すること</p> <p>(1) イの(1)から(6)までに掲げる基準に適合すること (2) 次に掲げる基準のいずれかに適合すること</p> <p>(一) 職員の任用の際における職責又は職務内容等の要件を定め、全職員に周知していること (二) 職員の資質向上に関する計画を策定し、計画に係る研修を実施し、職員に周知していること</p> <p>(3) 平成20年10月から実施した処遇改善の内容及び要した費用を全ての職員に周知していること</p>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/>該当なし</p>	<p>告示別表 第6の14 第11の13 第12の16 第13の15 第14の17</p>
	<p>《参照》 「福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員処遇改善特別加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」（平成31年3月26日障障発0328第2号、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課長）</p> <p>① サービス事業者等は、加算の算定額に相当する福祉・介護職員の賃金改善を実施しなければならない。 ② サービス事業者等は、賃金改善に係る福祉・介護職員処遇改善計画書を作成し、市に届け出ること。</p> <p>ア 計画書には就業規則・賃金規程等、労働保険の加入書類を添付すること イ キャリアパス要件、職場環境等要件について、処遇改善計画書に記載すること</p> <p>(キャリアパス要件Ⅰ) 職員の職位・職責・職務内容に応じた任用要件と賃金体系を整備し、全ての職員に周知していること</p> <p>(キャリアパス要件Ⅱ) 資質向上のための計画を策定し、研修の実施または研修の機会を設け、全ての職員に周知していること</p> <p>(キャリアパス要件Ⅲ) 経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設け、全ての職員に周知していること</p> <p>(職場環境等要件) 賃金改善以外の処遇改善（職場環境の改善など）の取組を実施し、全ての職員に周知していること</p> <p>○ 資質の向上として、実務者研修等の受講支援など ○ 職場環境・処遇の改善として、エルダーメンター制度等の導入や、ICTを活用した介護職員の事務負担軽減など ○ その他として、中途採用者に特化した人事制度の確立など</p>		
	<p><input type="checkbox"/> 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅰ） キャリアパス要件Ⅰ、Ⅱ、Ⅲの全て＋職場環境等要件を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅱ） キャリアパス要件Ⅰ及びⅡ＋職場環境等要件を満たす</p> <p><input type="checkbox"/> 福祉・介護職員処遇改善加算（Ⅲ） キャリアパス要件Ⅰ又はⅡ＋職場環境等要件を満たす</p>		

◆ 介護給付費の算定基準（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>118 福祉・介護職員等特定処遇改善加算</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>福祉・介護職員を中心とした従業者の賃金の改善等を実施しているものとして市長に届け出た事業所が、利用者に対し、サービスを行った場合にあっては、所定の単位数の加算を算定していますか。</p> <p>【厚生労働大臣が定める基準】《参照》（平成18年厚生労働省告示第543号・3）イ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算（I） 次に掲げる基準のいずれにも適合すること。 （1）次に掲げる基準のいずれにも適合し、賃金改善に関する計画を策定し、適切な措置を講じていること （一）経験・技能のある障害福祉人材のうち1人は、賃金改善に要する費用の見込額が月額8万円以上となること。又は改善後の賃金（退職手当を除く。）の見込額が年額440万円以上となること （二）経験・技能のある障害福祉人材の賃金改善に要する費用の見込額の平均が、障害福祉人材（経験・技能のある障害福祉人材を除く。）及び障害福祉人材以外の職員のうち専門的な技能を有すると認められるものの賃金改善に要する費用の見込額の平均の2倍以上となること （三）障害福祉人材（経験・技能のある障害福祉人材を除く。）及び障害福祉人材以外の職員のうち専門的な技能を有すると認められるものの賃金改善に要する費用の見込額の平均が、障害福祉人材以外の職員（専門的な技能を有すると認められるものを除く。）の賃金改善に要する費用の見込額の平均を上回っていること （四）障害福祉人材以外の職員（専門的な技能を有すると認められるものを除く。）の改善後の賃金（退職手当を除く。）の見込額が年額440万円を上回らないこと （2）処遇改善計画を作成し、全ての職員に周知し、市長に届け出ていること （3）処遇改善加算の算定額の相当する賃金改善を実施すること （4）事業年度ごとに障害福祉人材等の処遇改善に関する実績を市長に報告すること （5）福祉専門職員配置加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定していること （6）福祉・介護職員処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定していること （7）（2）の届出に係る計画の期間中に実施する障害福祉人材等の処遇改善の内容（賃金改善に関するものを除く。）及び当該障害福祉人材等の処遇改善に要する費用の見込額を全ての障害福祉人材等に周知していること。 （8）（7）の処遇改善の内容等について、インターネットの利用等により公表していること ロ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算（Ⅱ） イの（1）から（4）まで及び（6）から（8）に掲げる基準のいずれにも適合すること</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第6の15 第11の14 第12の17 第13の16 第14の18</p>
<p>118-2 福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算</p> <p><input type="checkbox"/> 生介 <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 就移 <input type="checkbox"/> 就A <input type="checkbox"/> 就B</p>	<p>別に厚生労働大臣が定める基準に適合している福祉・介護職員を中心とした従業者の賃金の改善等を実施しているものとして市長に届け出た事業所が、利用者に対し、サービスを行った場合は、所定の単位数の加算を算定していますか。</p> <p>【厚生労働大臣が定める基準】《参照》（平成18年厚生労働省告示第543号・3）の2準用 次に掲げる基準のいずれにも適合すること。 （1）障害福祉人材等の賃金改善について、賃金改善に要する費用の見込み額が福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の算定見込み額を上回り、かつ、障害福祉人材等のそれぞれについて賃金改善に要する費用の見込み額の3分の2以上の基本給又は決まって毎月支払われる手当の額の引き上げに充てる賃金改善に関する計画を策定し、当該計画に基づき適切な措置を講じていること。 （2）事業所において、（1）の賃金改善に関する計画、当該計画に係る実施機関及び実施方法その他の障害福祉人材等の処遇改善の計画等を記載した福祉・介護職員等ベースアップ等支援計画書を作成し、全ての障害福祉人材等に周知し、市長に届け出ていること。 （3）福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算の算定額に相当する賃金改善を実施すること。ただし、経営の悪化等により事業の継続が困難な場合、当該事業の継続を図るために障害福祉人材等の賃金水準（本加算による賃金改善分を除く。）を見直すことはやむを得ないが、その内容について市長に届け出ること。 （4）当該事業所において、事業年度ごとに障害福祉人材等の処遇改善に関する実績を市長に報告すること。 （5）福祉・介護職員処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを算定していること （6）（2）の届出に係る計画の期間中に実施する障害福祉人材等の処遇改善の内容（賃金改善に関するものを除く。）及び当該障害福祉人材等の処遇改善に要する費用の見込額を全ての障害福祉人材等に周知していること。</p>	<p><input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第6の16 第11の15 第12の18 第13の17 第14の19</p>

※ 本ページ以降の「項目119」から「項目133」までは、「自立訓練（生活訓練）」のみの項目となりますので、「自立訓練（生活訓練）」を行っていない場合には、不要です。（印刷時には項目119～133の該当ページを削除してください。）

◆ 介護給付費の算定基準（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
119 地域移行支援体制強化加算  自立	<p>指定基準に掲げる地域移行支援員の配置について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合するものとして市長に届け出た<u>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）</u>事業所において、<u>宿泊型自立訓練</u>を行った場合に、所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【厚生労働大臣が定める施設基準】            &lt;参照&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指定基準により置くべき地域移行支援員の員数が、常勤換算方法で、宿泊型自立訓練の前年度の利用者の数の平均値を15で除して得た数以上配置されていること</li> <li>○ 地域移行支援員のうち、1人以上が常勤であること</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表第11の1の3
120 個別計画訓練支援加算  自立	<p>次の(1)から(5)までの基準のいずれも満たすものとして市長に届け出た<u>自立訓練（生活訓練）</u>事業所について、個別訓練実施計画が作成されている利用者に対して、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>(1) 社会福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師である従業者により、利用者の障害特性や生活環境等に応じて、障害支援区分判定基準に関する省令別表第1における調査項目中「応用日常生活動作」、「認知機能」又は「行動上の障害」に係る個別訓練実施計画を作成していること</p> <p>(2) 利用者ごとの個別訓練実施計画に従い、サービスを行っているとともに、利用者の状態を定期的に記録していること</p> <p>(3) 利用者ごとの個別訓練実施計画の進捗状況を毎月評価し、必要に応じて当該計画を見直していること</p> <p>(4) 障害者支援施設等に入所する利用者については、従業者により、個別訓練実施計画に基づき一貫した支援を行うよう、訓練に係る日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を共有していること</p> <p>(5) (4)に掲げる利用者以外の利用者については、事業所の従業者が必要の応じ、特定相談支援事業者を通じて、居宅介護サービスその他の障害福祉サービス事業に係る従業者に対し、訓練に係る日常生活上の留意点、介護の工夫等の情報を伝達していること</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑧&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加算に係る訓練は、利用者ごとに行われる個別支援計画の一環として行われること</li> <li>○ 個別訓練実施計画を作成した利用者について、当該サービスを利用した日に算定することとし、必ずしも実施計画に位置づけられた訓練が行われた日とは限らないもの</li> <li>○ 作成した個別訓練実施計画については、利用者又はその家族に説明し、その同意を得ること</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表第11の4の3

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>121 短期滞在 加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立</span></p>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市長に届け出た自立訓練（生活訓練）事業所が、利用者（生活訓練サービス費（Ⅲ）又は（Ⅳ）を受けている者を除く。）に対し、居室その他の設備を利用させるとともに、主として夜間において家事等の日常生活能力を向上するための支援その他の必要な支援を行った場合に、1日につき所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑨&gt;</p> <p>○ 心身の状況の悪化防止など、緊急の必要性があると認められる者に対し、宿泊の提供を行った場合に算定する。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 短期滞在加算（Ⅰ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・4）</p> <p>○短期滞在加算（Ⅰ）を算定すべき場合の施設基準</p> <p>（一）居室の定員が4人以下であること</p> <p>（二）居室、浴室、洗面設備、便所、その他必要な設備を有していること</p> <p>（三）日照、採光、換気等利用者の保健衛生、防災等について十分配慮されていること</p> <p>（四）夜間の時間帯を通じて、生活支援員が1人以上配置されていること</p> </div> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 短期滞在加算（Ⅱ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b>            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第551号・4）</p> <p>○短期滞在加算（Ⅱ）を算定すべき場合の施設基準</p> <p>（一）（Ⅰ）の基準の（一）から（三）までに掲げる基準を満たしていること</p> <p>（二）夜間の時間帯を通じて、宿直勤務を行う職員が1人以上配置されていること</p> </div> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5</p>
<p>122 日中支援 加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立</span></p>	<p>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）事業所が、生活介護、自立訓練、就労移行支援若しくは就労継続支援に係る支給決定を受けている利用者、地域活動支援センターの利用者、介護保険法に規定する通所介護若しくは通所リハビリテーションその他これらに準ずるもの利用者、精神科ショート・ケア、精神科デイケア若しくは精神科デイ・ナイト・ケアの算定対象となる利用者又は就労している利用者が、心身の状況等によりこれらのサービスを利用することができないとき又は就労することができないときに、当該利用者に対して昼間の時間帯における支援を行った場合であって、当該支援を行った日が1日につき2日を超える場合に、当該2日を超える期間について、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑩&gt;</p> <p>○ 宿泊型自立訓練事業所は、昼間の時間帯に支援を行う場合には、日中活動サービス等との整合性を図った上で、個別支援計画に位置付けるとともに、基準上の従業者に加えて、必要な数の従業者を加配しなければならない。</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の2</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
123 通勤者生活 支援加算  <input type="checkbox"/> 自立	<p>宿泊型自立訓練の利用者のうち100分の50以上の者が通常の事業所に雇用されているとして市長に届け出た自立訓練（生活訓練）事業所において、主として日中において、職場での対人関係の調整や相談・助言及び金銭管理についての指導等就労を定着させるために必要な日常生活上の支援を行っている場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑪&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算定する事業所は、勤務先その他の関係機関との調整及びこれに伴う利用者に対する相談援助を行う。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の5の3
124 入院時支援 特別加算  <input type="checkbox"/> 自立	<p>家族等から入院に係る支援を受けることが困難な宿泊型自立訓練の利用者が、病院又は診療所（事業所の同一敷地内に併設する病院又は診療所を除く。）への入院を要した場合に、宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）事業所に置くべき従業者のうちいずれかの職種の者が、個別支援計画に基づき、当該利用者が入院している病院又は診療所を訪問し、当該病院又は診療所との連絡調整及び被服等の準備その他の日常生活上の支援を行った場合に、1月に1回を限度として、入院期間の日数の合計に応じ、所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑫&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入院期間3日以上として算定する場合は少なくとも1回以上、7日間以上の場合は少なくとも2回以上病院等を訪問する必要がある。なお、入院期間が7日以上で、病院等への訪問回数が1回の場合は、イを算定する。</li> <li>○ 従業者は、病院等を訪問し、入院期間中の被服等の準備や相談支援、入退院の手続や家族等への連絡調整などの支援を行った場合は、その内容を記録しておくこと。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> イ 当該月における入院期間（入院の初日及び最終日を除く）の日数の合計が3日以上7日間未満の場合         </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <input type="checkbox"/> ロ 当該月における入院期間の日数の合計が7日間以上の場合         </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の5の4
125 長期入院時 支援特別 加算  <input type="checkbox"/> 自立	<p>家族等から入院に係る支援を受けることが困難な宿泊型自立訓練の利用者が、病院又は診療所への入院を要した場合に、宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）事業所に置くべき従業者のうちいずれかの職種の者が、個別支援計画に基づき、当該利用者が入院している病院又は診療所を訪問し、当該病院又は診療所との連絡調整及び被服等の準備その他の日常生活上の支援を行った場合に、1月の入院期間（入院の初日及び最終日を除く。）の日数が2日を超える場合に、当該日数を超える期間（継続して入院している者にあつては、入院した初日から起算して3月に限る。）について、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 入院時支援特別加算が算定される月は、算定しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑬&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 原則、1週に1回以上病院等を訪問する必要がある。</li> <li>○ 主に利用者の事情等により、病院等を訪問できない場合は、その具体的な内容を記録しておくこと。</li> <li>○ 従業者は、病院等を訪問し、入院期間中の被服等の準備や相談支援、入退院の手続や家族等への連絡調整などの支援を行った場合は、その内容を記録しておくこと。</li> <li>○ 長期帰宅時支援加算と同一日に算定できない。</li> </ul> </div>	<input type="checkbox"/> いる <input type="checkbox"/> いない <input type="checkbox"/> 該当なし	告示別表 第11の5の5

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>126 帰宅時 支援加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立</span></p>	<p>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）事業所において、宿泊型自立訓練の利用者が個別支援計画に基づき、家族等の居宅等において外泊（体験的な共同生活援助の利用に伴う外泊を含む。）した場合に、1月に1回を限度として、外泊期間の合計に応じ、所定単位数を算定していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑭&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業者は、利用者が帰省している間、家族等との連携を十分図ることにより、当該利用者の居宅等での生活状況等を十分把握するとともに、その内容を記録しておくこと。また、必要に応じ、支援計画の見直しを行うこと。</li> <li>○ 外泊期間が複数月にまたがる場合の2月目以降の取扱いについては、当該2月目の外泊日数の合計が3日に満たない場合、当該2月目は、この加算を算定しない。</li> <li>○ 長期帰宅時支援加算の算定月には算定できない。</li> <li>○ 共同生活援助の体験的な利用に伴う外泊の場合で、事業所と同一敷地内の共同生活援助を利用する場合は算定しない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 当該月における家族等の居宅等における外泊期間（外泊の初日及び最終日を除く）の日数の合計が3日以上7日間未満の場合</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 当該月における家族等の居宅等における外泊期間の日数の合計が7日間以上の場合</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の6</p>
<p>127 長期帰宅時 支援加算</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自立</span></p>	<p>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）事業所において、宿泊型自立訓練の利用者が個別支援計画に基づき家族等の居宅等において外泊した場合に、1月の外泊期間（外泊の初日及び最終日を除く。）の日数が2日を超える場合に、当該日数を超える期間について、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 帰宅時支援加算が算定される月は、算定できない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑮&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 利用者の帰省に伴う家族等との連絡調整や交通手段の確保等の支援を行った場合に算定する。</li> <li>○ 従業者は、利用者が帰省している間、家族等との連携を十分図ることにより、当該利用者の居宅等での生活状況等を十分把握するとともに、その内容を記録しておくこと。また、必要に応じ、個別支援計画の見直しを行うこと。</li> <li>○ 長期入院時支援特別加算と同一日に算定できない。</li> <li>○ 共同生活援助への体験的な利用の場合であって、事業所と同一敷地内の共同生活援助を利用する場合は算定しない。</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の7</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>128 地域移行 加算  自立</p>	<p>利用期間が1月を超えると見込まれる<u>宿泊型自立訓練</u>の利用者（利用期間が2年を超える者を除く。）の退所に先立って、指定基準の規定により<u>自立訓練（生活訓練）</u>事業所に置くべき従業者のうちいずれかの職種の者が、当該利用者に対して、退所後の生活について相談援助を行い、かつ、当該利用者が退所後生活する居宅を訪問し、当該利用者及びその家族等に対して退所後の障害福祉サービスその他の保健医療サービス又は福祉サービスについて相談援助及び連絡調整を行った場合に、利用中2回を限度として、所定単位数を加算していますか。</p> <p>また、当該利用者の退所後30日以内に当該利用者の居宅を訪問し、当該利用者及びその家族等に対して相談援助を行った場合に、退所後1回を限度として所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 当該利用者が、退所後の他の社会福祉施設等に入所する場合には、加算しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の2(5)③準用&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 加算は退所日に算定し、退所後の訪問相談については訪問日に算定する。</li> <li>○ 退所して病院等へ入院する場合、他の社会福祉施設等へ入所する場合、死亡退所の場合は、加算の算定は不可</li> <li>○ 相談援助を行った場合は、相談援助を行った日及び相談援助の内容の要点に関する記録を行うこと</li> <li>○ 加算に係る相談援助の内容は、次のようなもの               <ul style="list-style-type: none"> <li>・退所後の障害福祉サービスの利用等に関するもの</li> <li>・食事、入浴、健康管理等居宅での生活に関するもの</li> <li>・退院する者の運動機能及び日常生活動作能力の維持及び向上を目的として行う各種訓練等に関するもの</li> <li>・住宅改修に関するもの</li> <li>・退所する者の介護等に関するもの</li> </ul> </li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の8</p>
<p>129 地域生活 移行個別 支援特別 加算  自立</p>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市長に届け出た<u>宿泊型自立訓練</u>を行う<u>自立訓練（生活訓練）</u>事業所が、厚生労働大臣が定める者に対して、特別な支援に対応した個別支援計画に基づき、地域生活のための相談援助や個別の支援を行った場合に、当該利用者に対し、3年以内（医療観察法に基づく通院期間の延長が行われた場合にあっては、当該延長期間が終了するまで）の期間（他の障害福祉サービスを行う事業所等において地域生活移行個別支援特別加算を算定した期間を含む。）において、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【厚生労働大臣が定める施設基準】</b></p> <p>〈参照〉（平成18年厚生労働省告示第551号・4）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基準により置くべき生活支援員に加え、適切な支援を行うために必要な数の生活支援員を配置することが可能</li> <li>○ 社会福祉士又は精神保健福祉士の資格者が配置され、当該資格者による指導体制が整えられていること</li> <li>○ 従業者に対し、医療観察法等による入院によらない医療を受けている者又は刑事施設や少年院を釈放された障害者の支援に関する研修が年1回以上行われていること</li> <li>○ 保護観察所、更生保護施設、指定医療機関又は精神保健福祉センター等との協力体制が整えられていること</li> </ul> </div>	<p><input type="checkbox"/>いる <input type="checkbox"/>いない <input type="checkbox"/> 該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の9</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>129 地域生活 移行個別 支援特別 加算 (続き)</p> <p>自立</p>	<p>【厚生労働大臣が定める者】            &lt;&lt;参照&gt;&gt;（平成18年厚生労働省告示第556号・9）</p> <p>○ 医療観察法に基づく入院によらない医療を受ける者、刑事施設若しくは少年院からの釈放に伴い関係機関と調整の結果、受け入れた者であって当該釈放から3年を経過していないもの又はこれに準ずる者</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑰&gt;</p> <p>○ 加算の対象となる事業所は以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本人や関係者からの聞き取りや経過記録等に基づき、犯罪行為等を誘発しないような環境調整と専門的支援が組み込まれた、個別支援計画の作成</li> <li>・ 指定医療機関や保護観察所等の関係者との調整会議</li> <li>・ 日常生活や人間関係に関する助言</li> <li>・ 医療観察法の通院決定を受けた者への通院の支援</li> <li>・ 日中活動の場における緊急時の対応</li> <li>・ その他必要な支援</li> </ul>		
<p>130 精神障害者 地域移行 特別加算</p> <p>自立</p>	<p>運営規程に定める主たる対象とする障害者の種類に精神障害者を含み、かつ、指定基準の規定により自立訓練（生活訓練）事業所に置くべき従業者のうち社会福祉士、精神保健福祉士又は公認心理師等である従業者を1人以上配置するものとして市長に届け出た<u>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）</u>事業所において、当該従業者が、精神科病院に1年以上入院していた精神障害者であって、当該精神科病院を退院してから1年以内のものに対し、個別支援計画を作成するとともに、地域で生活するために必要な相談援助や個別の支援等を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 地域生活移行個別支援特別加算を算定している場合は、算定しない。</p> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)⑱&gt;</p> <p>○ 加算の対象となる事業所は以下の支援を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉士等による、本人、家族、精神科病院等からの聞き取り等によるアセスメント及び地域生活に向けた個別支援計画の作成</li> <li>・ 精神科病院との日常的な連携（通院支援を含む）</li> <li>・ 対象利用者との定期及び随時の面接</li> <li>・ 日中活動の選択、利用、定着のための支援</li> <li>・ その他必要な支援</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない  <input type="checkbox"/>            該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の10</p>
<p>131 強度行動 障害者 地域移行 特別加算</p> <p>自立</p>	<p>別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして市長に届け出た<u>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）</u>事業所において、障害者支援施設又は障害児入所施設等に1年以上入所していた者であって、当該施設を退所してから1年以内のものうち、別に厚生労働大臣が定める基準に適合すると認められた利用者に対し、個別支援計画に基づき、地域で生活するために必要な相談援助や個別の支援等を行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p>	<p><input type="checkbox"/>いる  <input type="checkbox"/>いない  <input type="checkbox"/>            該当なし</p>	<p>告示別表 第11の5の11</p>

◆ 介護給付費（訓練等給付費）の算定及び取扱い

項目	自主点検のポイント	点検	根拠
<p>132 夜間支援等 体制加算</p> <p style="text-align: center;">自立</p>	<p>夜間支援従事者の配置などにより、夜間及び深夜の時間帯を通じて必要な体制を確保しているものとして市長が認めた<u>宿泊型自立訓練を行う自立訓練（生活訓練）</u>事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <p>※ 加算（Ⅰ）（Ⅱ）（Ⅲ）は、同じ利用者については、算定しない。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)㉓&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 夜間支援従事者の配置は、夜間及び深夜の時間帯（1日の活動の終了から開始時刻まで（午後10時から翌日の午前5時までの間は最低限含む。）を基本として設定</li> <li>○ 1人の夜間支援従事者が支援を行うことができる利用者の数は、30人までを上限とする。</li> <li>○ 夜間支援従事者は、常勤・非常勤は問わず、生活支援員又は地域移行支援員以外の者であって、夜間における支援を委託されたものでも差し支えない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 夜間支援等体制加算（Ⅰ）</p> <p>夜勤を行う夜間支援従事者を配置し、利用者に対して夜間及び深夜の時間帯を通じて、必要な介護等の支援を提供できる体制を確保しているもの</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 夜間支援等体制加算（Ⅱ）</p> <p>宿直を行う夜間支援従事者を配置し、利用者に対して夜間及び深夜の時間帯を通じて、定期的な居室の巡回や緊急時の支援等を提供できる体制を確保しているもの</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 夜間支援等体制加算（Ⅲ）</p> <p>夜間及び深夜の時間帯を通じて、利用者に病状の急変その他の緊急の事態が生じた時に、利用者の呼び出し等に速やかに対応できるよう、常時の連絡体制又は防災体制を確保しているもの</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)㉔&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 警備会社と宿泊型自立訓練事業所に係る警備業務の委託契約を締結している場合に算定できる。 なお、警備会社に委託する際には利用者の状況等を伝達しておくこと</li> <li>○ 常時の連絡体制については、従業者が常駐する場合のほか、次の場合も算定できる <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯電話などにより夜間・深夜帯の連絡体制を確保</li> <li>・夜間支援を委託された者による連絡体制を確保</li> </ul> </li> </ul> </div> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>該当なし</p>	<p>告示別表 第11の9</p>
<p>133 看護職員 配置加算</p> <p style="text-align: center;">自立</p>	<p>健康上の管理などの必要がある利用者がいるために看護職員を、常勤換算方法で1以上配置しているものとして市長に届け出た<u>自立訓練（生活訓練）</u>事業所において、サービスを行った場合に、1日につき所定単位数を加算していますか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;留意事項通知 第二の3(2)㉕&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 常勤換算方法で1以上の看護職員を配置している場合に利用者の数に応じ、算定できるもの</li> <li>○ 当該加算の算定対象となる事業所については、医療連携体制加算の算定対象とならない。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 看護職員配置加算（Ⅰ）</p> <p>自立訓練（生活訓練）を行った場合</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><input type="checkbox"/> 看護職員配置加算（Ⅱ）</p> <p>宿泊型自立訓練を行った場合</p> </div>	<p><input type="checkbox"/> いる</p> <p><input type="checkbox"/> いない</p> <p><input type="checkbox"/></p> <p>該当なし</p>	<p>告示別表 第11の10</p>